

令和 3 年度 (2021 年度)
中大型哺乳類分布調査
調査報告書

タヌキ・キツネ・アナグマ

令和 4 年 (2022 年) 3 月

環境省自然環境局生物多様性センター

要 旨

日本の中大型哺乳類の分布状況については、環境省の自然環境保全基礎調査（以下、「基礎調査」という。）により全国一律の手法を用い、一斉にその現状を把握してきた。特に第2回基礎調査(1980)と第6回基礎調査(2004)によって、多くの主体の参画により全国の状況を把握した。しかし、第6回基礎調査以降10年以上が経過し、最新の中大型哺乳類の分布状況についての知見が得られていない。シカ (*Cervus nippon*)・イノシシ (*Sus scrofa*) 等の分布状況については都道府県等による生息状況調査等が実施され、個体数推定を含む状況が把握されているが、その他の種については現状把握が十分にはなされておらず、種によっては一部地域個体群の維持が危惧される事態も生じている。

そのため環境省生物多様性センターは、2015年度より「要注意鳥獣（クマ等）生息分布状況調査」、2018年度より「中大型哺乳類分布調査」を実施し、これらの種(アライグマ (*Procyon lotor*)、ヌートリア (*Myocastor coypus*)、ハクビシン (*Paguma larvata*)、ヒグマ (*Ursus arctos*)、ツキノワグマ (*Ursus thibetanus*)、カモシカ (*Capricornis crispus*))の分布状況についての現状を把握するとともに、2018年度より2021年度までタヌキ (*Nyctereutes procyonoides*)、キツネ (*Vulpes vulpes*)、アナグマ (*Meles anakuma*) を対象とした調査を実施した。

タヌキ・キツネ・アナグマ（以下、タヌキ等という）を対象とした調査（以下、本調査という）においては、2018年度に情報集積状況の把握・調査手法の検討を行い、2019年度に試行調査を実施した。その後、2020年度に全国調査を実施し、2021年度（本年度）に補完調査ととりまとめを行った。本調査では野生鳥獣情報システム（WIS¹：Wildlife Information System）による捕獲等の情報、環境省・国土交通省で集約している調査結果、各都道府県による既存調査結果、研究者による既存文献等から分布情報を収集・整理した。また、加えて全国の市町村に対するアンケート調査、各都道府県担当者に対する聞き取り調査を実施し、情報を収集・整理した。合わせて、専門家からの聞き取りによって情報を補足した。また、地域の研究団体からの情報、環境省生物多様性センターが運営する「いきものログ」を通じて一般市民からの情報も活用した。

調査の結果、タヌキについては51,325件の情報が得られ、全国17,068メッシュ（1メッシュ約5km四方）の内11,357メッシュ（全国メッシュの67%）での生息が確認された。キツネについては34,329件の情報が得られ、8,559メッシュ（全国メッシュの50%）、アナグマについては26,665件の情報が得られ、6,592メッシュ（全国メッシュの39%）での生息がそれぞれ確認された。

¹ 野生鳥獣の科学的・計画的な保護管理を推進する上で必要な基礎資料として活用される鳥獣関係統計の作成や狩猟者の免許更新事務など、行政担当者が使用するPC上で稼働し、低コストで簡便な情報処理を可能とするシステム。現在は捕獲情報収集システムと名称が変わっている。

タヌキで得られた結果を第6回基礎調査と比較すると、ほぼ同程度のメッシュで生息が確認され、首都圏、中京圏、大阪での分布拡大傾向がみられた。キツネでは全国で18%のメッシュ数の減少が見られたが、これは情報不足によるものと考えられた。アナグマは、全国で9%のメッシュ数の増加が見られ、特に近畿地方・九州地方での増加が大きい。また、首都圏では分布の拡大傾向が見られた。

これらの結果では、WISによる捕獲等の情報及び市町村アンケートによる情報が大きな部分を占めていた。一方、奥山など一部に情報が不足する地域が見られ、特にこれら地域の情報収集が今後の課題となる。

Summary

The National Survey on the Natural Environment has been conducted by the Ministry of the Environment to understand the distribution of medium- and large-sized mammals in Japan using a nationally uniform method. The 2nd National Survey on the Natural Environment (1980, hereinafter referred to as the "2nd survey") and the 6th National Survey on the Natural Environment (2004, hereinafter referred to as the "6th survey"), in particular, involved many participants to understand the nationwide distribution. However, more than 10 years have passed since the 6th survey, and the latest information on the distribution of medium- and large-sized mammals is not available. Although information on the distribution and estimated population of some animals such as sika deer (*Cervus nippon*) and wild boars (*Sus scrofa*) is available through surveys on distribution status conducted by prefectures, current status of other species has not been fully understood. There may be concerns about the preservation of some local populations in some species.

For this reason, the Biodiversity Center of Japan, Ministry of the Environment, has conducted the "survey on distribution status of wildlife species of concern (bears etc.)" since FY2015 and the "medium- and large-sized mammal distribution survey" since FY2018 to investigate the current distribution status of the following species: raccoons (*Procyon lotor*), nutrias (*Myocastor coypus*), masked palm civets (*Paguma larvata*), brown bears (*Ursus arctos*), Asiatic black bears (*Ursus thibetanus*), and Japanese serows (*Capricornis crispus*). We have also conducted the research on raccoon dogs (*Nyctereutes procyonoides*), red foxes (*Vulpes vulpes*), and Japanese badgers (*Meles anakuma*).

In the survey on raccoon dogs, red foxes and badgers, we designed the method of survey and investigating the status of information accumulation in FY2018, and conducted the preliminary survey in FY 2019. After this, a national survey was conducted in FY 2020, and supplementary surveys and data compilations were conducted in FY 2021 (this fiscal year).

In the survey on raccoon dogs, red foxes, and Japanese badgers, we collected and organized information including Wildlife Information System (WIS¹) and results of various existing surveys conducted and/or compiled by MOE, MLIT and prefectures. We also conducted questionnaire surveys for municipalities all around Japan and interviews to officials of prefectures. Some experts provided us the important data about distribution statuses of these species in particular area. In addition to this, information from local research groups and information from the general public through "Ikimono Log", which is operated by Biodic-J, were also utilized.

Through the survey, we obtained 51,325 cases of raccoon dogs' occurrences (covering 11,357 grids out of 17,068 grids of all Japan; 67%), 34,329 for red foxes (covering 8,559 grids; 50%) and 26,665 for Japanese badgers (covering 6,592 grids; 39%) respectively.

Comparing the results obtained on raccoon dogs with the 6th survey, the confirmed grids are almost the same, and the distribution expansion tendency was observed in the Tokyo metropolitan area, Chukyo area, and Osaka. Foxes showed a 18% decrease in the number of meshes nationwide, which would be due to lack of information. We saw badgers' 9% increase in the number of grids nationwide, particularly in the Kinki and Kyushu regions. In addition, there was an expanding trend in the Tokyo metropolitan area.

Among the various sources, data compiled in WIS and questionnaire data from municipalities much contributed the amount of information. Although we gathered large amount of data, there are some remote areas of insufficient information. To narrow these gaps should be the big challenge for the future surveys. Among the various sources, data compiled in WIS and questionnaire data from municipalities much contributed the amount of information. Although we gathered large amount of data, there are some remote areas of insufficient information. To narrow these gaps, we designed the outline of the complementary survey which is scheduled in FY 2021.

¹ A system for preparing statistics on wildlife, which is the basic information necessary to support the conservation and management of wildlife in a scientific and systematic manner, and for processing hunting license renewal application. It runs on personal computers used by administrative staff and allows low-cost and quick information processing. It has currently been called as the capture information collection system.

目 次

1. 調査目的	1
2. 調査内容	2
(1) 調査項目	2
(2) 情報収集の範囲ととりまとめの方針.....	2
(3) 分布図の作成	3
(4) 収集した情報および情報の収集方法.....	7
(5) 生息情報のとりまとめ・分析.....	11
3. 調査結果	13
(1) 情報の収集結果.....	14
(2) 各情報源から得られたメッシュ数.....	20
(3) 分布図	21
(4) 過去の調査との比較.....	27
1) タヌキ	29
2) キツネ	40
3) アナグマ	51
(5) 分布情報と環境との関係.....	61
1) タヌキ	62
2) キツネ	67
3) アナグマ	71
4) まとめと今後の課題.....	76
巻末資料	78
1. 資料一覧	79
2. 市区町村アンケート一式(2020年度実施分)	88
3. 市区町村別種別情報取得状況.....	99
4. 「いきものログ」調査要項(2021年度実施分)	126
5. 都道府県からの修正メッシュ一覧.....	128
6. 都道府県からのWISデータの報告状況(タヌキ等の捕獲位置情報)	129
7. 都道府県別捕獲数一覧.....	131

1. 調査目的

環境省では、中大型哺乳類の分布状況について、過去の基礎調査において全国一律の手法を用いて調査時点における現状を概ね把握してきた。第2回基礎調査(1980)(以下、「第2回調査」という。)と第6回基礎調査(2004)(以下、「第6回調査」という。)によって、多くの主体の参画により全国の状況を把握したが、第6回調査以降、全国規模での調査は実施されていなかった。

2018年度以降、タヌキ等を調査対象種とした「中大型哺乳類分布調査」により、全国の生息状況を把握することを目的とした調査を開始した。分布図の作成にあたり、2010年度以降に得られたタヌキ等の生息情報の収集を行った。国や都道府県等によってまとめられた既存情報の収集、全国の市区町村を対象としたアンケート調査からの情報収集、専門家等の持つ情報の収集など、様々な情報源から生息情報を収集・整理した。また、有効な調査手法・情報収集対象・調査に当たっての留意点等について、検討を行い、調査計画立案を進めた。

整理した情報源に基づく分布図の作成後、都道府県やタヌキ等の生息状況に詳しい専門家等へのヒアリングを実施し、生息情報の精査や必要な情報の補完を行った。その後、本報告書において過去の調査結果との比較分析等を含め、最終的な調査結果をとりまとめた。

2. 調査内容

(1) 調査項目

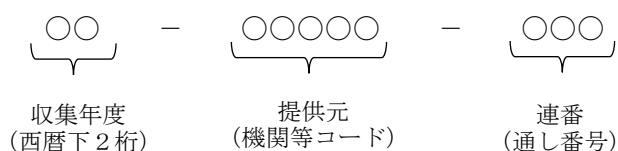
全国におけるタヌキ等の生息情報の収集のため、表 2-1-1 に示した項目に基づき、調査を実施した。

本調査では、タヌキ等の現在の生息状況を把握するための効果的な調査手法等の検討を 2018 年度より実施した。2018 年度は情報集積状況の把握・調査手法の検討を行った。2019 年度は、2020 年度の全国調査に向けた試行調査としてモデル県を 5 県（秋田県、埼玉県、滋賀県、熊本県、鹿児島県）設定し、生息情報を収集した。2020 年度は、試行調査で得られた結果等を踏まえ、全国規模で生息情報を収集・整理し、内容を分析・評価した。2021 年度は、補完調査を実施したほか、調査結果のとりまとめを行った。

(2) 情報収集の範囲ととりまとめの方針

本調査におけるタヌキ等の生息情報の収集対象年度は 2010 年度以降とした。生息情報は、捕獲情報、死体の確認情報、目撃情報、痕跡情報等とした。位置情報は 5km メッシュ（1 メッシュあたり約 5km 四方）単位で整理した。

収集した資料には以下の基準に沿って資料番号（巻末資料 1 参照）を付与した。機関等コードは、総務省統計局で使用されているコードを基本とした（表 2-2-1）。



収集したタヌキ等の生息情報は、情報源ごとに位置情報の表現が異なり、大きく分けると以下のような情報である。

- ・ 5km メッシュコードが記録された生息情報
- ・ 他のメッシュコード（1km メッシュコードなど）が記録された生息情報
- ・ 緯度・経度が記録された生息情報
- ・ 住所のみが記録された生息情報

このため、分布図作成にあたっては、異なる情報源から得られたデータを統合する必要がある。かつ 5km メッシュコード情報がない生息情報については新たに情報を付与する必要がある。1km メッシュコードや緯度経度情報が含まれる生息情報については、GIS 上で 5km メッシュ図と重ね合わせ、対応する 5km メッシュコードを付与した。一方、住所のみが含まれる情報については、一旦、緯度経度情報に変換した後に、GIS 上で処理する必要があるた

め、東京大学空間情報科学研究センターが提供する「CSV アドレスマッチングサービス」(<http://newspat.csis.u-tokyo.ac.jp/geocode/>)を用いて、変換を行った。なお、この変換の際に、住所データが登録されていない地域などは正確に変換ができない場合もあるが、多くの情報を一括で処理できることや、本調査の開始当初から利用されていた等の理由から使用した。

以上のように、収集したデータに 5km メッシュコードを付与し、一つのデータベースに集約した。作成したデータベースの項目と記載内容の説明を表 2-2-2 に例示した。データベースには、情報確認年度や情報提供元、資料番号等を入力し、確認の必要のある場合には情報源をたどれるよう情報を整理した。また、分布図作成にかかるデータの使用の有無についても明記した。

(3) 分布図の作成

作成したデータベースをもとに以下の手順で種ごとに情報の集約を行い、分布図を作成した。

- 1) 分布図作成に使用できないデータ（例：図化すると住所と異なる場所となるデータなど）の抽出・除外
- 2) 2010 年度以降のデータの抽出
- 3) 5km メッシュコード毎に分布の有・無として地図化のためデータセットの作成

GIS を用いた分布図の作成にあたり、測地系および GIS ファイルの形式については以下の通りとした。

- ・測地系

世界測地系 (JGD2000) を使用。

- ・5km メッシュファイル

環境省生物多様性センター (<http://gis.biodic.go.jp/webgis/sc-023.html>) よりダウンロードした shape ファイルを使用。

国土数値情報 (<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>) よりダウンロードした行政区域データの shape ファイルと重複する 5km メッシュを全国メッシュ（北方四島を除く 17,068 メッシュ）として使用。

表2-1-1 年度別調査項目一覧

実施項目に●

調査項目		2018年度 情報収集の試行 調査計画の検討	2019年度 試行調査	2020年度 全国調査	2021年度 補完調査 とりまとめ
既存情報の収集	WISデータ	●	●	●	●
	河川水辺の国勢調査データ	●	●	●	●
	国立公園イベントリ調査データ			●	
	モニタリングサイト1000データ	●	●		
	保護林モニタリング調査データ			●	
	都道府県実施調査報告書、データ		●	●	●
	文献（学会誌、博物館刊行物、大学演習林データベース）	●	●	●	●
	Web情報	●	●		
	国道管理事務所等からのデータ（秋田県、埼玉県、熊本県）	●			
市区町村アンケート			●	●	●
環境省地方環境事務所アンケート					●
専門家等からの情報 収集	日本哺乳類学会との連携		●	●	●
	地域の専門家等※1	●	●		●
	地域研究団体※2	●	●		
	ビクターセンター		●		
「いきものログ」による情報収集		●	●		●
ヒアリング	都道府県鳥獣行政担当課		●	●	●
	タヌキ等の専門家（3名）	●		●	●

※1：日本哺乳類学会との連携や都道府県ヒアリングを通じ、情報提供を受けた専門家も含まれる

※2：2018年度に実施したモデル地域専門家からの情報も含まれる

表 2-2-1 機関等コード一覧

国の行政機関		都道府県		検索名等	
コード	機関等名称	コード	機関等名称	コード	機関等名称
00020	人事院	01000	北海道	90000	専門家
00100	内閣府	02000	青森県	91000	猟友会
00110	宮内庁	03000	岩手県	92000	市町村アンケート
00120	公正取引委員会	04000	宮城県	93000	文献
00130	警察庁	05000	秋田県	94000	地域研究団体
00150	金融庁	06000	山形県	95000	市民調査
00160	消費者庁	07000	福島県	99997	その他（タヌキ）
00200	総務省	08000	茨城県	99998	その他（キツネ）
00201	公害等調整委員会	09000	栃木県	99999	その他（アナグマ）
00202	消防庁	10000	群馬県		
00250	法務省	11000	埼玉県		
00251	公安調査庁	12000	千葉県		
00300	外務省	13000	東京都		
00350	財務省	14000	神奈川県		
00351	国税庁	15000	新潟県		
00400	文部科学省	16000	富山県		
00401	文化庁	17000	石川県		
00450	厚生労働省	18000	福井県		
00452	中央労働委員会	19000	山梨県		
00500	農林水産省	20000	長野県		
00501	林野庁	21000	岐阜県		
00502	水産庁	22000	静岡県		
00550	経済産業省	23000	愛知県		
00551	資源エネルギー庁	24000	三重県		
00552	特許庁	25000	滋賀県		
00553	中小企業庁	26000	京都府		
00600	国土交通省	27000	大阪府		
00601	観光庁	28000	兵庫県		
00602	気象庁	29000	奈良県		
00603	運輸安全委員会	30000	和歌山県		
00604	海上保安庁	31000	鳥取県		
00650	環境省	32000	島根県		
00700	防衛省	33000	岡山県		
		34000	広島県		
		35000	山口県		
		36000	徳島県		
		37000	香川県		
		38000	愛媛県		
		39000	高知県		
		40000	福岡県		
		41000	佐賀県		
		42000	長崎県		
		43000	熊本県		
		44000	大分県		
		45000	宮崎県		
		46000	鹿児島県		
		47000	沖縄県		
		50000	全国		

表 2-2-2 作成したデータベースの項目とその記載内容の説明例

項目名	項目の説明
対象種	種名の記載
分布確認年度	分布確認年度の記載
分布の根拠	目撃・捕獲・アンケートなど情報源を記載
5km メッシュコード	7 桁の 5km メッシュコードを記載
図化に使用	専門家や都道府県ヒアリング等で指摘があり、図化に使用しない情報を 0、図化に使用する情報を 1 と記載
資料番号	得られた情報源番号を記載
備考	図化に使用しなかった根拠や情報源に対する備考を記載
情報源	情報源（国、都道府県、専門家など）を記載

（４）収集した情報および情報の収集方法

本調査では、2010 年度以降の全国のタヌキ、キツネ、アナグマの生息情報について、様々な情報源から収集・整理を行った。収集した生息情報の情報源とその収集方法について以下に示す。

１）既存情報

既存情報として、以下の各種データや報告書等から生息情報を収集した（表 2-4-1）。WIS データをはじめとし、既存情報の多くは国による情報である。

表 2-4-1 収集した既存情報

情報源	年度	備考
WIS データ	2010～2020 年度分	環境省データ
河川水辺の国勢調査データ	2010～2018 年度分	国土交通省データ
国立公園インベントリ調査データ	2016～2018 年度分	環境省データ
モニタリングサイト 1000 データ	2010～2018 年度分	環境省データ GBIF との重複あり
保護林モニタリング調査データ	2016～2019 年度分	林野庁データ
国道管理事務所等データ	2010～2018 年度分	秋田県、埼玉県、熊本県のみ
都道府県実施調査報告書、資料、データ※	2010 年度以降	
文献（学会誌、博物館刊行物、大学演習林データベース）	2010 年以降	
Web 情報	2010 年以降	

※情報の取得状況を表 3-1-3 に都道府県別種別で示した。

・ WIS データ

本調査では、2021 年 6 月末日までに都道府県から環境省に報告された捕獲等の情報（野生鳥獣情報システム（WIS：Wildlife Information System）、捕獲情報収集システム等から得たデータを含む）をまとめて WIS データとした。収集したデータのうち、誤情報等を精査・整理し、5km メッシュコードが記録されたタヌキ等のデータ（狩猟、許可捕獲等）を集計対象とした。なお、一部の都道府県では、捕獲位置が独自のシステムで集約されているため、環境省に報告されていない場合や、タヌキ等の捕獲位置は収集対象となっていない場合があった（巻末資料 7 参照）。

・ 河川水辺の国勢調査データ

河川環境データベース（<http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/>）を活用し、タヌキ等の捕獲、目撃、痕跡等の情報を収集した。

- ・国立公園インベントリ調査データ

国立公園のインベントリ調査で得られたタヌキ等の生息情報に関するデータを収集した。

- ・モニタリングサイト 1000 データ

環境省が 2003 年から全国で実施する「モニタリングサイト 1000」事業から得られたタヌキ等の生息情報を収集した (<http://www.biodic.go.jp/monil000/findings/data/>)。収集した情報の一部は、GBIF (Global Biodiversity Information Facility: 地球規模生物多様性情報機構) から得られたデータとの重複があった。

- ・保護林モニタリング調査データ

林野庁と環境省が実施する白神山地周辺地域において、センサーカメラ調査で撮影されたタヌキ等の生息情報を収集した。

- ・国道管理事務所等データ

国土交通省の国道管理事務所等が所有するタヌキ等のロードキルデータについて、2018 年度に秋田県、埼玉県、熊本県の 3 県のみを収集した。

- ・都道府県による情報

都道府県の鳥獣行政担当課を対象に実施した都道府県ヒアリングの際に照会し、都道府県が実施する事業等で得られたタヌキ等の生息情報を収集した。

- ・Web や文献等による情報

Web から得られる情報として、論文検索エンジン Google Scholar により、発行年が 2010 年以降、「タヌキ OR キツネ OR アナグマ」の検索式による検索を行った。検索の結果、2010 年以降に生息が確認され、位置情報がメッシュ単位で特定できるものを抽出した。

タヌキ等の生息情報と関連性の高い分野 (哺乳類学、生態学、林学等) を専門とする学会誌を対象とし、2010 年度以降に刊行された号から生息情報を収集した。

博物館刊行物は、地域の博物館が Web 上で公開している刊行物を確認し、2010 年以降のタヌキ等の生息情報を収集した。

大学演習林データベースは、全国大学演習林協議会 (<https://jauf.cambria.ac/>) が Web 上で公開しているデータベースから 2010 年以降のタヌキ等の生息情報を収集した。収集した情報の一部は Google Scholar による検索結果との重複があった。

2) 市区町村アンケートによる情報

全国の 1,741 市区町村の鳥獣行政担当課を対象とし、アンケート調査を実施した。市区町村アンケートは 2019 年度から 2021 年度にかけて郵送により実施した。

2019 年度は、試行調査として秋田県、埼玉県、滋賀県、熊本県、鹿児島県の 5 県の市区町村（195 市区町村）を対象に、2020 年度は全国調査として残り 42 都道府県の市区町村（1,546 市区町村）にアンケートを送付した。なお、沖縄県に対しても、タヌキ等の国内移入の有無を確認する目的でアンケートを送付した。2021 年度は補完調査として、2019 年度と 2020 年度の市区町村アンケートの結果と 2004 年の第 6 回調査の結果と比較し、生息情報が十分に得られなかった市区町村（343 市区町村）を対象に再アンケート調査を実施した。

アンケートは市区町村の鳥獣行政担当課を窓口とし、他部局や狩猟者、鳥獣保護管理員、地域住民、JA、森林組合、地域の専門家や研究団体などから幅広く情報を収集するよう依頼した。2020 年度の全国調査で送付したアンケート一式を巻末資料 2 に示した。

種別の回答用図面（5km メッシュ図）には、2010 年度以降に得られた既存の生息情報をあらかじめ図示し、市区町村において追加の生息情報が必要なメッシュを明確にした上で回答を依頼した。新たに追加で生息情報があった場合は、メッシュ番号、確認年、生息の確度（「生息している」もしくは「生息していると思われる」のどちらか）、生息の根拠（「目撃」、「捕獲（錯誤捕獲含む）」、「死体の発見」、「痕跡（糞・足跡）」、「他の生息地と森林が連続しているため」、「伝聞情報」）について回答を依頼した。アンケートの返送後、記載内容の整理を行い、不明な点があった場合は確認を取ったほか、回答期間の終了後に未回答市区町村への再依頼を行った。アンケートの回答状況を表 3-1-2 に、市区町村別種別の情報の取得状況を巻末資料 3 に示した。

3) 環境省地方環境事務所アンケートによる情報

狩猟等による捕獲行為が規制されている国立公園や世界自然遺産地域等での 2010 年度以降の生息情報を収集するため、環境省地方環境事務所（表 2-4-2）を対象としたアンケート調査を 2021 年度に実施した。アンケート様式は市区町村アンケートと同様とした。回答用図面は、各地方環境事務所が管轄する国立公園や世界自然遺産等の区域を含むものとし、2020 年度調査で得られた生息情報を反映させたものを送付した。なお、各地方環境事務所等において、生息情報がない場合の回答は不要とした。アンケートの返送後、記載内容の整理を行った。

表 2-4-2 アンケートを送付した地方環境事務所および管轄する国立公園

事務所名	管轄する国立公園
北海道地方環境事務所	利尻礼文サロベツ国立公園, 大雪山国立公園, 支笏洞爺国立公園
釧路自然環境事務所	知床国立公園, 阿寒摩周国立公園, 釧路湿原国立公園
東北地方環境事務所	十和田八幡平国立公園, 三陸復興国立公園, 磐梯朝日国立公園
関東地方環境事務所	日光国立公園, 尾瀬国立公園, 秩父多摩甲斐国立公園, 富士箱根伊豆国立公園, 南アルプス国立公園
中部地方環境事務所	白山国立公園, 伊勢志摩国立公園

信越自然環境事務所	上信越高原国立公園, 中部山岳国立公園, 妙高戸隠連山国立公園
近畿地方環境事務所	吉野熊野国立公園, 山陰海岸国立公園, 瀬戸内海国立公園
中国四国地方環境事務所	瀬戸内海国立公園, 大山隠岐国立公園
四国事務所	瀬戸内海国立公園, 足摺宇和海国立公園
九州地方環境事務所	瀬戸内海国立公園, 西海国立公園, 雲仙天草国立公園, 阿蘇くじゅう国立公園, 霧島錦江湾国立公園, 屋久島国立公園

その他、現地事務所 84 箇所に対してアンケートを送付した。

4) 専門家等からの情報収集

本調査で得られるタヌキ等の生息情報の正確性や分布図の精度等について検討を進めるため、2019 年度以降、日本哺乳類学会における自由集会の企画・開催や中型哺乳類の研究者等との連携を進めた。2019 年度大会と 2021 年度大会では、麻布大学の塚田英晴准教授と共同で自由集会を企画開催し、本調査の実施概要等の報告、データの収集や活用方法、分布図作成に関する課題等を議論した。2020 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止等の観点から、日本哺乳類学会が開催されず、2019 年度大会参加者に対して暫定版分布図を示し、分布図へ反映可能な生息情報や意見を収集した。

都道府県の鳥獣行政担当課を対象としたヒアリングにおいて、都道府県から紹介を受けた専門家や地域研究団体が刊行する出版物から生息情報を収集した。2019 年度の試行調査では、5 県（秋田県、埼玉県、滋賀県、熊本県、鹿児島県）の地域研究団体やビジターセンター（表 2-4-3）に照会し、生息情報を収集した。加えて、タヌキ等の生息状況に詳しい専門家（表 2-4-4）へのヒアリングを実施し、得られた生息情報の過不足について意見を得たほか、専門家個人が有する生息情報の提供を受けた。

表 2-4-3 ヒアリング対象とした地域研究団体およびビジターセンター

都道府県	地域研究団体/VC	名称
秋田県	地域研究団体	大潟村開拓博物館
		日本野鳥の会秋田県支部
	VC	玉川温泉ビジターセンター
		八幡平ビジターセンター
埼玉県	地域研究団体	NPO 法人秩父の環境を考える会
	VC	三峰ビジターセンター
滋賀県	地域研究団体	滋賀県自然環境研究会
	VC	くつきの森やまね館
熊本県	地域研究団体	熊本野生生物研究会・熊本県高等学校教育研究会生物部会

		熊本県自然保護関係団体協議会
	VC	南阿蘇ビジターセンター
鹿児島県	VC	高千穂河原ビジターセンター

表 2-4-4 ヒアリング対象としたタヌキ等の生息状況に詳しい専門家

氏名	所属	専門分野
浦口宏二氏	北海道立衛生研究所 感染症部 医動物グループ	キツネ
金子弥生氏	東京農工大学 農学部	アナグマ
佐伯緑氏	(国研) 農研機構 中央農業研究センター	タヌキ

5) 「いきものログ」による情報収集

「いきものログ」(<https://ikilog.biodic.go.jp/>) は、環境省生物多様性センターが管理運営している生物情報の収集・提供システムである。本調査では、2018 年度に「いきものログ」で得られた 2010 年度以降のデータ提供を受け、2019 年度に埼玉県で「いきものログ」を用いたタヌキ等の情報収集を試行的に実施した。2021 年度は、埼玉県での試行調査を参考とし、全国規模で「いきものログ」の団体調査（環境省実施市民参加型調査）を立ち上げ、情報収集を行った。

タヌキ等の生息情報は「いきものログ」調査サイト (https://ikilog.biodic.go.jp/Investigation/?invReq=detail&eventremarks_id=270) への投稿のほか、団体調査事務局へのメール送付による提供も可能とした。また、環境省生物多様性センターのウェブサイト以外にも、生態学全般に関わるメーリングリスト (jeconet) も活用し、調査への協力を呼びかけた。調査期間は 2021 年 5 月 20 日から 6 月 30 日までとした。調査要項等は巻末資料 4 に示した。

(5) 生息情報のとりまとめ・分析

収集した情報のとりまとめ手順の概要を図 2-5-1 に示した。収集した情報はすべて 5km メッシュ情報に変換した。メッシュコードの誤入力データ等、分布図の作成に使用できないデータの抽出後、図化作業を行った。作成した分布図は、第 1 次整理後、第 2 次整理後の 2 回、都道府県の鳥獣行政担当課への照会を行った。都道府県への照会の結果、修正したメッシュ情報の一覧は巻末資料 5 に示した。また、本調査における検討会やタヌキ等に詳しい専門家ヒアリングにおいても確認を取った上で、最終的なデータの確定を行った。

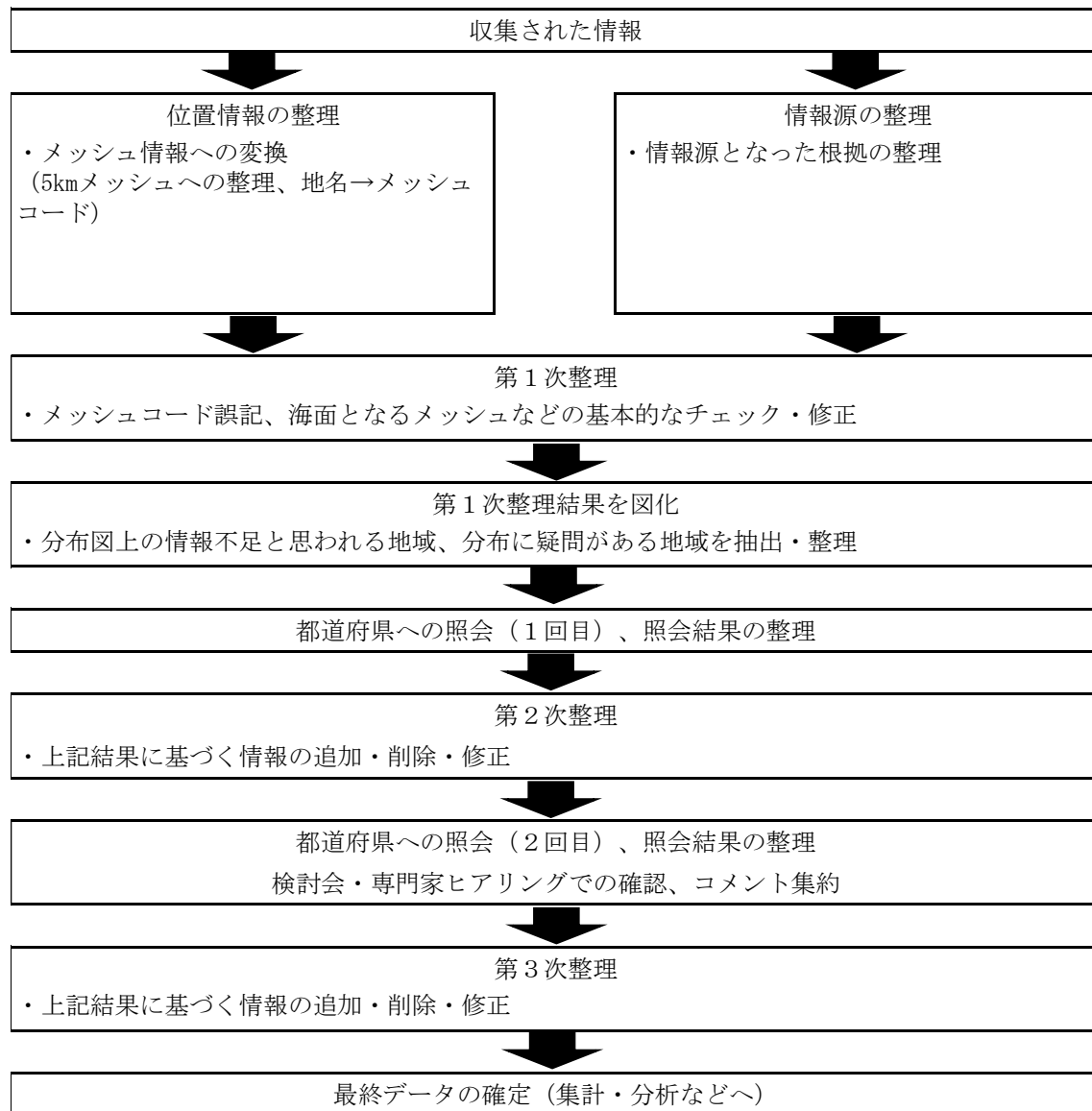


図 2-5-1 とりまとめ手順の概要

3. 調査結果

本調査では様々な情報源から生息情報を収集しているが、得られた情報件数やメッシュ数等の集計を行うため、最終的なデータの確定後、各情報源を表 3-1 のように整理した。なお、情報源となった資料一覧は巻末資料 1 に示した。

表 3-1 情報源の整理

情報源	含まれる調査結果、データ等
WIS	WIS データ
河川水辺の国勢調査	河川水辺の国勢調査データ
国	国立公園インベントリ調査 モニタリングサイト 1000 いきものログ 保護林モニタリング調査 環境省地方環境事務所アンケート結果 GBIF
市区町村	市区町村アンケート結果
専門家	専門家等が所有するデータ 地域の研究団体、VC が把握するデータ
都道府県	都道府県実施調査報告書
道路	国道事務所が所有するロードキルデータ
文献	学会誌、博物館刊行物等
その他	Web 情報、山の野生鳥獣目撃レポート

(1) 情報の収集結果

各情報源から得られた種別の情報件数とその割合を表 3-1-1 に示した。得られた情報件数の合計は、タヌキは 51,325 件、キツネは 34,329 件、アナグマは 26,665 件だった。

表 3-1-1 各情報源から得られた情報件数及び割合

情報源	調査対象種					
	タヌキ		キツネ		アナグマ	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
WIS	26,406	0.51	5,792	0.17	12,078	0.45
河川水辺の国勢調査	2,106	0.04	1,365	0.04	408	0.02
国	929	0.02	799	0.02	700	0.03
市町村	18,388	0.36	23,156	0.67	11,537	0.43
専門家	748	0.01	2,010	0.06	334	0.01
都道府県	2,097	0.04	1,053	0.03	1,502	0.06
道路	477	0.01	28	0.00	36	0.00
文献	149	0.00	113	0.00	62	0.00
その他	25	0.00	13	0.00	8	0.00
合計	51,325	1.00	34,329	1.00	26,665	1.00

情報源のうち、WIS データはタヌキは 26,406 件、キツネは 5,792 件、アナグマは 12,078 件であり、タヌキにおいて WIS データが占める件数は、全体（51,325 件）の半数以上だった。一方、キツネの WIS データは 5,792 件と少なかった。この理由として、全国の捕獲頭数の多くを占める北海道の WIS データが得られなかったことが考えられた（巻末資料 6 参照）。

市区町村アンケートでは、タヌキは 18,388 件、キツネは 23,156 件、アナグマは 11,537 件の情報が得られた。市区町村アンケートの実施状況を表 3-1-2 にまとめた。アンケートは 2019 年度から 2021 年度に、全国 1,741 市区町村の鳥獣行政担当課を対象に実施し、最終的に 1,653 市区町村から回収できた（回収率：94.9%）。回収率は東日本で高く、西日本でやや低い傾向がみられた。アンケートの回答は任意であり、生息情報の収集はアンケート調査の窓口として依頼した市区町村の鳥獣行政担当の裁量に任される。多くの鳥獣行政担当はタヌキ等に関する情報を持っている対象者（他部局、狩猟者、森林組合員、鳥獣保護管理員等）から広く情報収集を行ったと考えられた（図 3-1-1）。一方、一部の市区町村からは、タヌキ等の狩猟や被害防止のための捕獲がないという回答も得られており、その場合、狩猟者へ生息情報の照会が行われなかった可能性がある。また、アンケートは返送されたものの、タヌキ等の追加情報の記載のない回答も一部の市区町村でみられた。これは、アンケートが鳥獣行政担当での確認に留まり、必要な情報収集が行われることなく返送された例もあったと推察された。

表 3-1-2 市区町村アンケート回答状況

都道府県	発送 市区町村数	総回収 市区町村数※1	回収率 (%)	都道府県	発送 市区町村数	総回収 市区町村数※1	回収率 (%)
北海道※2	179	173	96.6	滋賀県	19	18	94.7
青森県	40	40	100.0	京都府	26	24	92.3
岩手県	33	33	100.0	大阪府	43	42	97.7
宮城県	35	33	94.3	兵庫県	41	36	87.8
秋田県	25	25	100.0	奈良県	39	38	97.4
山形県	35	34	97.1	和歌山県	30	26	86.7
福島県	59	58	98.3	鳥取県	19	18	94.7
茨城県	44	43	97.7	島根県	19	19	100.0
栃木県	25	25	100.0	岡山県	27	25	92.6
群馬県	35	34	97.1	広島県	23	22	95.7
埼玉県	63	61	96.8	山口県	19	18	94.7
千葉県	54	49	90.7	徳島県	24	20	83.3
東京都※3	62	61	98.4	香川県	17	16	94.1
神奈川県	33	33	100.0	愛媛県	20	19	95.0
新潟県	30	27	90.0	高知県	34	29	85.3
富山県	15	15	100.0	福岡県	60	55	91.7
石川県	19	19	100.0	佐賀県	20	18	90.0
福井県	17	17	100.0	長崎県	21	21	100.0
山梨県	27	26	96.3	熊本県	45	42	93.3
長野県	77	69	89.6	大分県	18	17	94.4
岐阜県	42	39	92.9	宮崎県	26	25	96.2
静岡県	35	32	91.4	鹿児島県※4	43	37	86.0
愛知県	54	52	96.3	沖縄県※5	41	41	100.0
三重県	29	29	100.0	計	1,741	1,653	94.9

※1：2019年度から2021年度の合計

※2：アナグマの生息なし

※3：伊豆・小笠原諸島は3種の生息情報なし

※4：トカラ列島・奄美諸島は3種の生息情報なし

※5：3種の生息情報なし

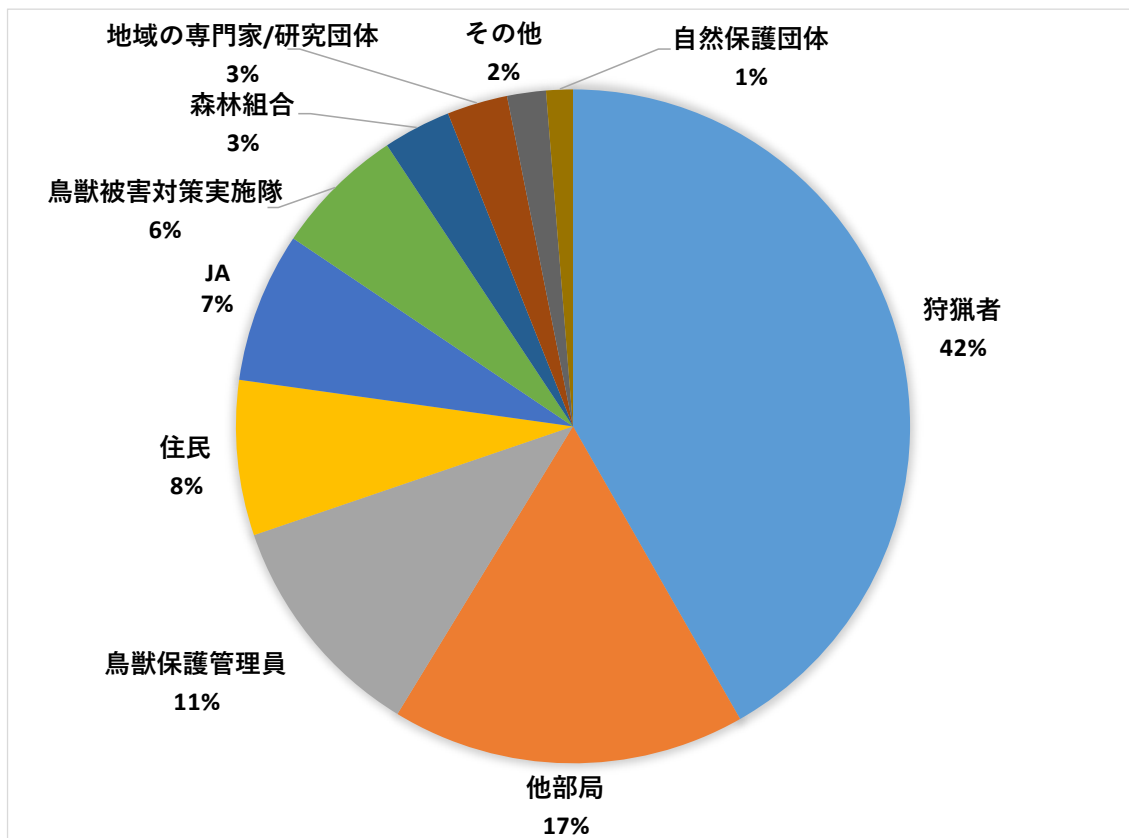


図 3-1-1 鳥獣行政担当以外の情報提供者の内訳（重複を含む）
（2020 年度と 2021 年度調査で照会：583 市区町村から回答）

専門家等からの生息情報として、タヌキは 748 件、キツネは 2,010 件、アナグマは 334 件得られた。専門家個人や地域研究団体等による生息情報は、地域や種に偏りがあり、網羅的に調査が実施されているとは限らないが、専門家等が実施した調査から得られるタヌキ等の生息情報は確度が高く、重要な情報源と考えられた。

都道府県実施調査報告書等からの生息情報として、タヌキは 2,097 件、キツネは 1,053 件、アナグマは 1,502 件得られた。都道府県別では、タヌキは 15 都府県、キツネは 14 府県、アナグマは 15 都府県から情報が得られた（表 3-1-3）。なお、沖縄県はタヌキ等が生息していないため情報の提供依頼を行わなかった。

都道府県でタヌキ等の生息情報が体系的に情報が収集されている例は少なかったが、一部の都道府県では、レッドデータブック作成や鳥獣保護管理事業計画に基づいた調査等において情報が収集されていることがあった。また、狩猟捕獲の禁止措置がとられている場合、WIS データは取得できないが、栃木県（アナグマ）や千葉県（キツネ）では、狩猟者等への出合調査やアンケート調査によって情報収集が行われていた。その他、タヌキ等を対象としたものではないが、センサーカメラを用いた調査で撮影されたタヌキ等の情報も提供された。

表 3-1-3 都道府県別種別生息情報の取得状況

都道府県	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	タヌキ	キツネ	アナグマ
01北海道			—	25滋賀県	○	○	○
02青森県				26京都府	○	○	○
03岩手県				27大阪府	○	○	○
04宮城県				28兵庫県	○	○	○
05秋田県	○	○	○	29奈良県			
06山形県				30和歌山県	○	○	○
07福島県				31鳥取県			
08茨城県	○	○	○	32島根県			
09栃木県			○	33岡山県			
10群馬県				34広島県			
11埼玉県	○	○	○	35山口県			
12千葉県	○	○	○	36徳島県			
13東京都	○		○	37香川県	○	○	○
14神奈川県				38愛媛県			
15新潟県	○			39高知県			
16富山県	○	○	○	40福岡県			
17石川県				41佐賀県			
18福井県				42長崎県		○	
19山梨県				43熊本県	○	○	○
20長野県				44大分県			
21岐阜県				45宮崎県	○		○
22静岡県				46鹿児島県		○	
23愛知県				47沖縄県	—	—	—
24三重県				合計	15	14	15

環境省地方環境事務所から得られた生息情報を表 3-1-4 に示した。照会をかけたすべての地方環境事務所等からタヌキ等の生息情報が提供された。得られた生息情報の多くは、国立公園に配置された自然保護官（レンジャー）が日々の調査や巡視業務の際に目撃情報だった。目撃情報の中には国立公園や国指定鳥獣保護区域内での調査において、シカやクマ類を対象として実施されているセンサーカメラで撮影された画像等によるものも含まれていた。

また、今回のアンケート調査の一環で、センサーカメラを使用した調査の実施状況について照会をかけた結果、多くの地方環境事務所管内でセンサーカメラ調査が実施されていた。

国立公園や世界自然遺産地域等では、狩猟等による捕獲行為が規制されており、WIS データが得られないことから、自然保護官（レンジャー）や鳥獣保護区管理員が確認した生息情報は貴重なものと考えられる。併せて、センサーカメラで撮影されたタヌキ等の生息情報を活用することも有効であるが、情報の収集体制の構築が必要と考えられる。

表 3-1-4 環境省地方環境事務所等による生息情報の取得状況

事務所名等	タヌキ	キツネ	アナグマ	センサーカメラ 調査※	備考（情報提供のあった現地事務所、施設名等）
釧路自然環境事務所	○	○		○	阿寒湖・阿寒摩周
東北地方環境事務所	○	○	○	○	蕪栗沼・仙台海浜・大潟草原・下北西部・十和田・森吉・白神山地・伊豆沼・最上川河口・十和田八幡平・石巻・大船渡・島海南麓
関東地方環境事務所	○	○	○	○	奥多摩・日光国立公園那須・南アルプス
信越自然環境事務所	○	○	○	○	中部山岳国立公園上高地・妙高高原・富山県立山カルデラ砂防博物館
中部地方環境事務所	○	○	○	○	藤前干潟・片野鴨池
近畿地方環境事務所	○	○	○		浦富・田辺
中国四国地方環境事務所	○	○	○	○	大山隠岐国立公園隠岐・大山隠岐・米子水鳥公園
九州地方環境事務所		○		○	霧島錦江湾国立公園えびの

※センサーカメラを用いた調査に関する情報提供

「いきものログ」によって得られた都道府県別、種別の情報の取得状況を表 3-1-5 に示した。最終的にタヌキは 16 都道府県、キツネは 14 道府県、アナグマは 11 府県から情報が得られた。種別ではタヌキは 44 件、キツネは 33 件、アナグマは 22 件報告されたが、位置情報のない報告もあった。実施期間が 1 か月程度であったが、実施期間をより長く設定することができれば、多くの情報を収集できると考えられた。また、「いきものログ」の登録者数を増やすための普及啓発も必要と考えられた。

表 3-1-5 「いきものログ」による都道府県別種別生息情報の取得状況

都道府県	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	タヌキ	キツネ	アナグマ
01北海道	○	○	—	25滋賀県		○	
02青森県				26京都府		○	
03岩手県		○	○	27大阪府	○		
04宮城県				28兵庫県	○	○	○
05秋田県	○	○	○	29奈良県	○		○
06山形県				30和歌山県			
07福島県		○		31鳥取県			
08茨城県	○			32島根県			
09栃木県			○	33岡山県			
10群馬県			○	34広島県		○	○
11埼玉県	○			35山口県	○		○
12千葉県	○			36徳島県			
13東京都	○			37香川県			
14神奈川県	○			38愛媛県	○		
15新潟県				39高知県			
16富山県				40福岡県	○	○	
17石川県				41佐賀県			○
18福井県			○	42長崎県			
19山梨県	○	○		43熊本県			
20長野県		○		44大分県			
21岐阜県	○	○	○	45宮崎県			
22静岡県	○			46鹿児島県			
23愛知県		○		47沖縄県	—	—	—
24三重県		○		合計	16	14	11

※タヌキ 44 件、キツネ 33 件、アナグマ 22 件の情報が収集できた。

(2) 各情報源から得られたメッシュ数

各情報源から得られたメッシュ数及びカバー率を表 3-2-1 に示した。生息情報の得られたメッシュ数（以下、「在メッシュ数」という。）は、タヌキは 11,357 メッシュ、キツネは 8,559 メッシュ、アナグマは 6,592 メッシュだった。

カバー率は全国メッシュ数（17,068 メッシュ）に占める割合で算出しており、タヌキは 0.67、キツネは 0.50、アナグマは 0.39 だった。

表 3-2-1 各情報源から得られたメッシュ数及びカバー率

情報源	調査対象種					
	タヌキ		キツネ		アナグマ	
	在メッシュ数	カバー率	在メッシュ数	カバー率	在メッシュ数	カバー率
WIS	7,378	0.43	3,049	0.18	3,729	0.22
河川水辺の国勢調査	795	0.05	581	0.03	242	0.01
国	282	0.02	260	0.02	221	0.01
市町村	3,435	0.20	4,208	0.25	2,399	0.14
専門家	414	0.02	869	0.05	199	0.01
都道府県	1,215	0.07	693	0.04	626	0.04
道路	168	0.01	26	0.00	23	0.00
文献	117	0.01	98	0.01	57	0.00
その他	25	0.00	13	0.00	8	0.00
合計※	11,357	0.67	8,559	0.50	6,592	0.39

※ 情報源ごとの在メッシュの重複があるため、各情報源の在メッシュ数と合計欄の在メッシュ数は合致しない。

表 3-2-2 に在メッシュ数について、地方ブロック別に示した。

種別では、タヌキは近畿における在メッシュ数（1,023 メッシュ）の割合が最も高く 0.84 だった。一方、北海道のタヌキの在メッシュ数（1,626 メッシュ）は、北海道全体（3,693 メッシュ）の 0.44 であり、地方ブロック別では最も低い割合だった。

キツネは北海道の在メッシュ数（2,466 メッシュ）の割合が最も高く 0.67 だった。九州の在メッシュ数（624 メッシュ）の割合は 0.25 であり、地方ブロック別では最も低い割合だった。

アナグマは近畿の在メッシュ数（847 メッシュ）の割合が最も高く 0.69 だった。東北の在メッシュ数（1,103 メッシュ）の割合は 0.37 であり、地方ブロック別では最も低い割合だった。

表 3-2-2 地方ブロック別在メッシュ数

地方※1	5km メッシュ 数	タヌキ		キツネ		アナグマ	
		在メッシュ数	割合	在メッシュ数	割合	在メッシュ数	割合
北海道	3,693	1,626	0.44	2,466	0.67	0	0.00
東北	2,957	2,046	0.69	1,679	0.57	1,103	0.37
関東	1,490	1,198	0.80	655	0.44	589	0.40
中部	3,202	2,324	0.73	1,559	0.49	1,451	0.45
近畿	1,224	1,023	0.84	701	0.57	847	0.69
中国	1,482	1,155	0.78	707	0.48	973	0.66
四国	939	714	0.76	320	0.34	434	0.46
九州	2,473	1,491	0.60	624	0.25	1,357	0.55
全国※2	17,068	11,357	0.67	8,559	0.50	6,592	0.39

※1：東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県

近畿：三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

※2：都府県境のメッシュの重複があるため、地方ブロック別のメッシュ数の合計値と全国メッシュ数は合致しない。

(3) 分布図

収集した生息情報に基づき、タヌキ等の5kmメッシュ単位の分布図を作成した（図3-3-1～図3-3-3）。なお、本調査において、沖縄県ではタヌキ等の生息情報が得られなかったため、分布図の図示範囲には含めなかった。

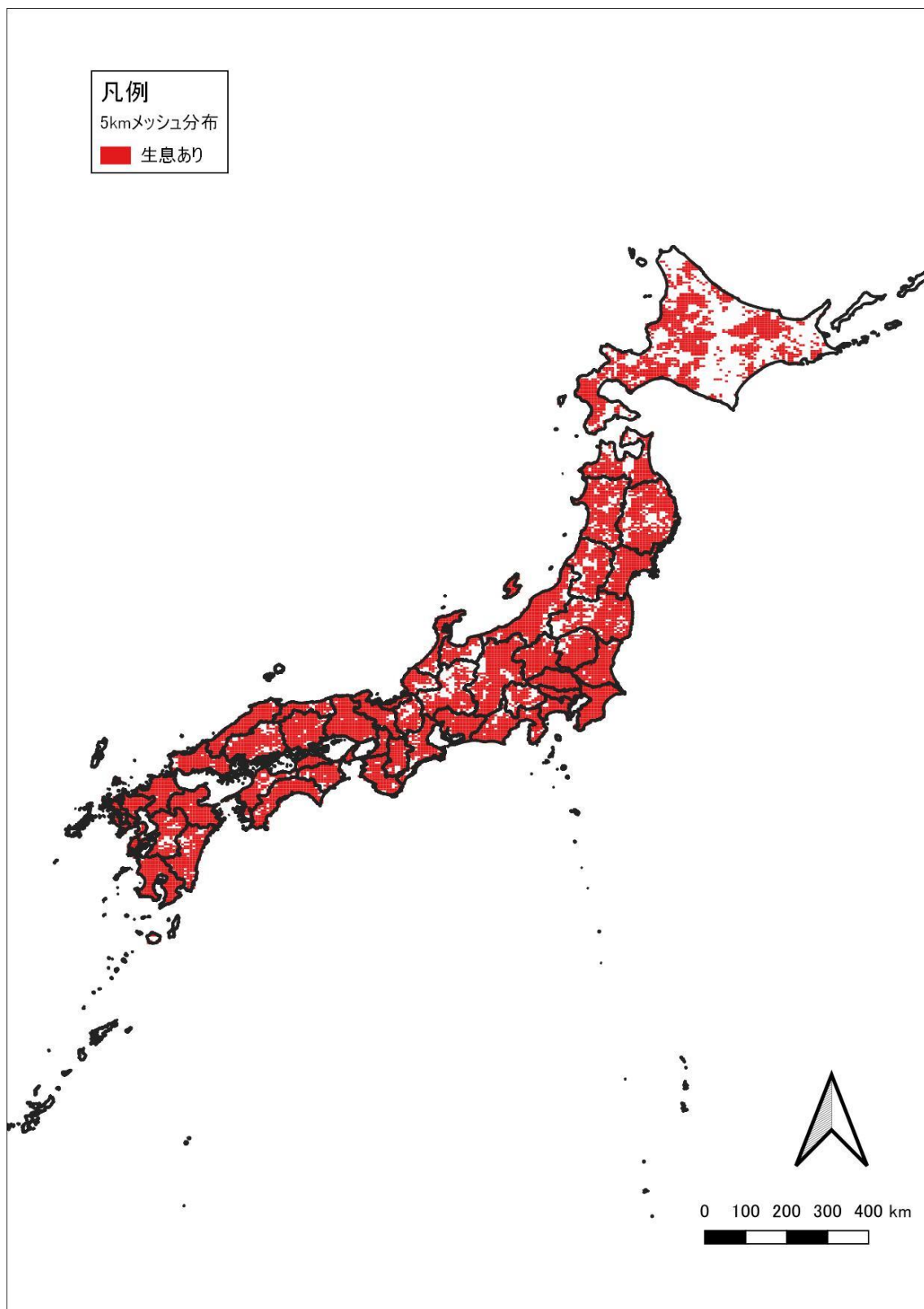


図 3-3-1 タヌキの生息情報が得られた 5km メッシュ

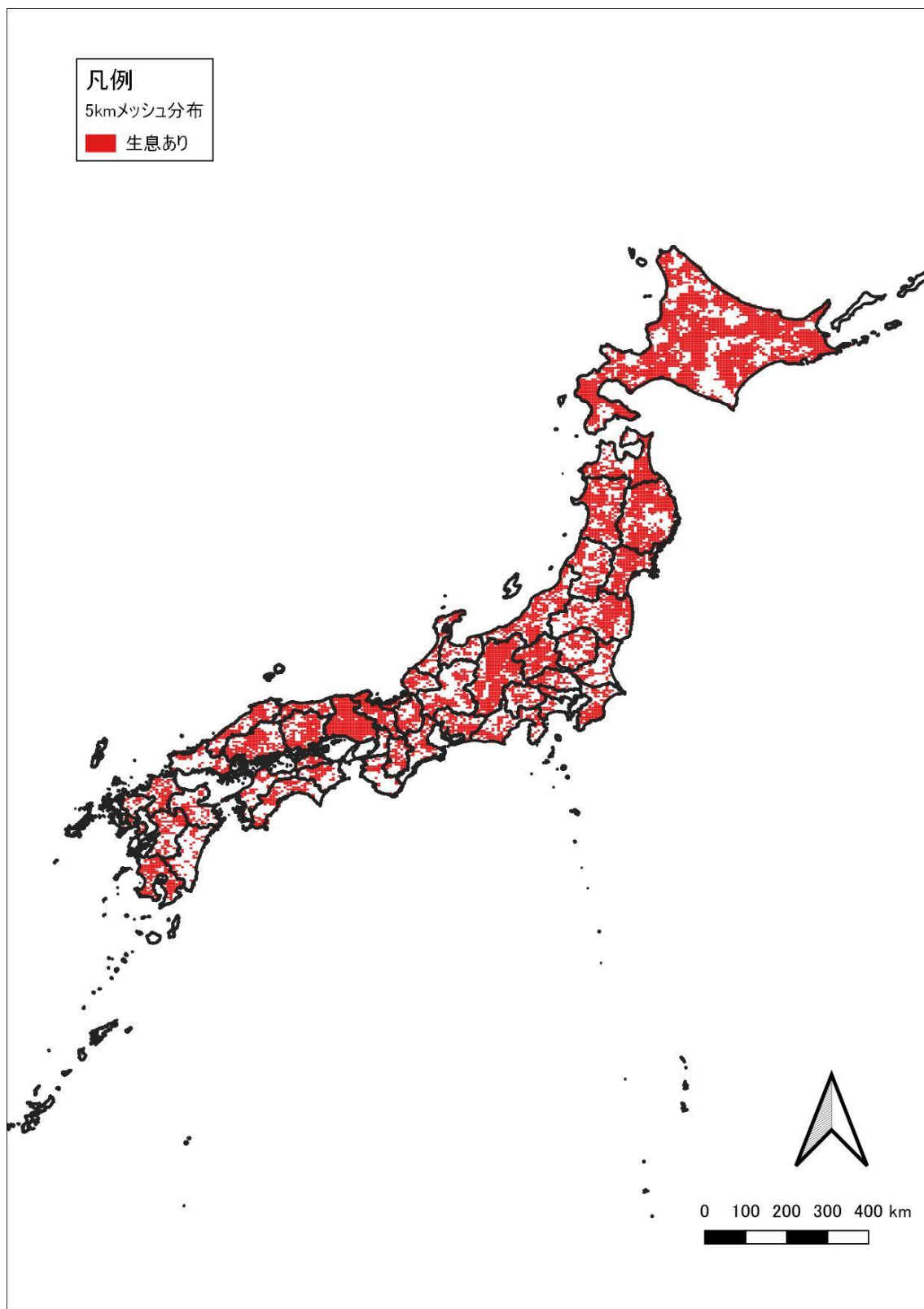


図 3-3-2 キツネの生息情報が得られた 5km メッシュ

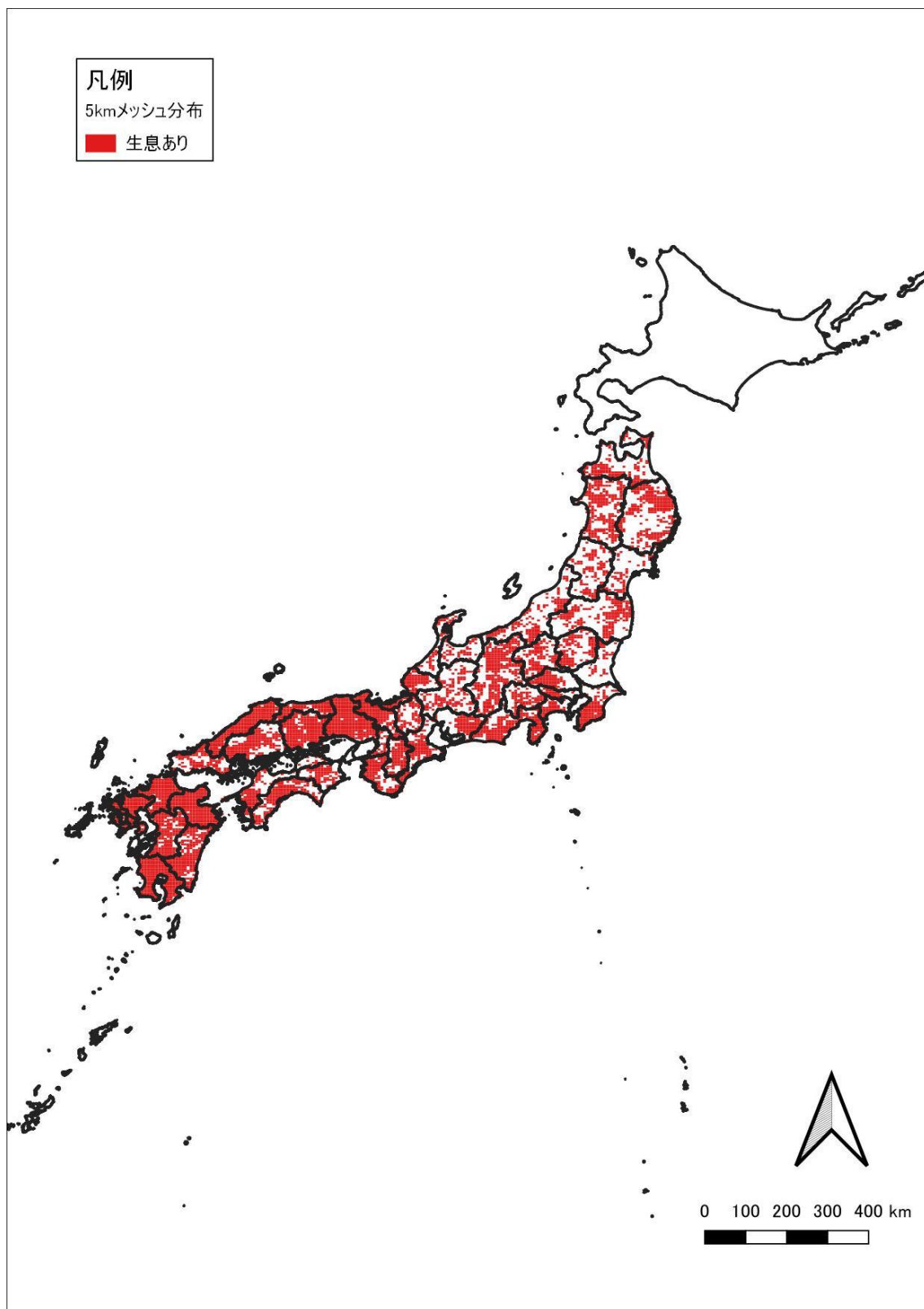


図 3-3-3 アナグマの生息情報が得られた 5km メッシュ

本調査の結果、全国メッシュ数（17,068 メッシュ）に占める割合はタヌキが 0.67、キツネが 0.50、アナグマが 0.39 であった。タヌキ、キツネ、アナグマとも全国の広い範囲から生息情報が得られた。一方で、今回 WIS データが一部地域で得られなかったことや奥山など人の立ち入りの少ないこと等から、空白メッシュとなった地域でも実際は生息しているが情報不足となっている可能性がある。

以下に、本調査で得られたタヌキ等の生息情報の概況を、3 種共通および種別にまとめた。

・3 種共通

国内由来の外来種として、東京都伊豆・小笠原諸島、鹿児島県トカラ列島・奄美諸島、沖縄県などでの分布拡大（国内移入）は確認されなかった。生息情報の得られにくい地域は、主に奥羽山系の脊梁部、岩手県の早池峰山周辺、福島県檜枝岐村周辺、北アルプス（富山県、長野県、岐阜県県境部）周辺、白山（岐阜県、石川県県境部）周辺であった。WIS データが得られなかった北海道、岐阜県は空白メッシュが目立った。

・タヌキ

タヌキは沖縄県を除く広い範囲で生息情報が得られた。北海道は中央部の大雪山系や日高山脈、宗谷地方など生息情報が得られなかった地域が存在した。奥羽山系の脊梁部や北アルプスで得られた生息情報は少なかった。東京都、千葉県、神奈川県や愛知県、大阪府といった都市圏での生息情報が多く得られた。

北海道と岐阜県の情報不足は WIS データが得られなかったことが一因と考えられた。一方、北海道の宗谷地方や日高地方などでは、キツネの生息情報が得られているメッシュでタヌキの生息情報が得られなかったメッシュがあり、それらのメッシュでは実際にタヌキが生息していない可能性もある。

・キツネ

キツネは沖縄県を除く広い範囲で生息情報が得られた。北海道は特に日高山脈周辺に生息情報が得られなかった地域が存在した。東北から中部にかけては、まばらだが広く生息情報が得られた。和歌山県、山口県、四国西部、宮崎県で得られた生息情報は少なかった。

北海道は日本で最も多くキツネを捕獲しており（巻末資料 7）、WIS データが得られないことも情報不足の一因と推察されるが、高標高地でない限り、平地では北海道全域で生息していると考えられ、平地で生息情報が抜けているメッシュは情報不足と考えられる。宮崎県も隣接した鹿児島県との生息情報との差が大きく、情報不足の可能性もある。

なお、本調査の期間において、千葉県および鹿児島県ではキツネの狩猟による捕獲が禁止されていたが、狩猟者を対象とした出合調査によって生息情報が得られたため、第 6 回調査で生息情報が得られなかったメッシュでも生息情報が得られた。

- ・アナグマ

アナグマは北海道、沖縄県を除く広い範囲で全国から生息情報が得られた。九州はほぼ全域で連続的に生息情報が得られた。九州から多くの生息情報が得られた理由として、近年、被害防止目的の捕獲数が増加していることが一因と考えられた。東北地方の山間部と北陸地方、中部地方のうち、岐阜県と愛知県西部、四国で生息情報が得られなかった地域が存在した。東京都、神奈川県、千葉県など首都圏周辺での生息情報が多く得られた。

なお、本調査の期間において、栃木県ではアナグマの狩猟による捕獲が禁止されていたが、狩猟者を対象とした出合調査によって生息情報が得られたため、第 6 回調査で生息情報が得られなかったメッシュでも生息情報が得られた。

(4) 過去の調査との比較

タヌキ等の全国的な生息状況調査は、第6回調査以降実施されていなかったことから、生息状況を比較できる直近の対象データは2004年に公開された分布図となる。ただし、比較するにあたって、各調査における調査の実施手法や収集した情報源に違いがあるため、得られた結果の単純比較には注意が必要である。

第6回調査との調査概要の比較を表3-4-1に示した。第6回調査との大きな違いとして、過去約10年間の情報を収集したことや、情報源として環境省のWISデータを基盤情報とし、様々な情報源から分布情報を収集したことなどが挙げられる。

表 3-4-1 調査概要の比較（第6回調査と今回調査）

	第6回調査 (都道府県委託調査)		今回調査 (環境省直轄調査)	
	調査項目		調査項目	
作業スケジュール	2000 年度	アンケート調査	2018 年度	情報収集の試行、調査計画の検討
	2001 年度	(聞き取り調査) タヌキ等は実施せず	2019 年度	試行調査
	2002 年度	補完調査	2020 年度	全国調査
	2003 年度	とりまとめ	2021 年度	補完調査、とりまとめ
調査対象種／対象地域	タヌキ/沖縄県を除く全国		タヌキ/全国	
	キツネ/沖縄県を除く全国		キツネ/全国	
	アナグマ/本州・四国・九州		アナグマ/全国	
調査対象年度	1996 年度～2002 年度 (過去約 5 年間の情報を収集)		2010 年度～2021 年度 (過去約 10 年間の情報を収集)	

情報源	既存情報	・既存文献等に基づくデータ	既存情報	・WIS データ ・河川水辺の国勢調査データ ・国立公園インベントリ調査データ ・モニタリングサイト1000データ ・保護林モニタリング調査データ ・都道府県実施調査報告書等 ・文献（学会誌、博物館刊行物、大学演習林データベース、Web 情報等）
	アンケート	【アンケート調査対象者】 ・都道府県林務事務所担当課 ・市町村林務（鳥獣）担当課 ・猟友会等支部、猟友会等会員 ・森林組合、森林組合員 ・鳥獣保護員 ・自然保護指導員 ・国有林（森林管理センター、担当区、愛林組合等） ・JA 支部、JA 会員 ・その他（情報を把握している団体、個人等）高等学校生物教諭や自然保護 NGO 等	市区町村アンケート	【アンケート調査対象者】 ・市区町村鳥獣行政担当課※（※窓口とし、以下の対象者等からの情報収集を依頼） ・市区町村の他部局 ・猟友会員等、狩猟者 ・鳥獣保護管理員 ・地域住民 ・JA ・森林組合 ・地域の専門家 ・地域研究団体、自然保護団体等
			地方環境事務所アンケート	【アンケート調査対象者】 ・環境省地方環境事務所※（※窓口とし、地方環境事務所や現地事務所等からの情報収集を依頼）
			ヒアリング	・有識者、研究者等のデータ ・地域研究団体のデータ
			その他	・いきものログで得られたデータ

以下に、タヌキ等の生息状況を評価するための経時的な比較対象として、第2回調査およ

び第6回調査で得られた結果を示した。調査手法や努力量が各調査回で異なるため、地域レベルで増えた・減ったという分布図の単純比較は注意が必要であるが、WIS データを始めとした情報は相当量が収集できており、全国を俯瞰して比較することは可能である。一方、近年の過疎化に伴う中山間地域や奥山等地域での人の活動機会の減少や活動範囲の縮小によって、実際にはタヌキ等が生息しているが、情報の得られていない情報不足のメッシュが過去の調査よりも増加した可能性が高いことを念頭に置く必要がある。

1) タヌキ

表 3-4-2 に地方ブロック別在メッシュ数の推移を、表 3-4-3 に都道府県別在メッシュ数の推移を示した。また、図 3-4-1 に各調査回における分布図、図 3-4-2 に第6回調査との比較図、図 3-4-3～図 3-4-9 に地方ブロック別分布図を示した。

全国の在メッシュ数は、今回調査は第6回調査と概ね同等だった。地方ブロック別では、北海道の在メッシュ数が調査回ごとに増加していた。都道府県別では、今回調査では埼玉県や千葉県での在メッシュ数の割合が高く、在メッシュ数も調査回ごとに増加していた。

第6回調査との比較図をみると、東京都、千葉県、神奈川県や愛知県、大阪府といった大都市圏での分布拡大の傾向がみられた。

表 3-4-2 地方ブロック別在メッシュ数の推移（タヌキ）

地方※1	5km メッシュ 数	第2回調査 (1970年度～1979年度)		第6回調査 (1996年度～2002年度)		今回調査 (2010年度～2021年度)	
		在メッシュ数	割合	在メッシュ数	割合	在メッシュ数	割合
北海道	3,693	923	0.25	1,151	0.31	1,626	0.44
東北	2,957	2,176	0.74	2,150	0.73	2,046	0.69
関東	1,490	869	0.58	1,171	0.79	1,198	0.80
中部	3,202	2,255	0.70	2,601	0.81	2,324	0.73
近畿	1,224	968	0.79	1,094	0.89	1,023	0.84
中国	1,482	1,222	0.82	1,257	0.85	1,155	0.78
四国	939	625	0.67	794	0.85	714	0.76
九州	2,473	1,425	0.58	1,549	0.63	1,491	0.60
全国※2	17,068	10,193	0.60	11,474	0.67	11,357	0.67

※1：表 3-2-2 を参照

※2：都府県境のメッシュの重複があるため、地方ブロック別の在メッシュ数の合計値と全国メッシュ数は合致しない。

表 3-4-3 都道府県別在メッシュ数の推移（タヌキ）

都道府県	5km メッシュ数	第2回調査 (1970年度～1979年度)		第6回調査 (1996年度～2002年度)		今回調査 (2010年度～2021年度)	
		在メッシュ数	割合	在メッシュ数	割合	在メッシュ数	割合
1 北海道	3,693	923	0.25	1,151	0.31	1,626	0.44
2 青森県	502	280	0.56	294	0.59	316	0.63
3 岩手県	704	581	0.83	534	0.76	493	0.70
4 宮城県	380	308	0.81	336	0.88	288	0.76
5 秋田県	553	366	0.66	400	0.72	380	0.69
6 山形県	432	351	0.81	261	0.60	258	0.60
7 福島県	626	451	0.72	477	0.76	429	0.69
8 茨城県	299	198	0.66	270	0.90	268	0.90
9 栃木県	295	194	0.66	243	0.82	237	0.80
10 群馬県	308	206	0.67	269	0.87	238	0.77
11 埼玉県	186	96	0.52	168	0.90	176	0.95
12 千葉県	263	154	0.59	203	0.77	244	0.93
13 東京都	206	51	0.25	81	0.39	93	0.45
14 神奈川県	135	73	0.54	120	0.89	120	0.89
15 新潟県	628	364	0.58	513	0.82	458	0.73
16 富山県	213	127	0.60	154	0.72	122	0.57
17 石川県	232	168	0.72	131	0.56	165	0.71
18 福井県	228	180	0.79	193	0.85	149	0.65
19 山梨県	218	160	0.73	176	0.81	134	0.61
20 長野県	616	488	0.79	505	0.82	449	0.73
21 岐阜県	484	386	0.80	388	0.80	269	0.56
22 静岡県	379	260	0.69	338	0.89	314	0.83
23 愛知県	263	115	0.44	193	0.73	224	0.85
24 三重県	301	238	0.79	253	0.84	229	0.76
25 滋賀県	190	113	0.59	175	0.92	126	0.66
26 京都府	244	216	0.89	231	0.95	218	0.89
27 大阪府	110	73	0.66	80	0.73	93	0.85
28 兵庫県	409	316	0.77	362	0.89	355	0.87
29 奈良県	186	181	0.97	183	0.98	163	0.88
30 和歌山県	243	216	0.89	218	0.90	211	0.87
31 鳥取県	185	167	0.90	175	0.95	137	0.74
32 島根県	356	296	0.83	297	0.83	288	0.81
33 岡山県	338	302	0.89	317	0.94	292	0.86
34 広島県	415	338	0.81	341	0.82	317	0.76
35 山口県	359	276	0.77	285	0.79	258	0.72
36 徳島県	205	145	0.71	188	0.92	155	0.76
37 香川県	139	66	0.47	98	0.71	107	0.77
38 愛媛県	349	223	0.64	291	0.83	240	0.69
39 高知県	355	275	0.77	325	0.92	299	0.84
40 福岡県	264	182	0.69	230	0.87	219	0.83
41 佐賀県	134	111	0.83	89	0.66	123	0.92
42 長崎県	376	149	0.40	168	0.45	163	0.43
43 熊本県	371	296	0.80	323	0.87	302	0.81
44 大分県	316	259	0.82	290	0.92	273	0.86
45 宮崎県	354	316	0.89	344	0.97	277	0.78
46 鹿児島県	594	291	0.49	298	0.50	313	0.53
47 沖縄県	267	0	0.00	0	0.00	0	0.00
全国※	17,068	10,193	0.60	11,474	0.67	11,357	0.67

※都府県境のメッシュの重複があるため、都府県のメッシュ数の合計値と全国メッシュ数は合致しない。

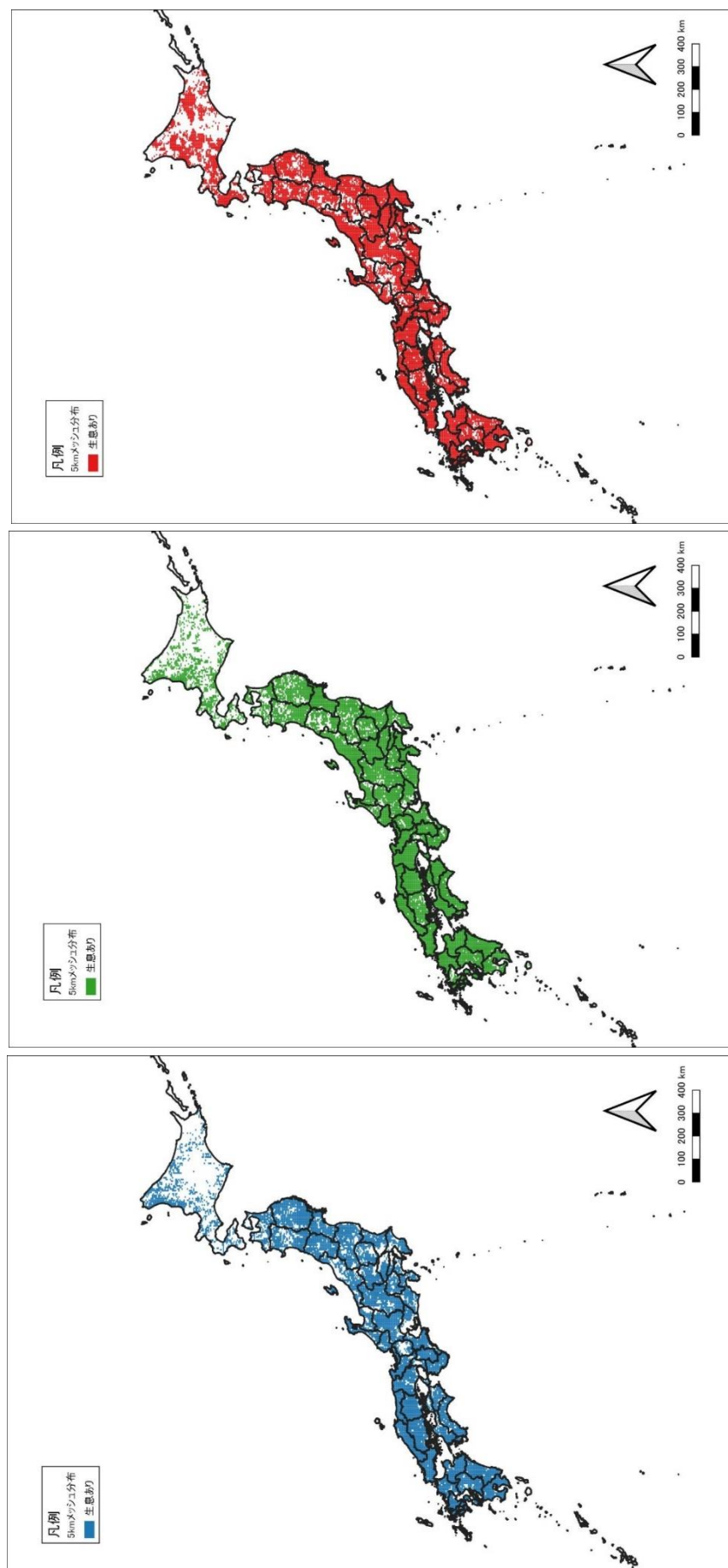


図 3-4-1 タヌキの全国分布図 (5km メッシュ)

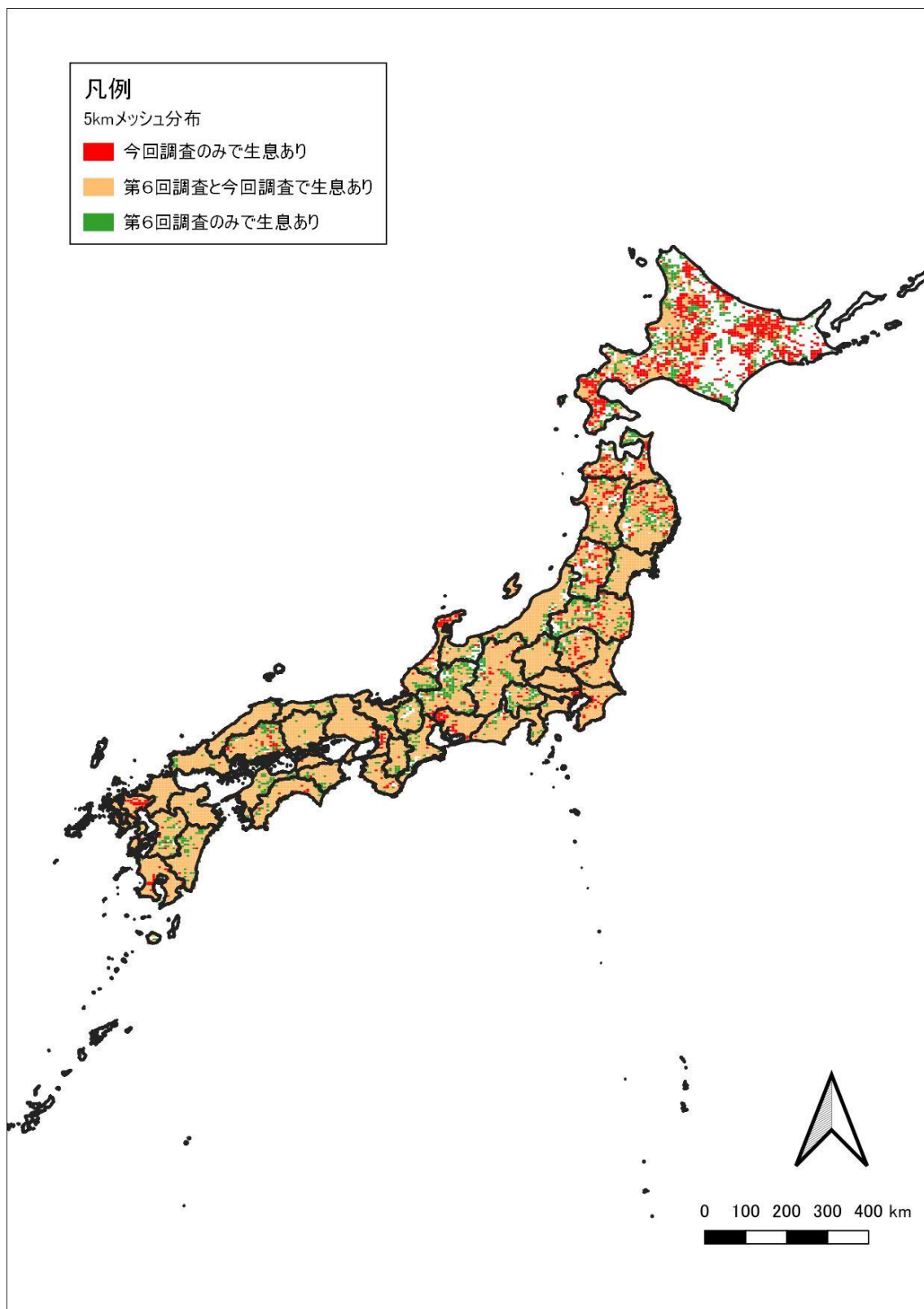


図 3-4-2 タヌキの第 6 回調査との比較図 (5km メッシュ)

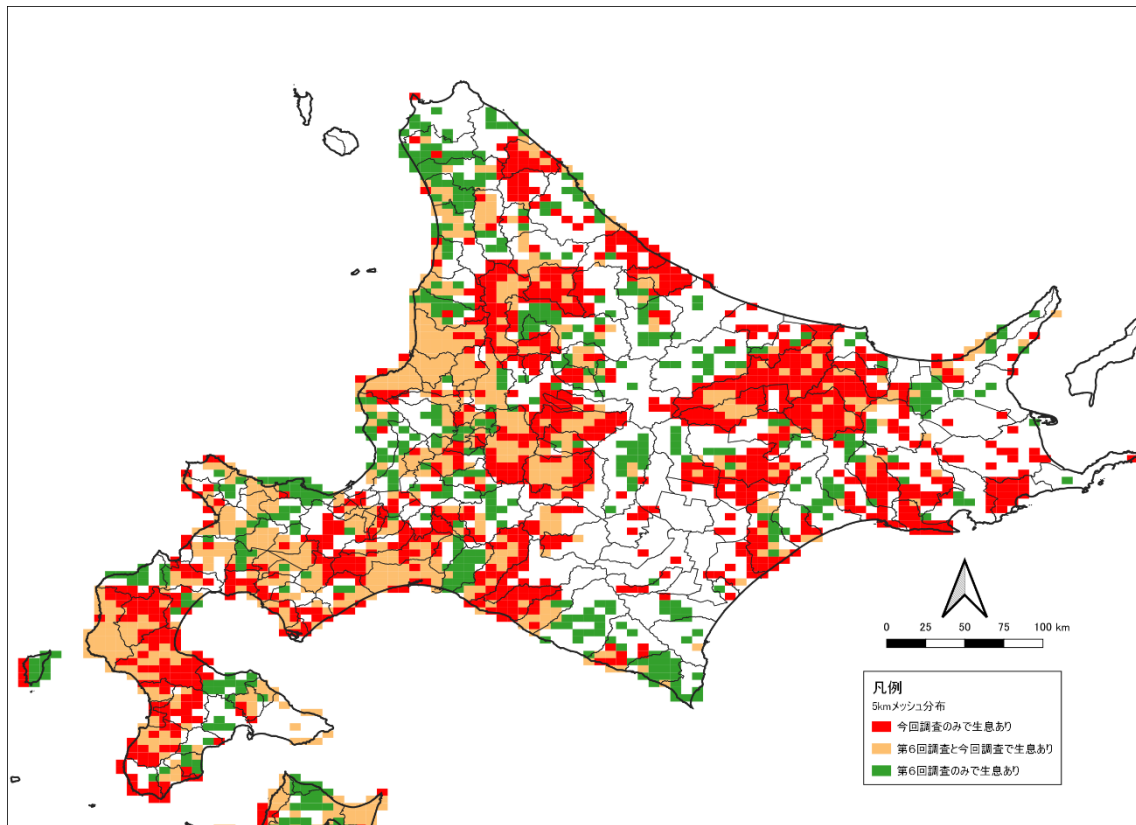


図 3-4-3 タヌキの生息情報に基づく地方ブロック別分布図 (5km メッシュ)
(北海道)

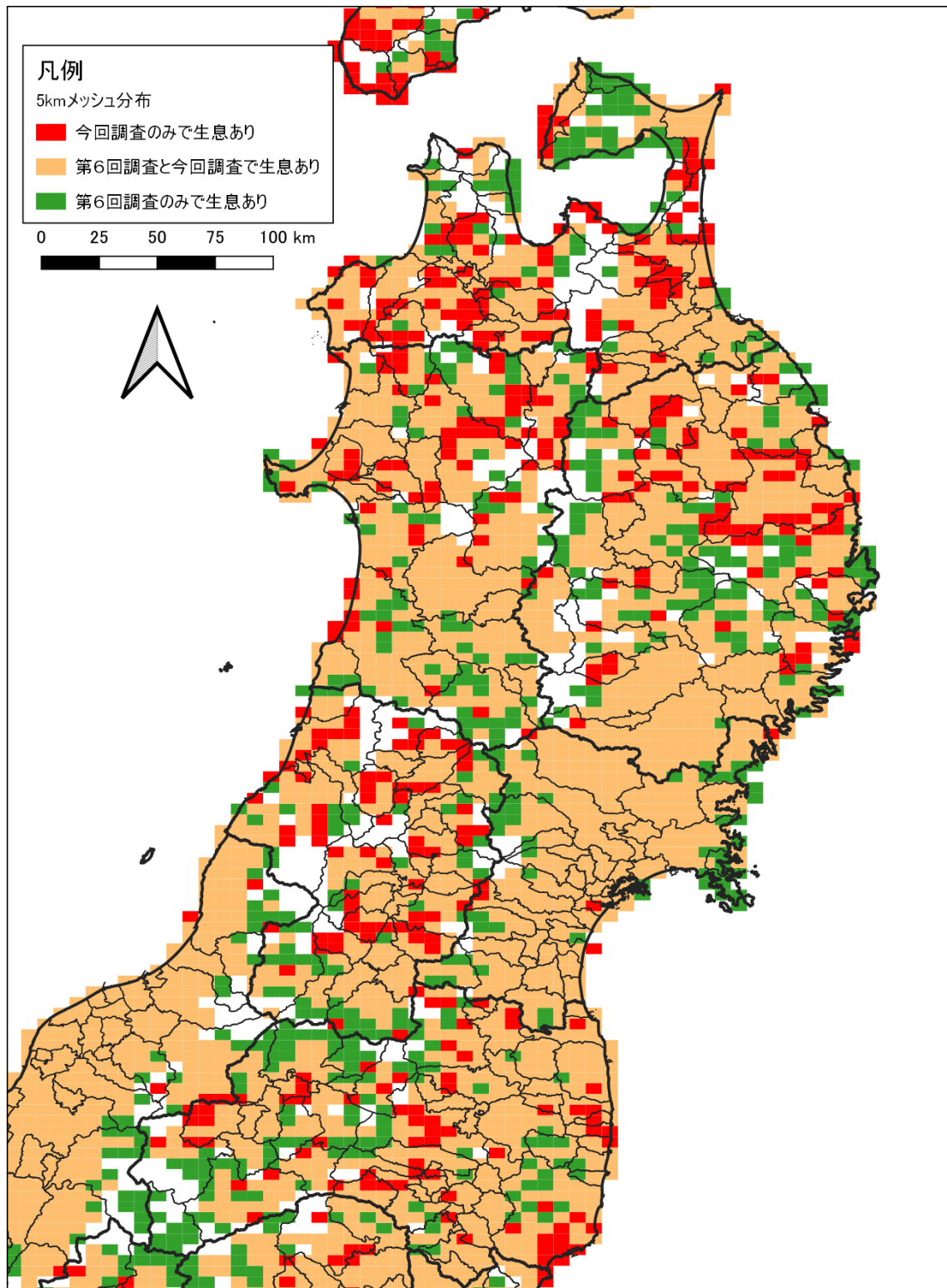


図 3-4-4 タヌキの生息情報に基づく地方ブロック別分布図 (5km メッシュ)
(東北)

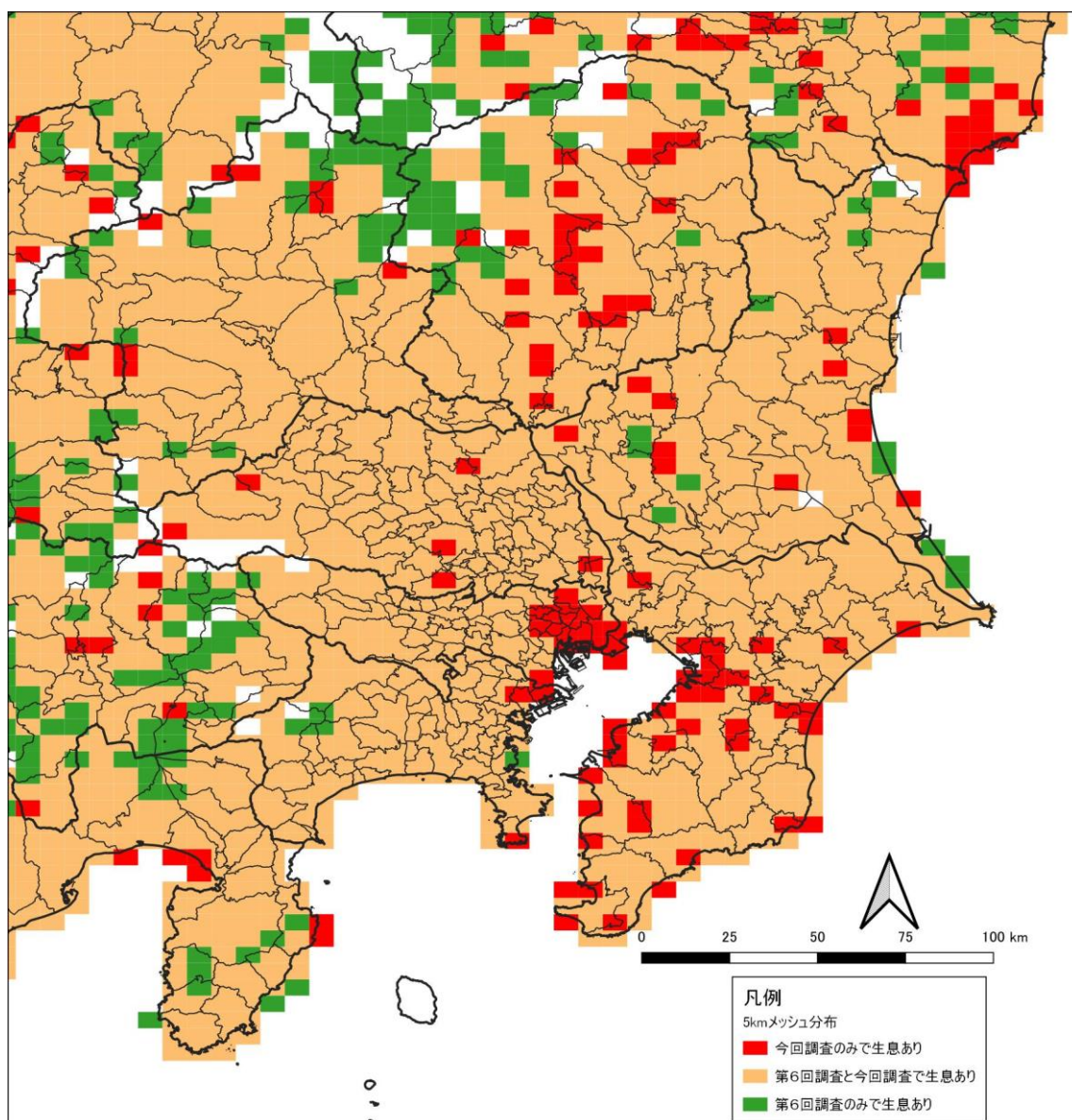


図 3-4-5 タヌキの生息情報に基づく地方ブロック別分布図 (5km メッシュ)
(関東)

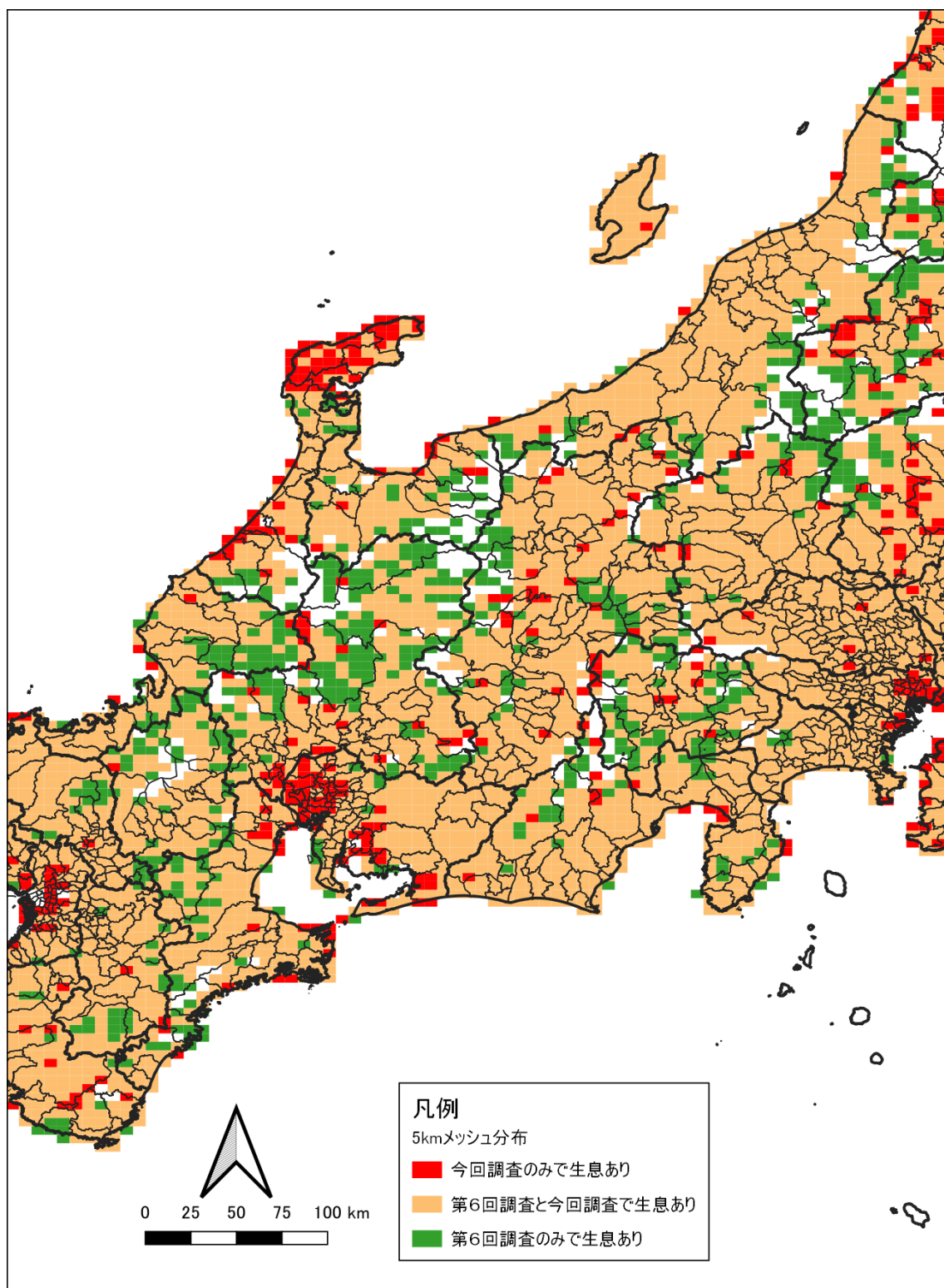


図 3-4-6 タヌキの生息情報に基づく地方ブロック別分布図 (5km メッシュ)
(中部)

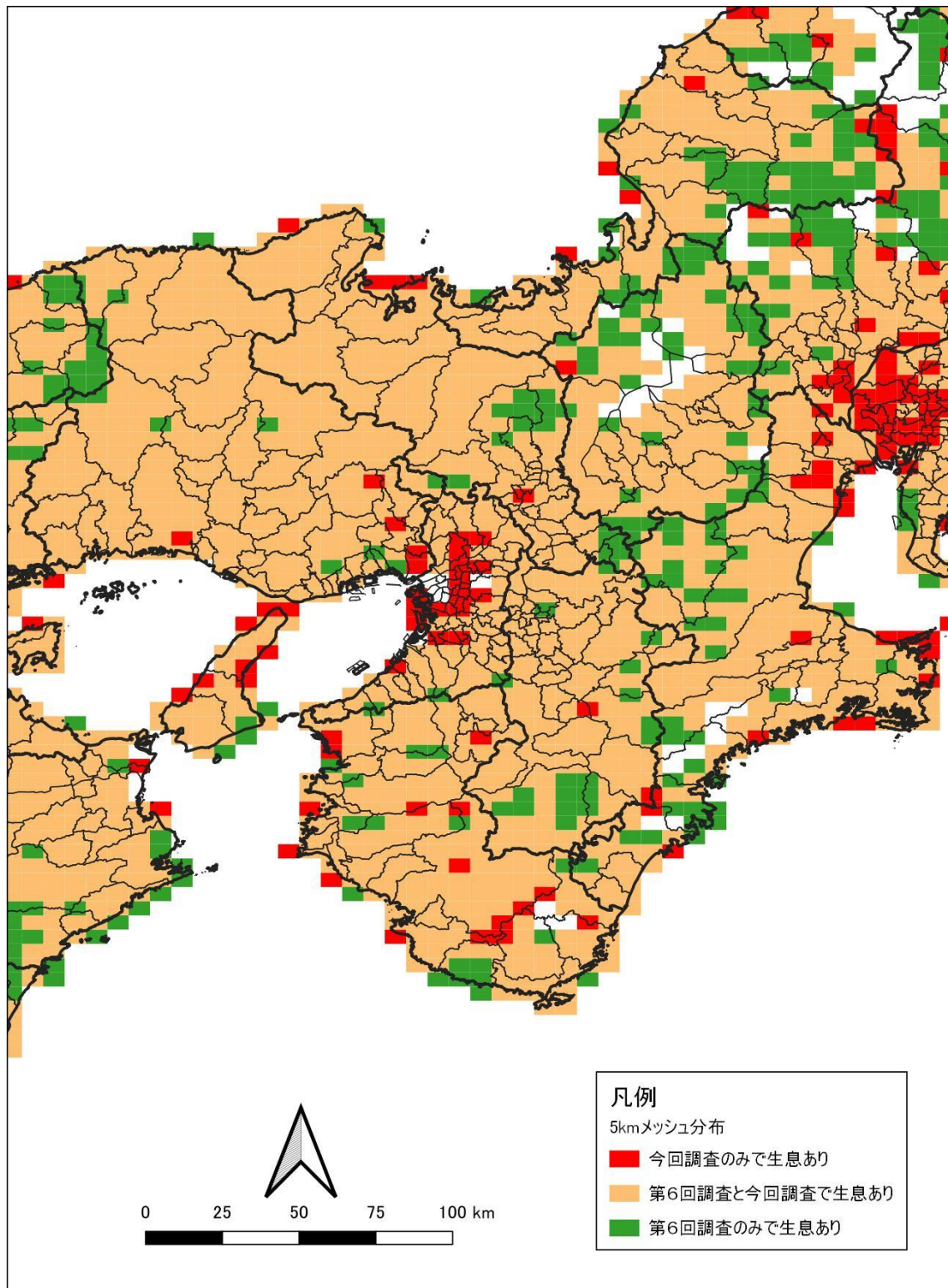


図 3-4-7 タヌキの生息情報に基づく地方ブロック別分布図 (5km メッシュ)
(近畿)

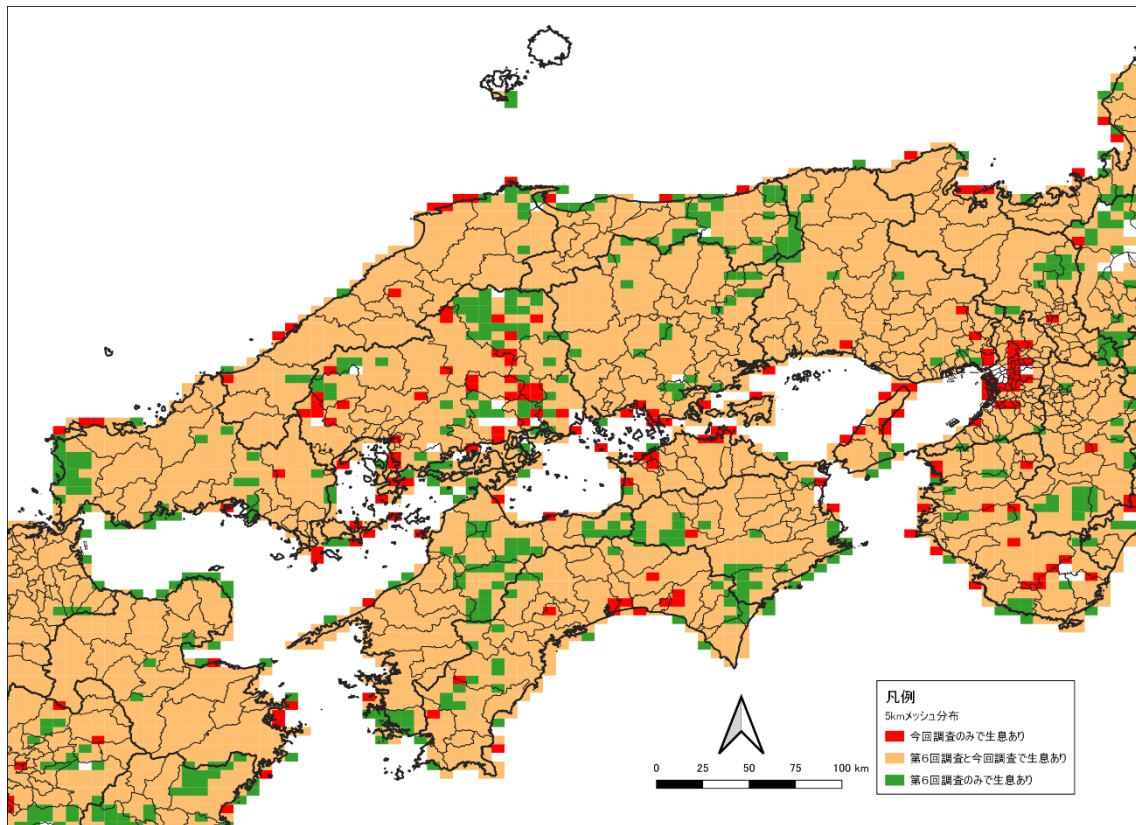


図 3-4-8 タヌキの生息情報に基づく地方ブロック別分布図 (5km メッシュ)
(中国四国)

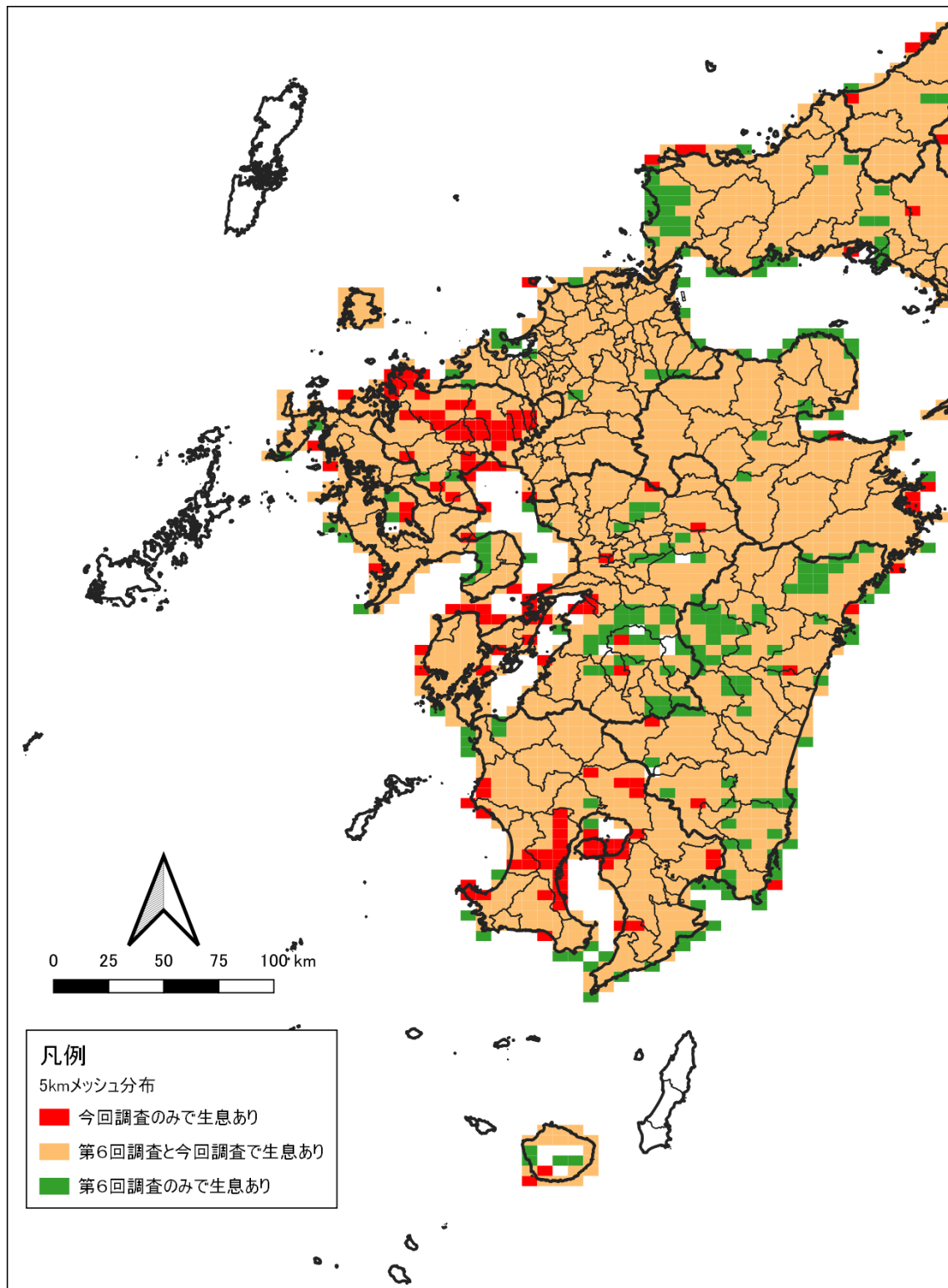


図 3-4-9 タヌキの生息情報に基づく地方ブロック別分布図 (5km メッシュ)
(九州)

2) キツネ

表 3-4-4 に地方ブロック別在メッシュ数の推移を、表 3-4-5 に都道府県別在メッシュ数の推移を示した。また、図 3-4-10 に各調査回における分布図、図 3-4-11 に第 6 回調査との比較図、図 3-4-12～図 3-4-18 に地方ブロック別分布図を示した。

全国の在メッシュ数は、今回調査は第 6 回調査よりも 3,000 メッシュ程度減少し、全国的に生息情報は減少した。地方ブロック別では、特に中部の在メッシュ数が第 6 回調査よりも 800 メッシュ程度減少した。在メッシュ数が第 6 回調査よりも増加した地方はなかった。都道府県別でも、今回調査では多くの都道府県で第 6 回調査と比較し、在メッシュ数が減少した。

第 6 回調査との比較図をみると、千葉県房総半島、愛知県西部、鹿児島県で得られた生息情報が増えた。千葉県、鹿児島県ではキツネの狩猟捕獲が禁止されており、WIS データが得られないが、生息情報として、狩猟者等を対象に実施された出合調査の結果が反映されたためと考えられた。一方、山口県、四国西部、宮崎県で分布の空白が目立つが、原因は不明であり、情報不足の可能性がある。また、和歌山県でも分布の空白が目立っており、その原因はわからないが、県のレッドリストへの掲載が検討されていることから、和歌山県についてはキツネの分布が減少している可能性が考えられた。

表 3-4-4 地方ブロック別在メッシュ数の推移（キツネ）

地方※1	5km メッシュ 数	第 2 回調査 (1970 年度～1979 年度)		第 6 回調査 (1996 年度～2002 年度)		今回調査 (2010 年度～2021 年度)	
		在メッシュ数	割合	在メッシュ数	割合	在メッシュ数	割合
北海道	3,693	2,477	0.67	2,999	0.81	2,466	0.67
東北	2,957	2,063	0.70	2,104	0.71	1,679	0.57
関東	1,490	692	0.46	899	0.60	655	0.44
中部	3,202	2,053	0.64	2,413	0.75	1,559	0.49
近畿	1,224	883	0.72	925	0.76	701	0.57
中国	1,482	1,179	0.80	1,122	0.76	707	0.48
四国	939	104	0.11	514	0.55	320	0.34
九州	2,473	912	0.37	980	0.40	624	0.25
全国※2	17,068	10,099	0.59	11,668	0.68	8,559	0.50

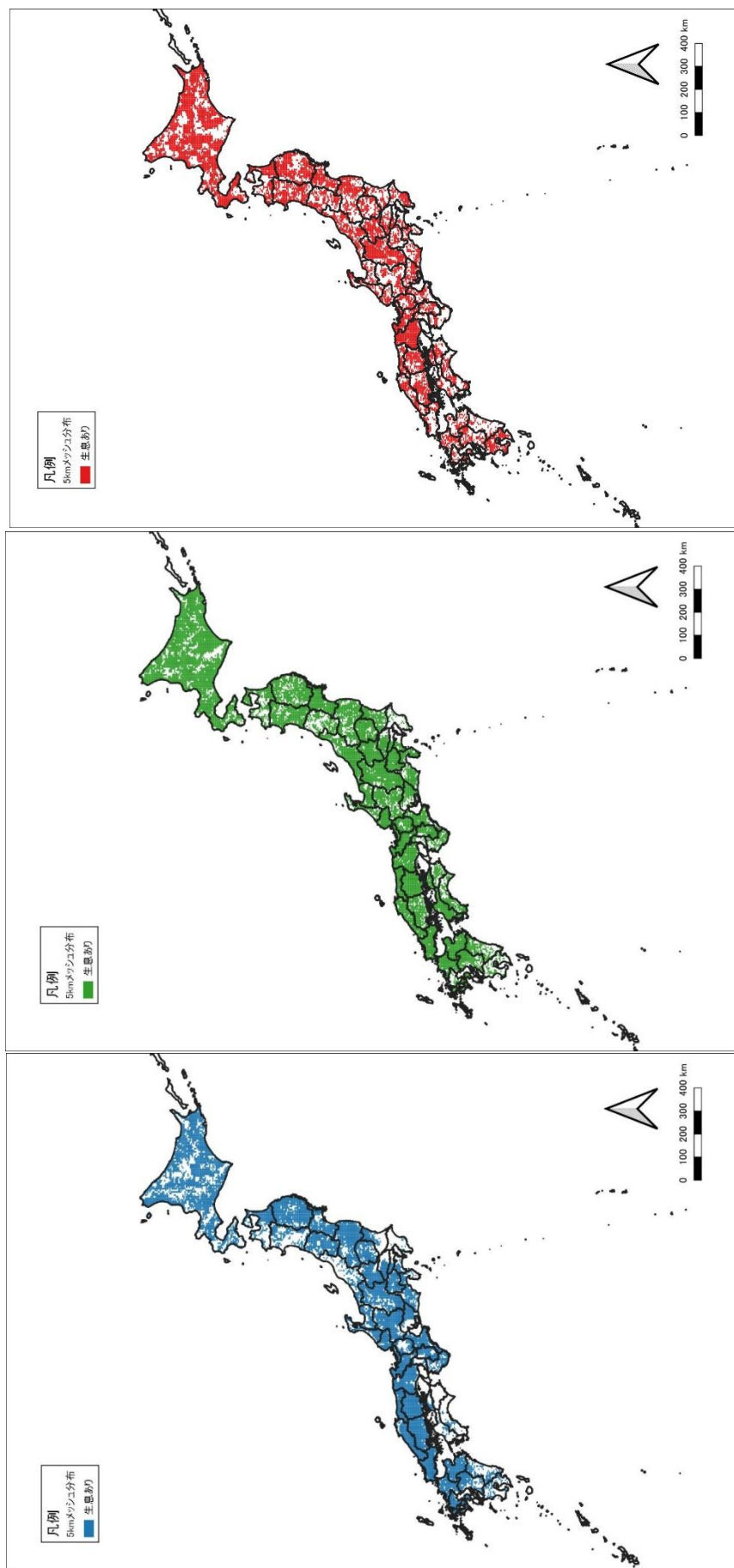
※1：表 3-2-2 を参照

※2：都府県境のメッシュの重複があるため、地方ブロック別の在メッシュ数の合計値と全国メッシュ数は合致しない。

表 3-4-5 都道府県別在メッシュ数の推移（キツネ）

都道府県	5km メッシュ数	第2回調査 (1970年度～1979年度)		第6回調査 (1996年度～2002年度)		今回調査 (2010年度～2021年度)	
		在メッシュ数	割合	在メッシュ数	割合	在メッシュ数	割合
1 北海道	3,693	2,477	0.67	2,999	0.81	2,466	0.67
2 青森県	502	303	0.60	302	0.60	285	0.57
3 岩手県	704	604	0.86	538	0.76	450	0.64
4 宮城県	380	295	0.78	332	0.87	233	0.61
5 秋田県	553	226	0.41	422	0.76	335	0.61
6 山形県	432	306	0.71	209	0.48	183	0.42
7 福島県	626	487	0.78	453	0.72	304	0.49
8 茨城県	299	116	0.39	217	0.73	114	0.38
9 栃木県	295	218	0.74	259	0.88	148	0.50
10 群馬県	308	226	0.73	268	0.87	199	0.65
11 埼玉県	186	94	0.51	126	0.68	94	0.51
12 千葉県	263	17	0.06	52	0.20	128	0.49
13 東京都	206	50	0.24	47	0.23	27	0.13
14 神奈川県	135	59	0.44	63	0.47	39	0.29
15 新潟県	628	189	0.30	433	0.69	279	0.44
16 富山県	213	137	0.64	158	0.74	74	0.35
17 石川県	232	137	0.59	134	0.58	97	0.42
18 福井県	228	179	0.79	200	0.88	114	0.50
19 山梨県	218	176	0.81	199	0.91	99	0.45
20 長野県	616	477	0.77	537	0.87	418	0.68
21 岐阜県	484	399	0.82	356	0.74	189	0.39
22 静岡県	379	232	0.61	283	0.75	162	0.43
23 愛知県	263	137	0.52	167	0.63	155	0.59
24 三重県	301	240	0.80	216	0.72	117	0.39
25 滋賀県	190	126	0.66	176	0.93	101	0.53
26 京都府	244	221	0.91	225	0.92	191	0.78
27 大阪府	110	60	0.55	52	0.47	41	0.37
28 兵庫県	409	298	0.73	312	0.76	304	0.74
29 奈良県	186	158	0.85	160	0.86	100	0.54
30 和歌山県	243	166	0.68	138	0.57	63	0.26
31 鳥取県	185	156	0.84	170	0.92	100	0.54
32 島根県	356	275	0.77	278	0.78	174	0.49
33 岡山県	338	312	0.92	308	0.91	198	0.59
34 広島県	415	327	0.79	274	0.66	211	0.51
35 山口県	359	262	0.73	247	0.69	107	0.30
36 徳島県	205	7	0.03	102	0.50	72	0.35
37 香川県	139	35	0.25	67	0.48	53	0.38
38 愛媛県	349	42	0.12	231	0.66	94	0.27
39 高知県	355	42	0.12	196	0.55	140	0.39
40 福岡県	264	186	0.70	199	0.75	112	0.42
41 佐賀県	134	103	0.77	64	0.48	44	0.33
42 長崎県	376	98	0.26	89	0.24	45	0.12
43 熊本県	371	193	0.52	221	0.60	142	0.38
44 大分県	316	240	0.76	271	0.86	108	0.34
45 宮崎県	354	142	0.40	210	0.59	86	0.24
46 鹿児島県	594	91	0.15	80	0.13	176	0.30
47 沖縄県	267	0	0.00	0	0.00	0	0.00
全国※	17,068	10,099	0.59	11,668	0.68	8,559	0.50

※都府県境のメッシュの重複があるため、都府県のメッシュ数の合計値と全国メッシュ数は合致しない。



第2回調査 (1979)

第6回調査 (2004)

今回調査 (2022)

図3-4-10 キツネの全国分布図 (5km メッシュ)

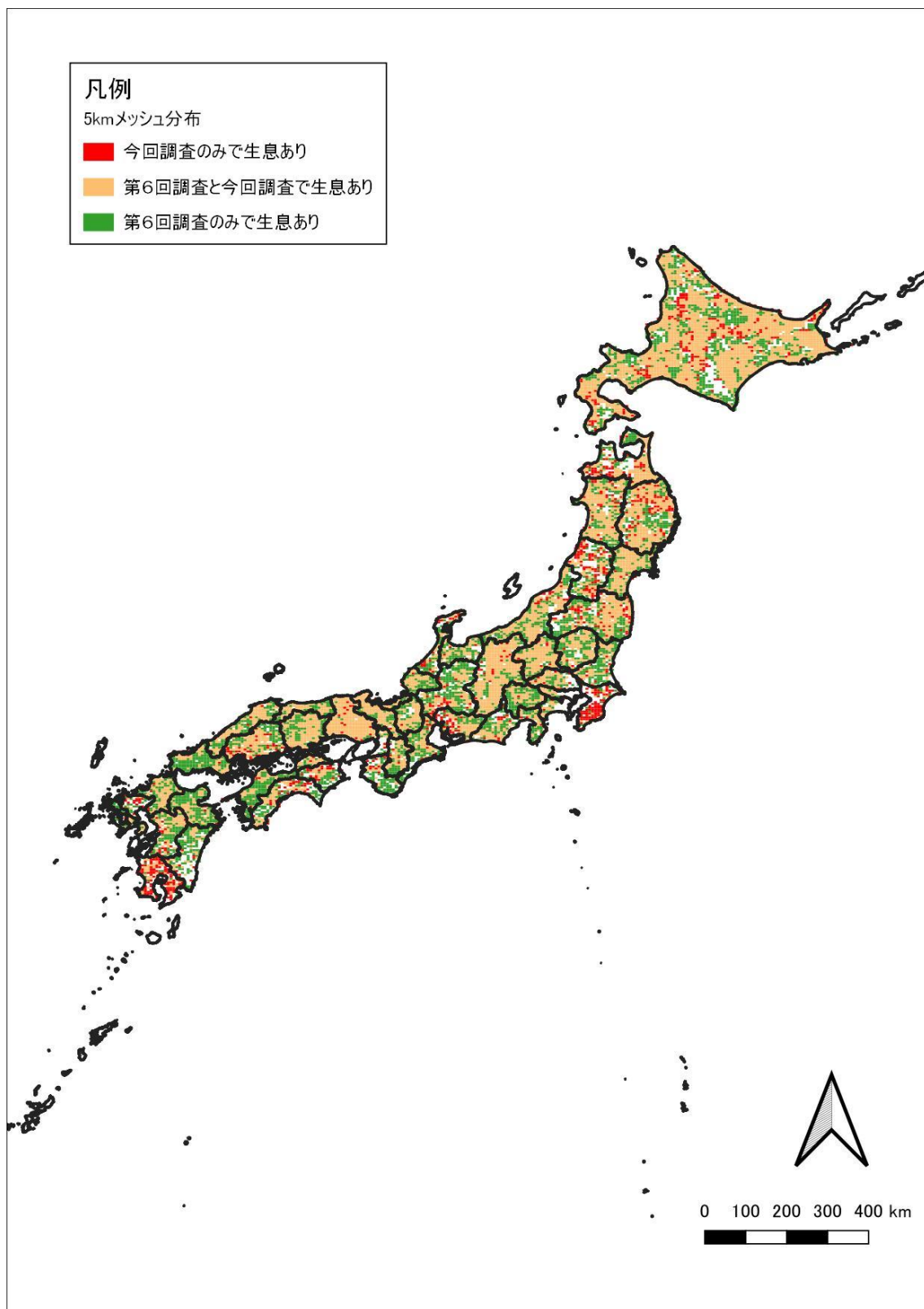


図 3-4-11 キツネの第 6 回調査との比較図 (5km メッシュ)

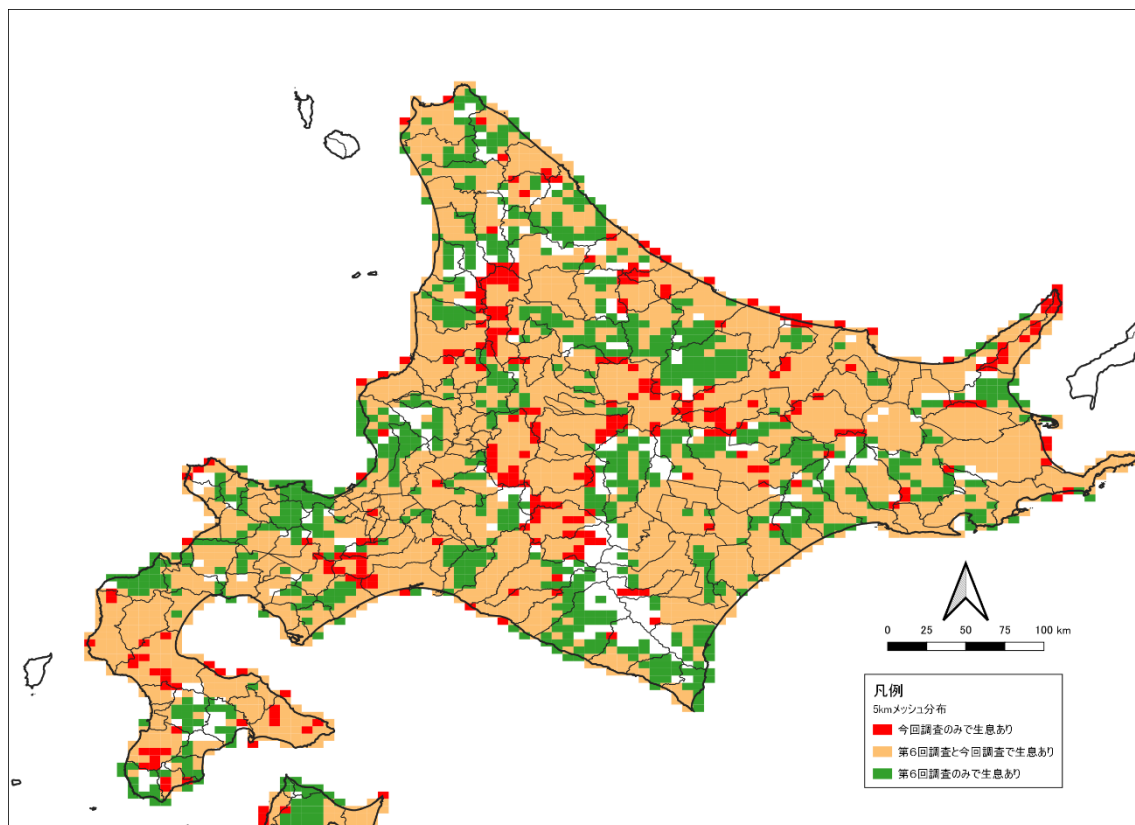


図 3-4-12 キツネの生息情報に基づく地方ブロック別分布図（5km メッシュ）
（北海道）

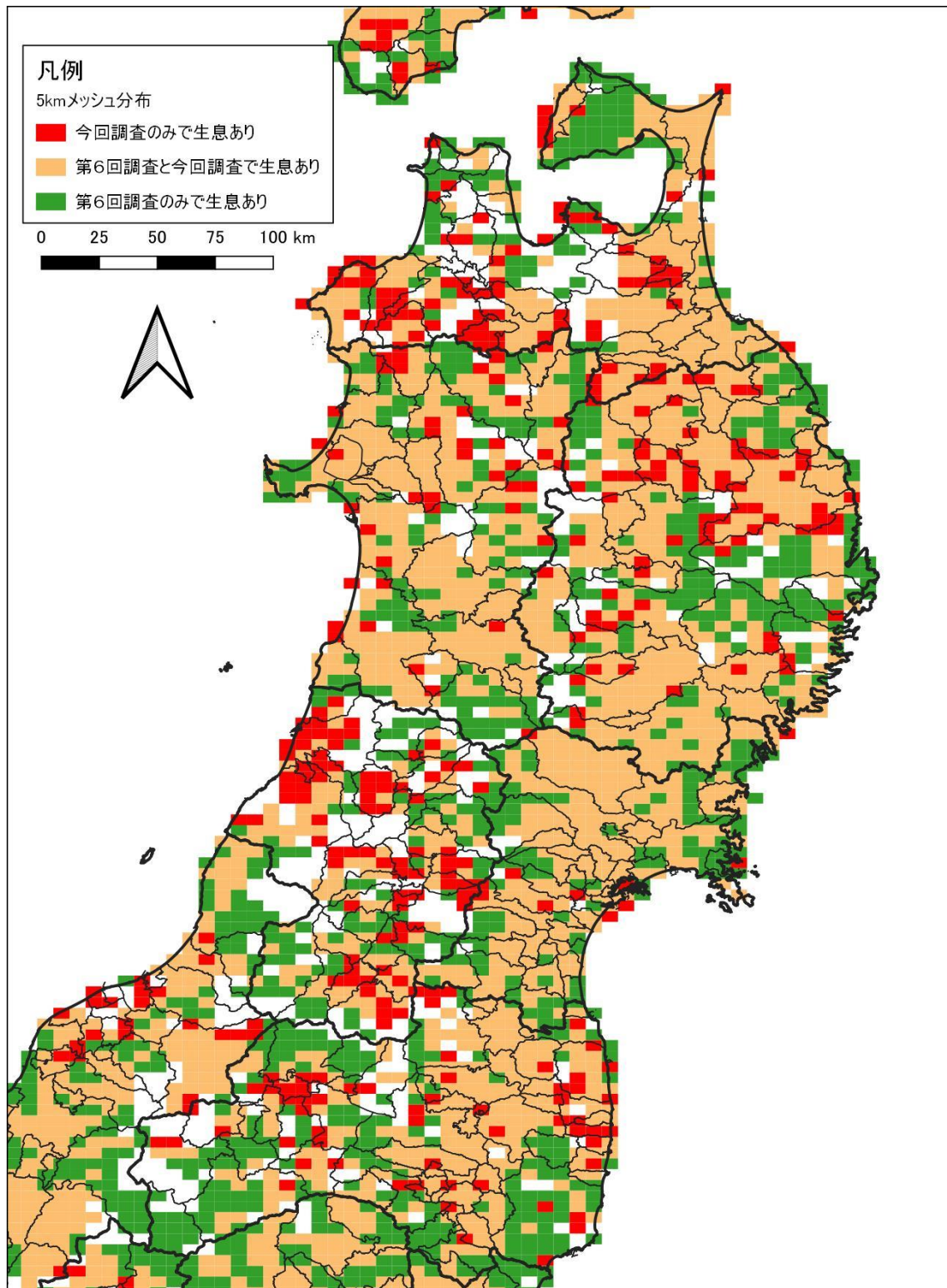


図 3-4-13 キツネの生息情報に基づく地方ブロック別分布図（5km メッシュ）
（東北）

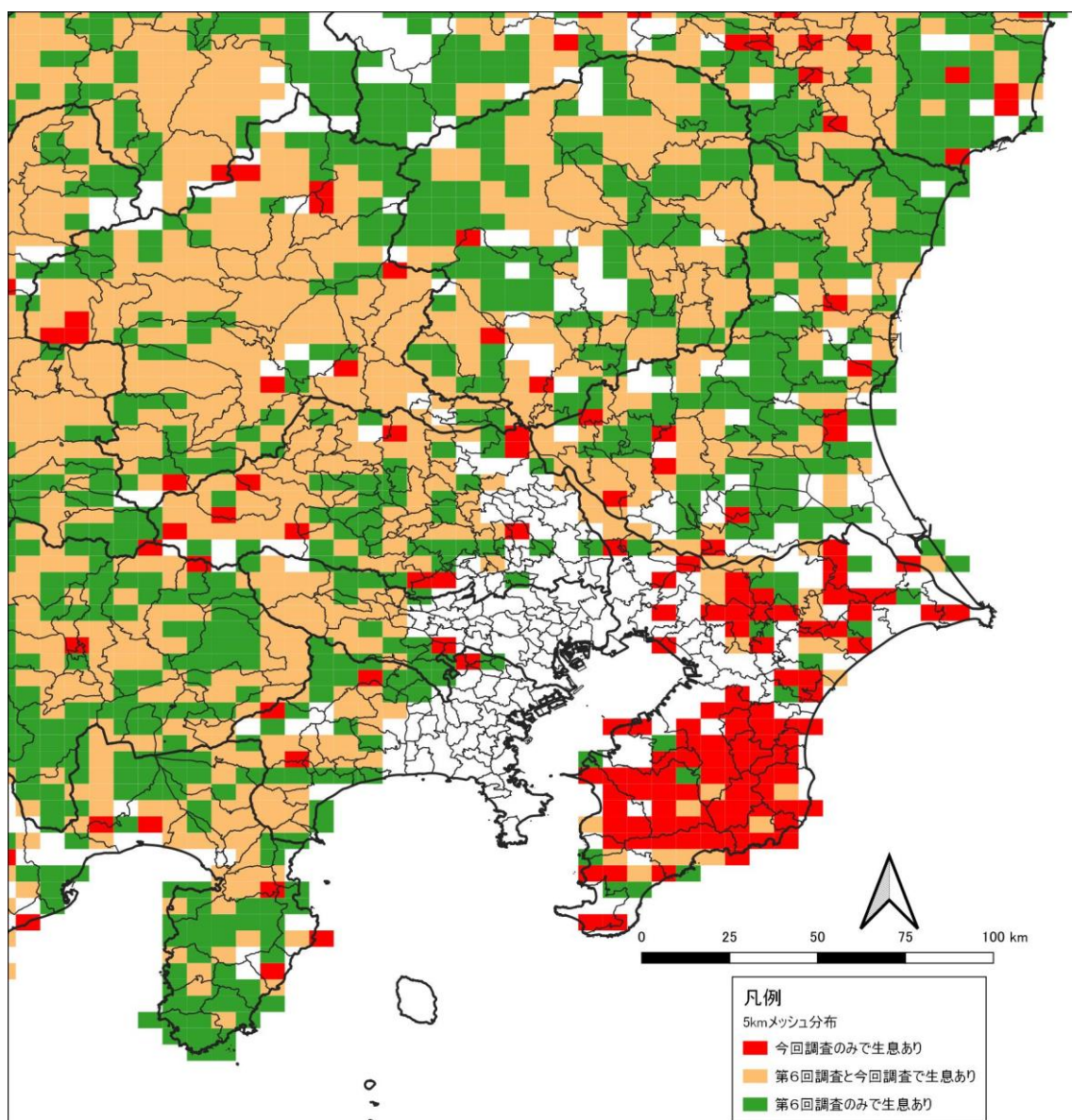


図 3-4-14 キツネの生息情報に基づく地方ブロック別分布図（5km メッシュ）
（関東）

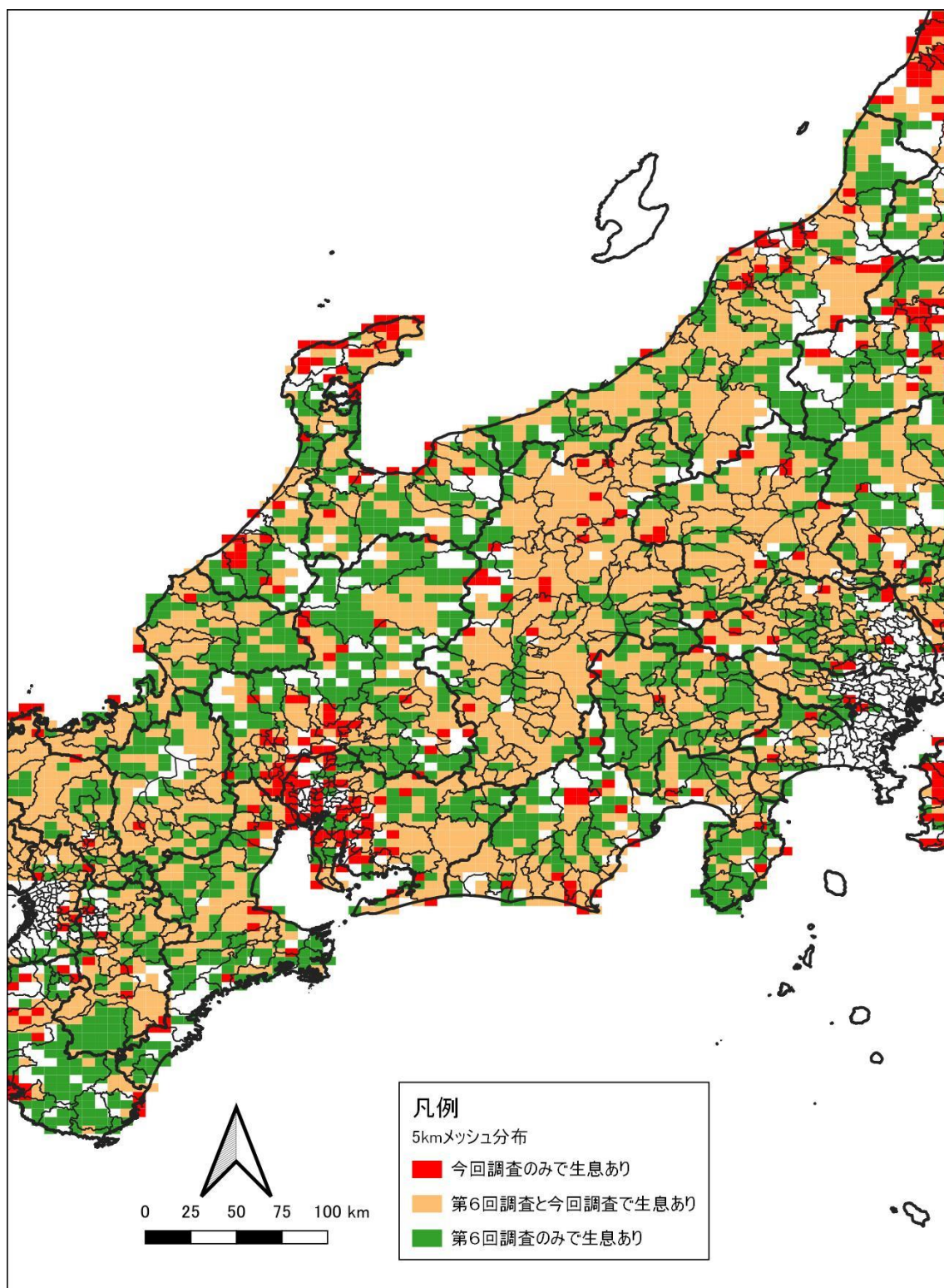


図 3-4-15 キツネの生息情報に基づく地方ブロック別分布図（5km メッシュ）
（中部）

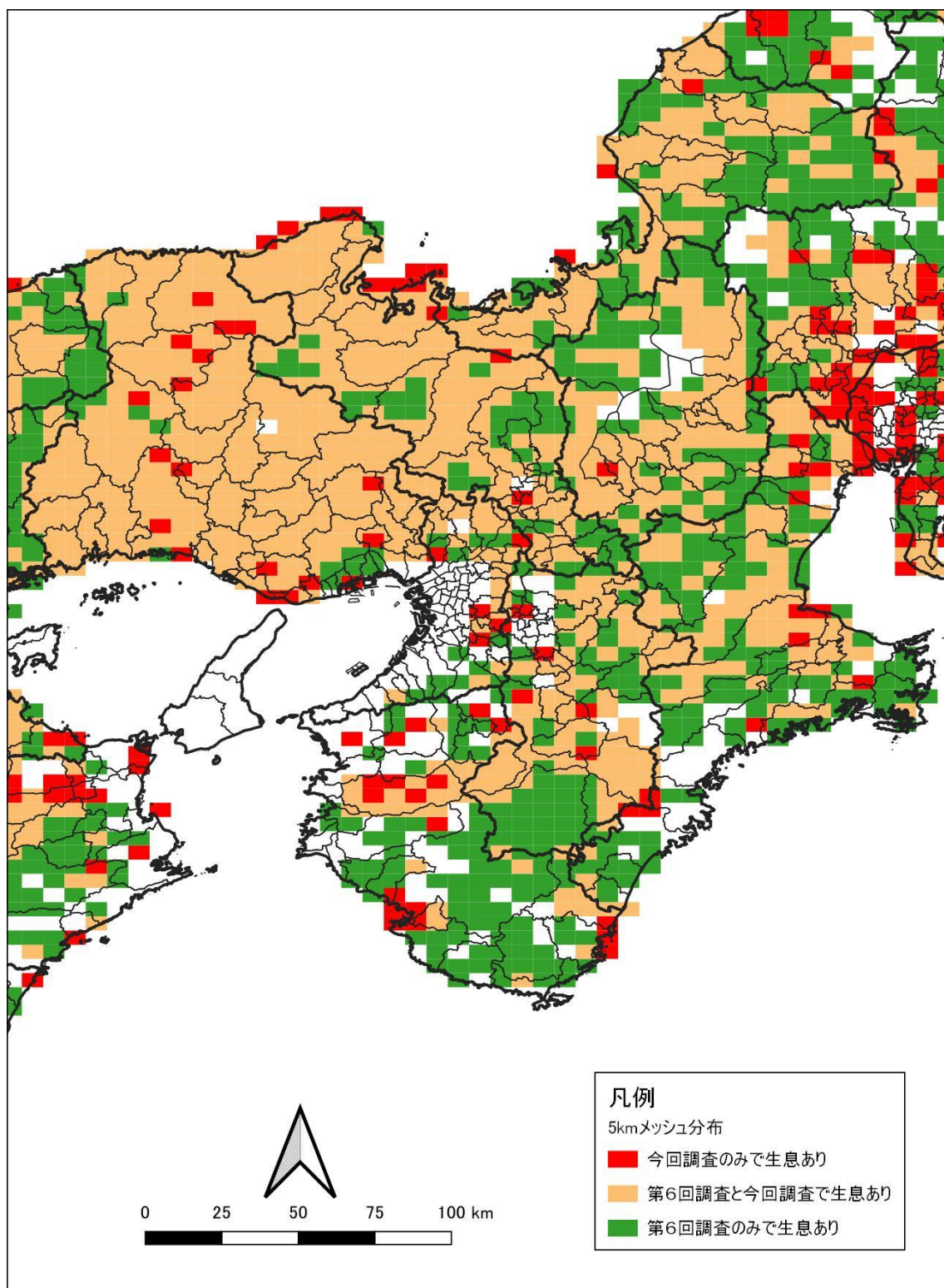


図 3-4-16 キツネの生息情報に基づく地方ブロック別分布図（5km メッシュ）
（近畿）

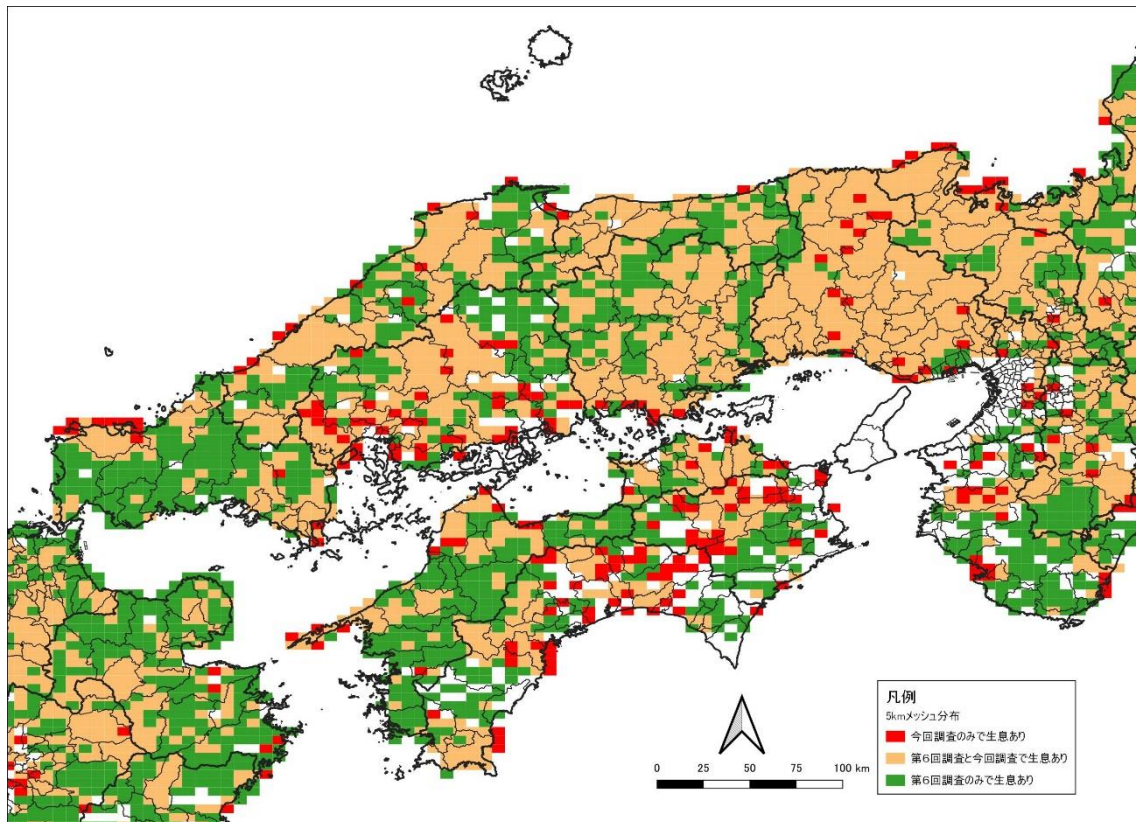


図 3-4-17 キツネの生息情報に基づく地方ブロック別分布図（5km メッシュ）
（中国四国）

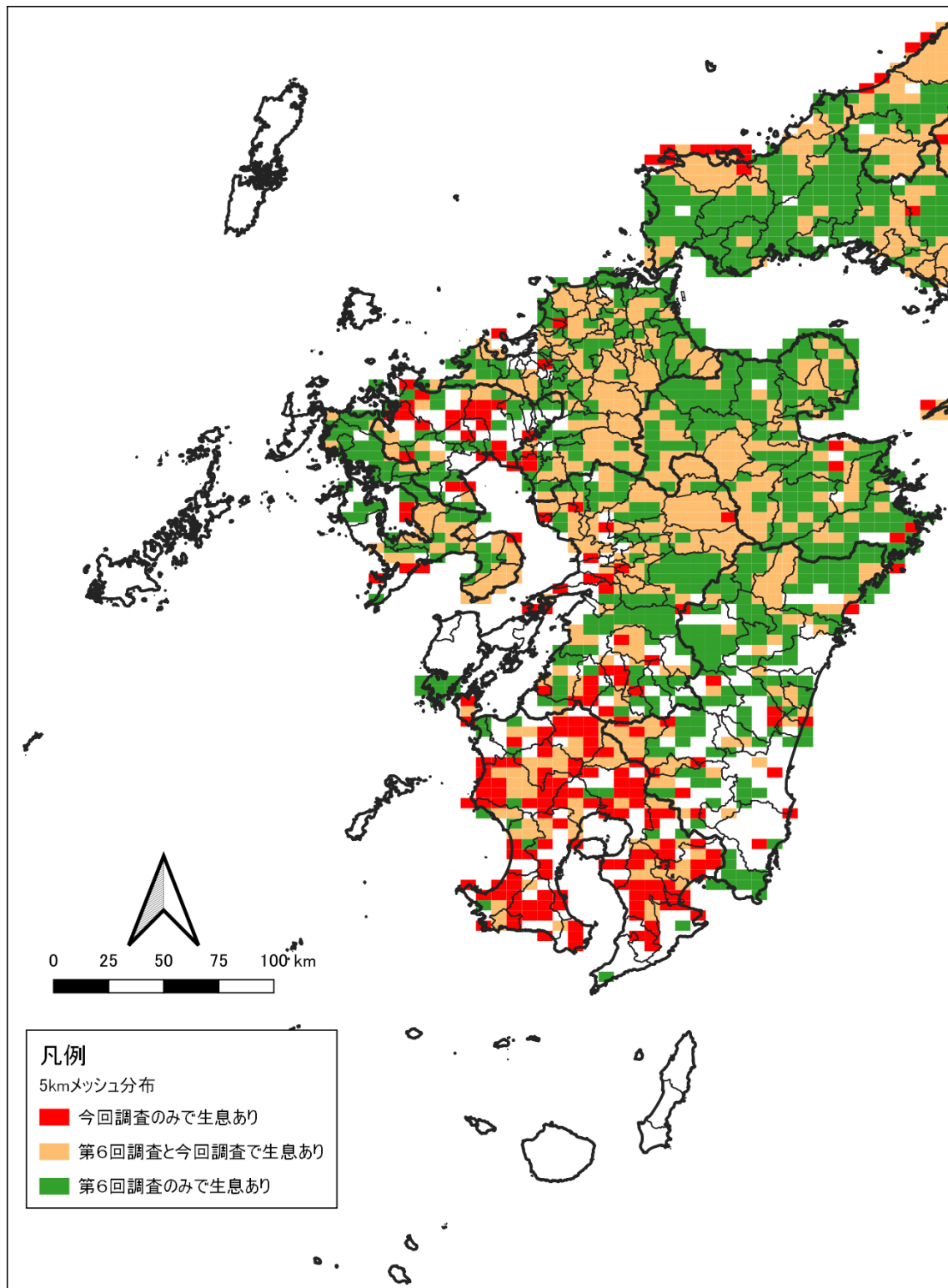


図 3-4-18 キツネの生息情報に基づく地方ブロック別分布図（5km メッシュ）
（九州）

3) アナグマ

表 3-4-6 に地方ブロック別在メッシュ数の推移を、表 3-4-7 に都道府県別在メッシュ数の推移を示した。また、図 3-4-19 に各調査回における分布図、図 3-4-20 に第 6 回調査との比較図、図 3-4-21～図 3-4-26 に地方ブロック別分布図を示した。

全国の在メッシュ数は、今回調査では第 6 回調査よりも 1,500 メッシュ程度増加し、第 2 回調査と概ね同等であった。地方ブロック別では、特に近畿や九州では在メッシュ数が第 6 回調査よりも 500 メッシュ程度増加した。九州から多くの生息情報が得られた理由として、近年、九州では被害防止目的の捕獲数が増えていることが一因と考えられた。

都道府県別では、今回調査では兵庫県の在メッシュ数が第 6 回調査よりも 200 メッシュ程度増加した。今回調査において兵庫県は、兵庫県森林動物研究センターによる集落被害調査で得られた生息情報を利用し、ほぼ県内全域から生息情報が収集できたため在メッシュ数が増加したと考えられた。

第 6 回調査との比較図をみると、近畿や九州、首都圏周辺での分布拡大傾向がみられた。栃木県は狩猟による捕獲が禁止されているが、狩猟者へのアナグマアンケート実施結果が活用できたことで、生息情報を広域に収集することができたと考えられる。愛知県西部で生息情報が得られない状況は、過去の調査と共通していた。

表 3-4-6 地方ブロック別在メッシュ数の推移（アナグマ）

地方※ ¹	5km メッシュ 数	第 2 回調査 (1970 年度～1979 年度)		第 6 回調査 (1996 年度～2002 年度)		今回調査 (2010 年度～2021 年度)	
		在メッシュ数	割合	在メッシュ数	割合	在メッシュ数	割合
北海道	3,693	0	0.00	0	0.00	0	0.00
東北	2,957	1,596	0.54	1,021	0.35	1,103	0.37
関東	1,490	491	0.33	326	0.22	589	0.40
中部	3,202	1,693	0.53	1,490	0.47	1,451	0.45
近畿	1,224	624	0.51	390	0.32	847	0.69
中国	1,482	814	0.55	687	0.46	973	0.66
四国	939	325	0.35	446	0.47	434	0.46
九州	2,473	865	0.35	847	0.34	1,357	0.55
全国※ ²	17,068	6,213	0.36	5,061	0.30	6,592	0.39

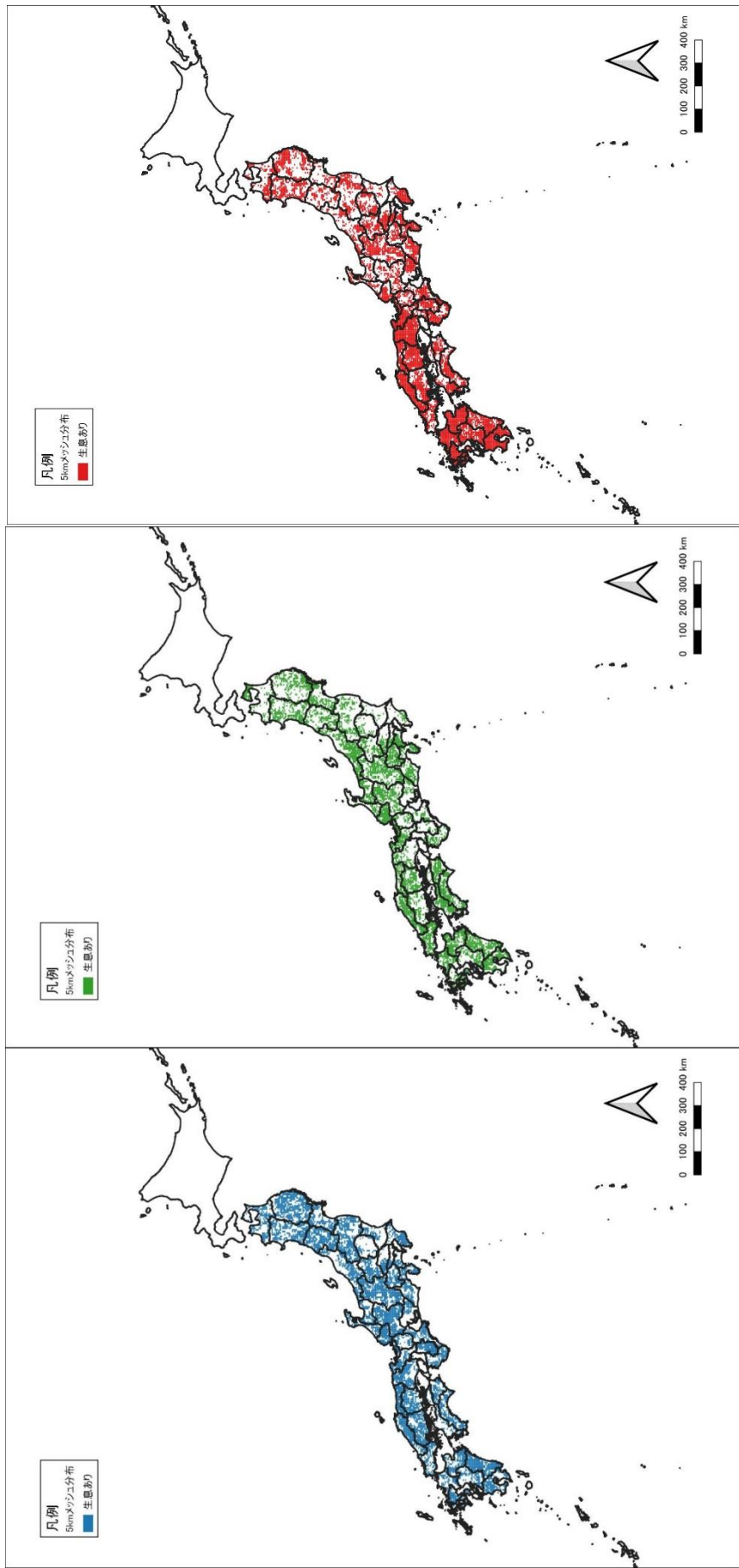
※1：表 3-2-2 を参照

※2：都府県境のメッシュの重複があるため、地方ブロック別の在メッシュ数の合計値と全国メッシュ数は合致しない。

表 3-4-7 都道府県別在メッシュ数の推移（アナグマ）

都道府県	5km メッシュ数	第2回調査 (1970年度～1979年度)		第6回調査 (1996年度～2002年度)		今回調査 (2010年度～2021年度)	
		在メッシュ数	割合	在メッシュ数	割合	在メッシュ数	割合
1 北海道	3,693	0	0.00	0	0.00	0	0.00
2 青森県	502	220	0.44	131	0.26	207	0.41
3 岩手県	704	428	0.61	243	0.35	301	0.43
4 宮城県	380	179	0.47	167	0.44	78	0.21
5 秋田県	553	285	0.52	229	0.41	266	0.48
6 山形県	432	282	0.65	158	0.37	110	0.25
7 福島県	626	337	0.54	175	0.28	211	0.34
8 茨城県	299	74	0.25	25	0.08	53	0.18
9 栃木県	295	60	0.20	55	0.19	136	0.46
10 群馬県	308	144	0.47	99	0.32	137	0.44
11 埼玉県	186	59	0.32	48	0.26	82	0.44
12 千葉県	263	121	0.46	35	0.13	126	0.48
13 東京都	206	39	0.19	32	0.16	46	0.22
14 神奈川県	135	46	0.34	65	0.48	75	0.56
15 新潟県	628	246	0.39	293	0.47	170	0.27
16 富山県	213	95	0.45	105	0.49	53	0.25
17 石川県	232	108	0.47	69	0.30	73	0.31
18 福井県	228	162	0.71	167	0.73	142	0.62
19 山梨県	218	128	0.59	144	0.66	97	0.44
20 長野県	616	387	0.63	306	0.50	326	0.53
21 岐阜県	484	329	0.68	233	0.48	152	0.31
22 静岡県	379	182	0.48	195	0.51	252	0.66
23 愛知県	263	90	0.34	80	0.30	117	0.44
24 三重県	301	150	0.50	65	0.22	174	0.58
25 滋賀県	190	82	0.43	66	0.35	89	0.47
26 京都府	244	134	0.55	117	0.48	199	0.82
27 大阪府	110	15	0.14	13	0.12	60	0.55
28 兵庫県	409	201	0.49	108	0.26	315	0.77
29 奈良県	186	144	0.77	36	0.19	125	0.67
30 和歌山県	243	135	0.56	89	0.37	166	0.68
31 鳥取県	185	133	0.72	103	0.56	140	0.76
32 島根県	356	218	0.61	206	0.58	282	0.79
33 岡山県	338	206	0.61	180	0.53	263	0.78
34 広島県	415	255	0.61	134	0.32	232	0.56
35 山口県	359	128	0.36	171	0.48	181	0.50
36 徳島県	205	96	0.47	122	0.60	93	0.45
37 香川県	139	24	0.17	37	0.27	29	0.21
38 愛媛県	349	74	0.21	168	0.48	153	0.44
39 高知県	355	187	0.53	198	0.56	222	0.63
40 福岡県	264	91	0.34	109	0.41	198	0.75
41 佐賀県	134	83	0.62	45	0.34	121	0.90
42 長崎県	376	59	0.16	72	0.19	136	0.36
43 熊本県	371	147	0.40	132	0.36	240	0.65
44 大分県	316	168	0.53	206	0.65	277	0.88
45 宮崎県	354	276	0.78	237	0.67	265	0.75
46 鹿児島県	594	172	0.29	173	0.29	294	0.49
47 沖縄県	267	0	0.00	0	0.00	0	0.00
全国※	17,068	6,213	0.36	5,061	0.30	6,592	0.39

※都府県境のメッシュの重複があるため、都府県のメッシュ数の合計値と全国メッシュ数は合致しない。



今回調査 (2022)

第6回調査 (2004)

第2回調査 (1979)

図 3-4-19 アナグマの全国分布図 (5km メッシュ)

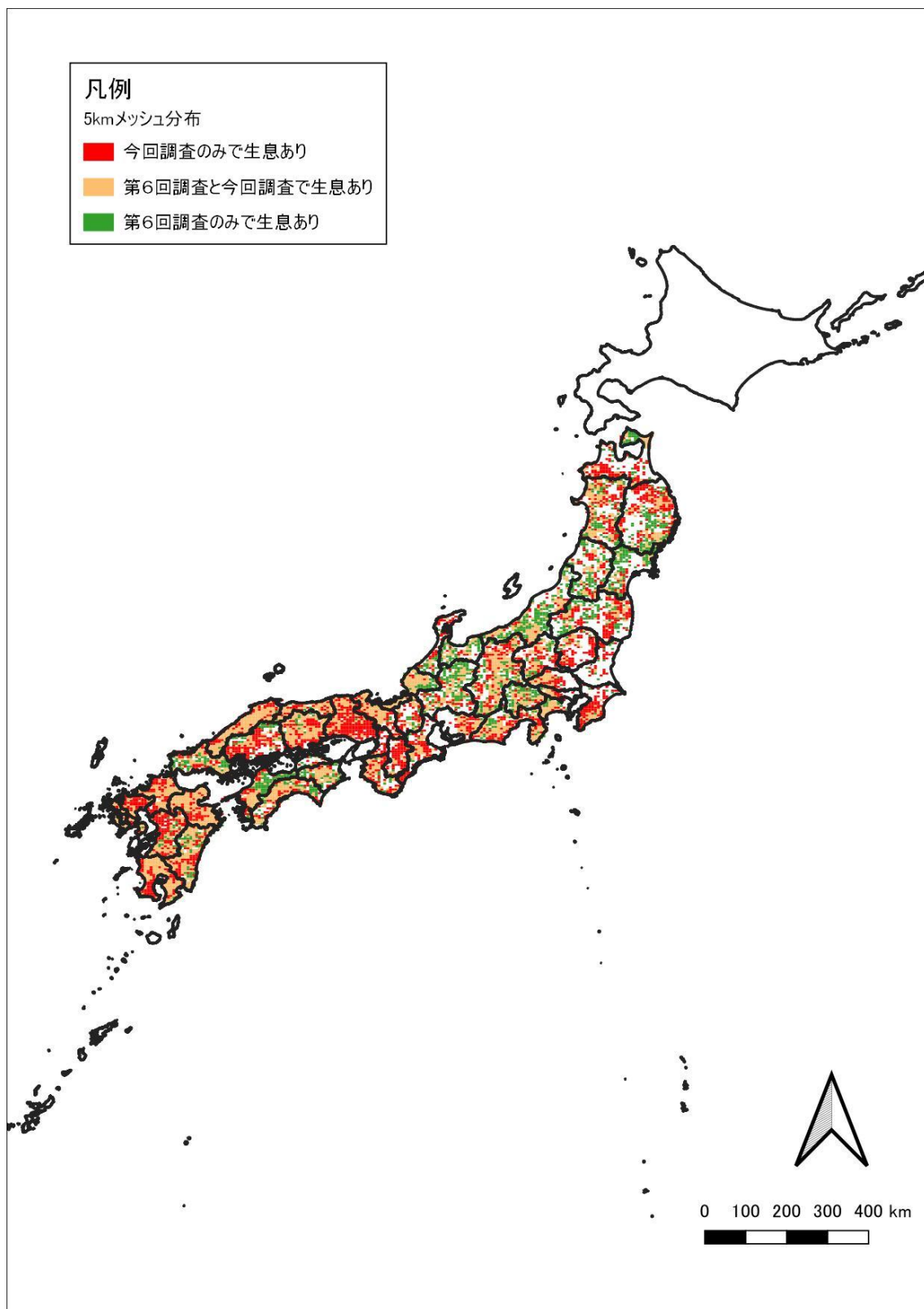


図 3-4-20 アナグマの第 6 回調査との比較図 (5km メッシュ)

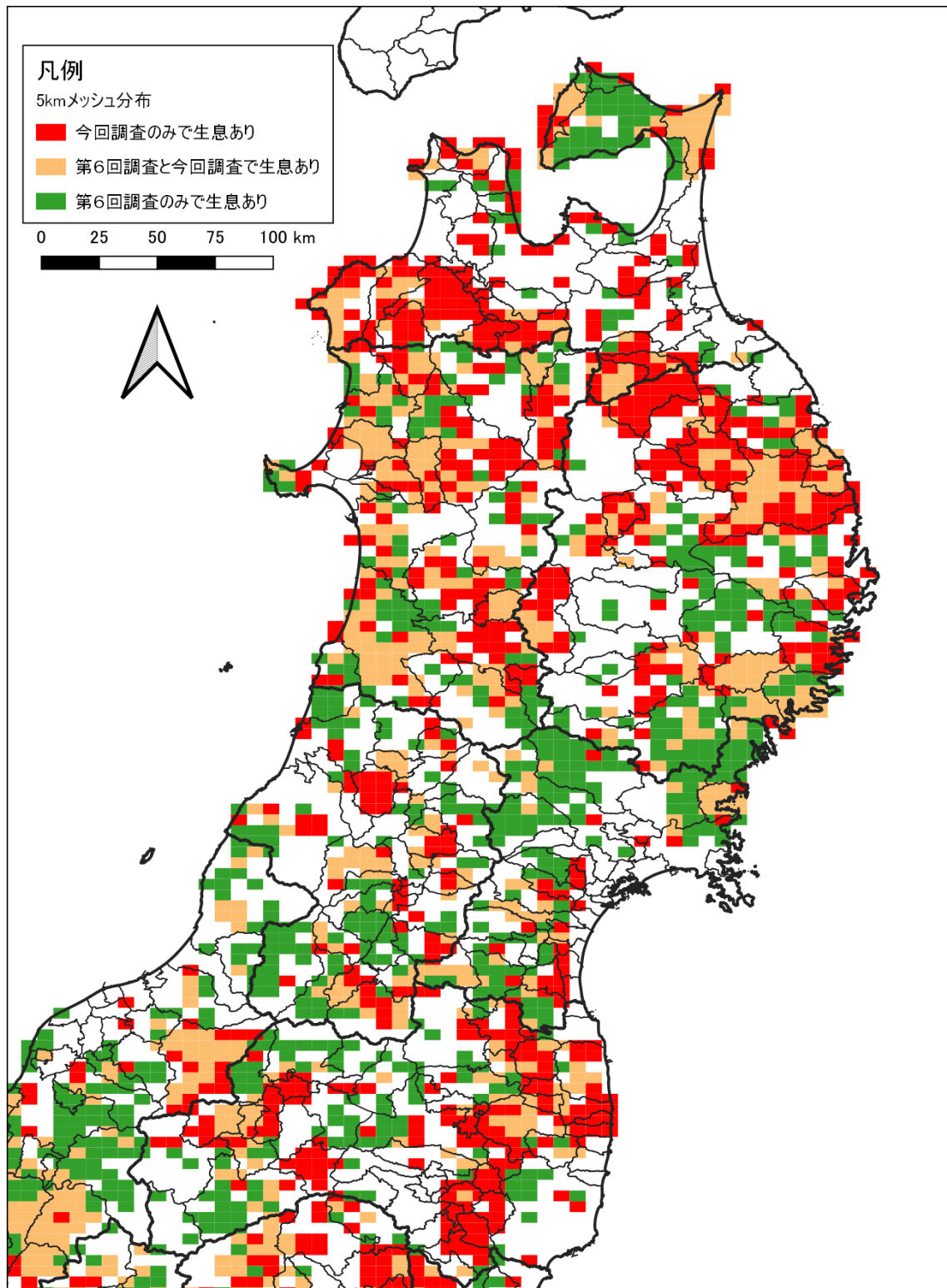


図 3-4-21 アナグマの生息情報に基づく地方ブロック別分布図 (5km メッシュ)
(東北)

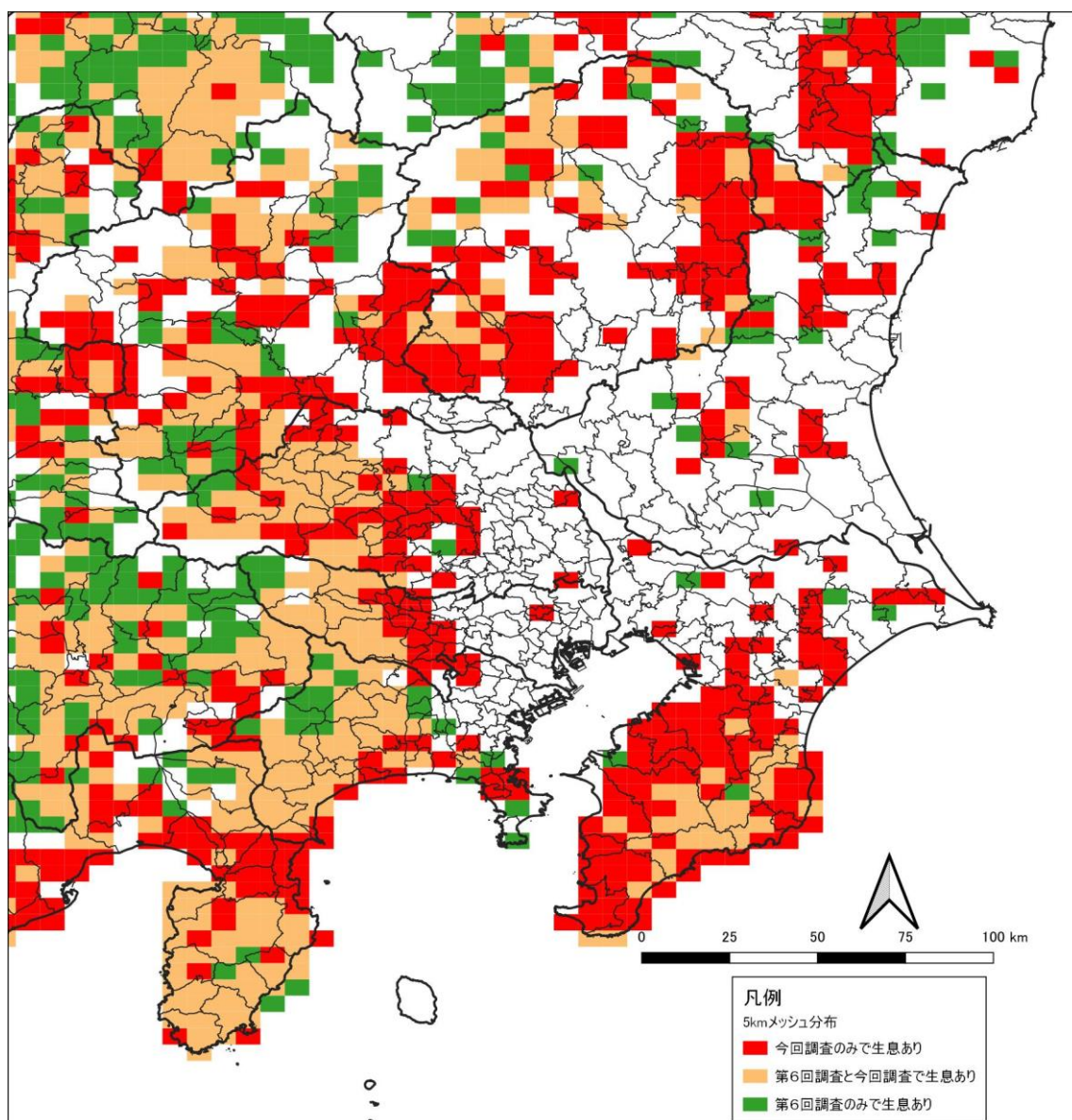


図 3-4-22 アナグマの生息情報に基づく地方ブロック別分布図 (5km メッシュ)
(関東)

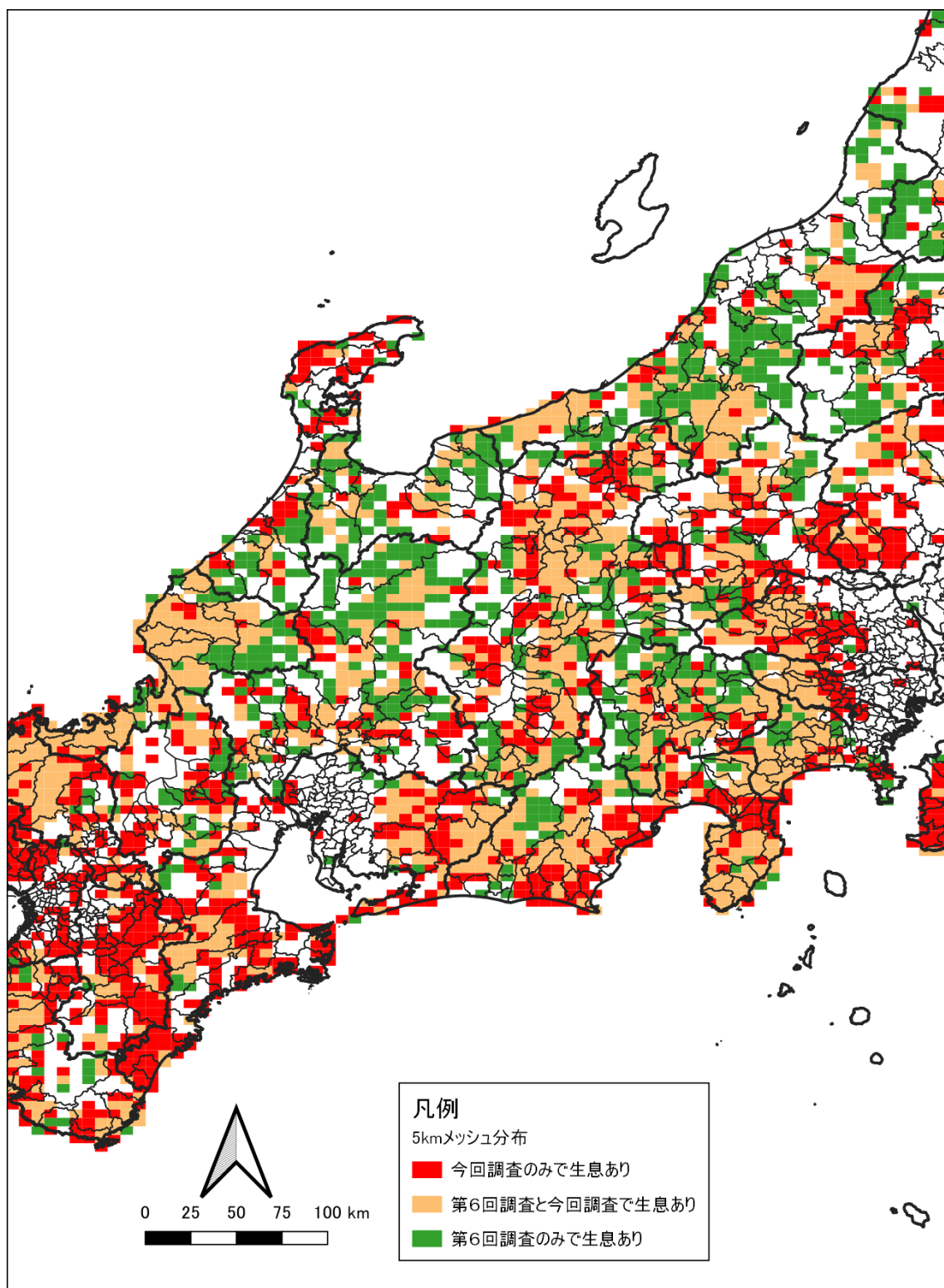


図 3-4-23 アナグマの生息情報に基づく地方ブロック別分布図（5km メッシュ）
（中部）

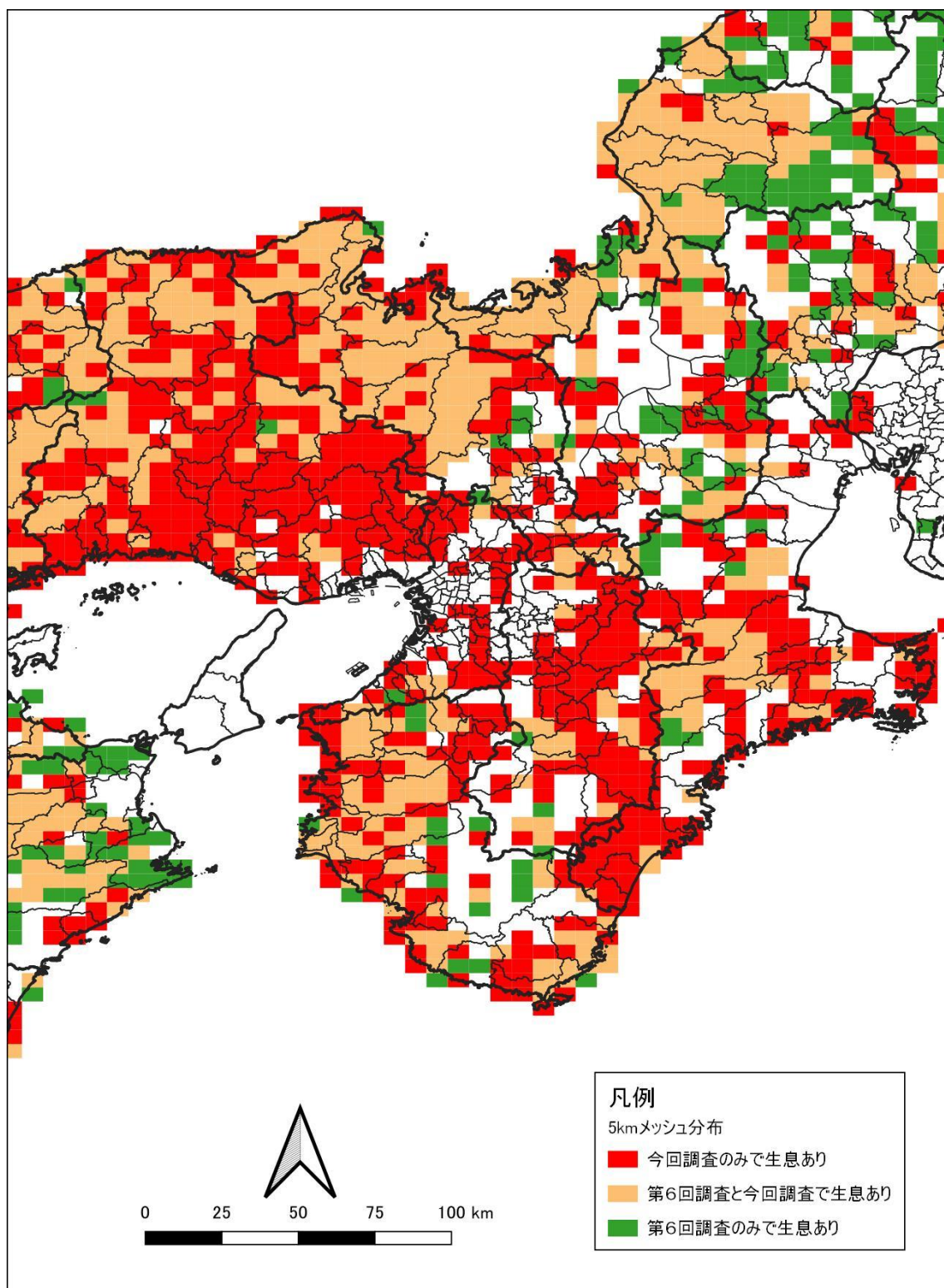


図 3-4-24 アナグマの生息情報に基づく地方ブロック別分布図 (5km メッシュ)
(近畿)

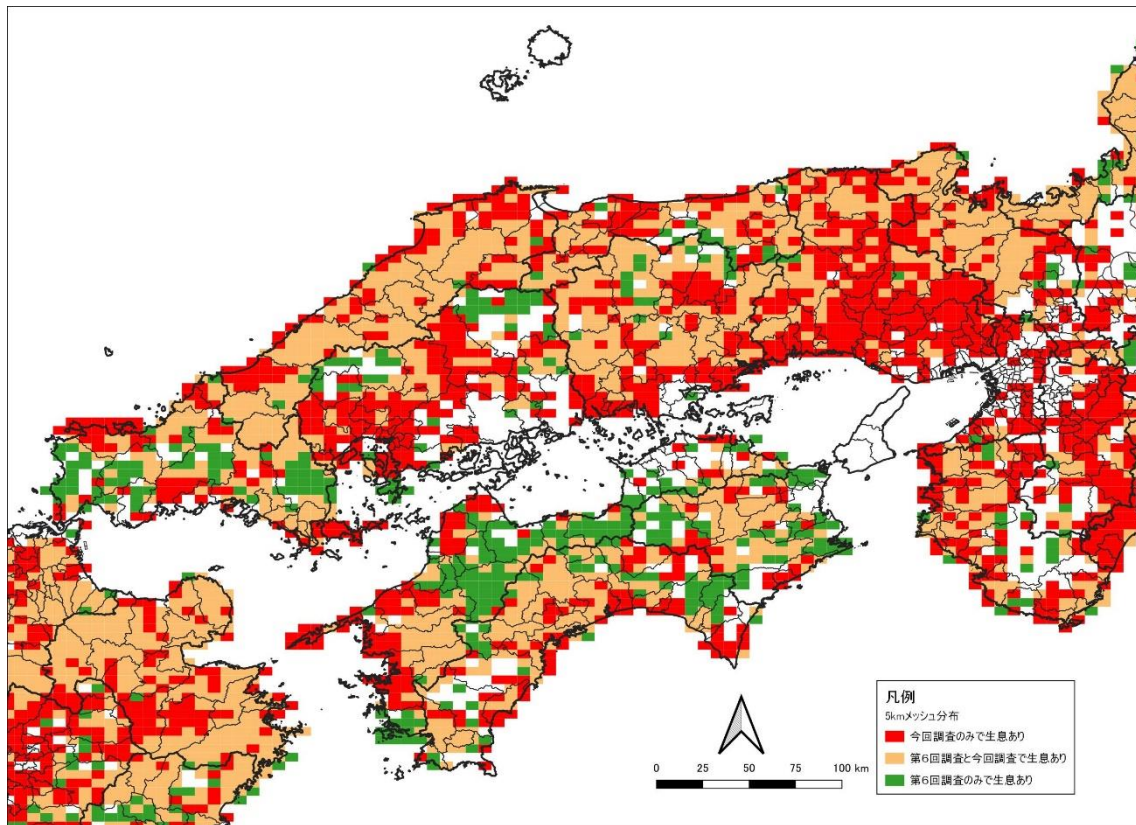


図 3-4-25 アナグマの生息情報に基づく地方ブロック別分布図（5km メッシュ）
（中国四国）

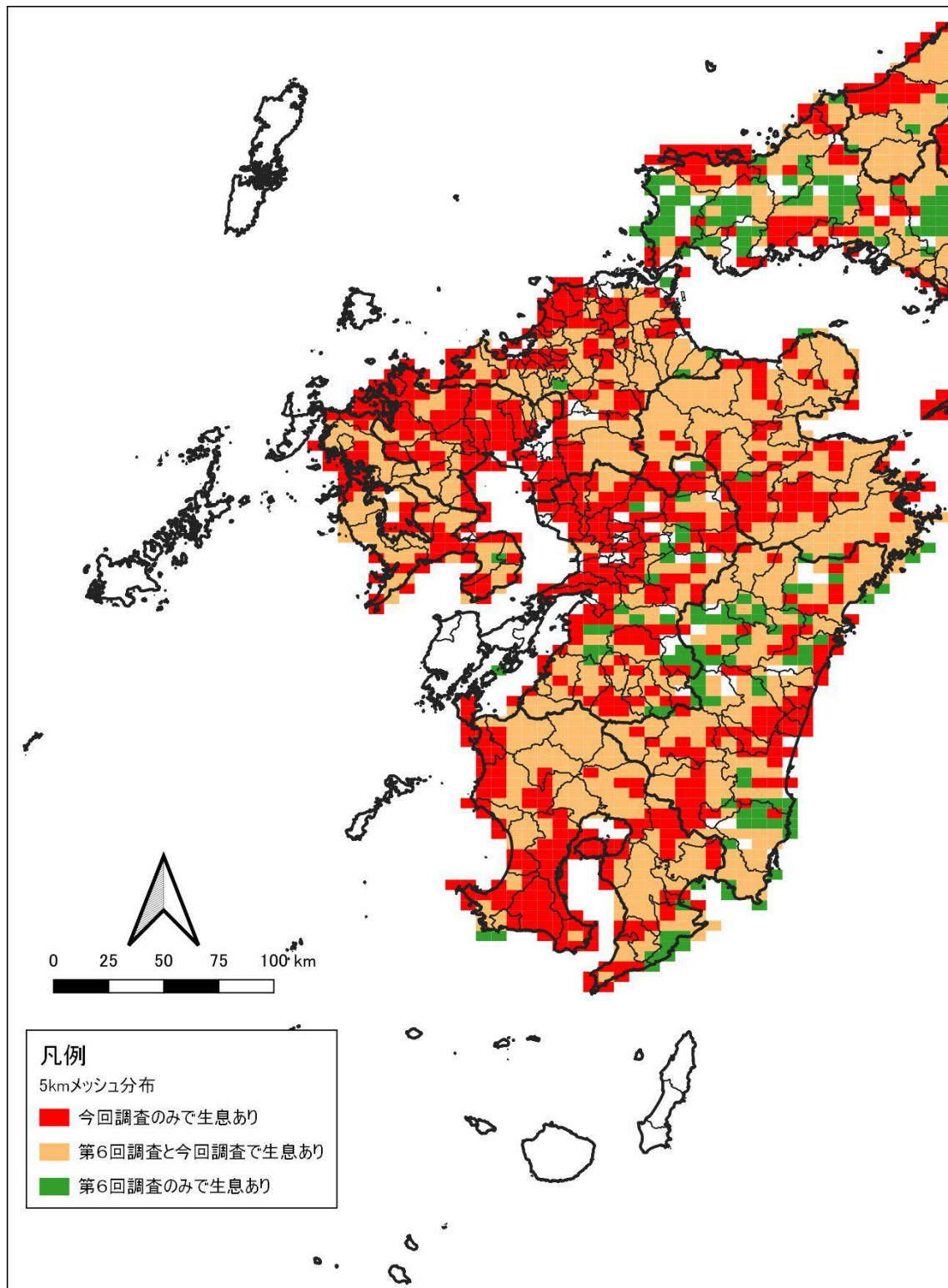


図 3-4-26 アナグマの生息情報に基づく地方ブロック別分布図 (5km メッシュ)
(九州)

(5) 分布情報と環境との関係

今回調査で分布情報が得られなかったメッシュについては、実際に対象種が分布していない可能性と共に、地形等の環境や人の利用状況等の影響により分布情報が得られなかった可能性がある。対象種の不在を今回の調査方法で明らかにすることは困難であるが、後者の影響を検討するため、分布情報の有無と環境との関係について考察した。

関係を考察する環境としては、人の活動と関わりのある田や森林をはじめとした土地利用面積の他、道路総延長、平均標高、人口を対象とした（表 3-5-1）。以下の解析はすべて 5km メッシュ単位で行った。なお、タヌキ・キツネ・アナグマが分布しない沖縄県と東京都の島嶼部は、解析に含めた場合に結果が不明瞭となるおそれがあるため除いて解析した。また、アナグマでは未生息地である北海道を除いて解析した。

表 3-5-1 解析に使用した環境の内容

環境データ※ ¹	単位	内容	データのソース
田(2016) ※ ²	km ²	メッシュに含まれる面積	国土数値情報 土地利用 3 次メッシュデータ
他 農用地(2016) ※ ²	km ²	メッシュに含まれる面積	国土数値情報 土地利用 3 次メッシュデータ
森林(2016) ※ ²	km ²	メッシュに含まれる面積	国土数値情報 土地利用 3 次メッシュデータ
荒地(2016) ※ ²	km ²	メッシュに含まれる面積	国土数値情報 土地利用 3 次メッシュデータ
建物用地(2016) ※ ²	km ²	メッシュに含まれる面積	国土数値情報 土地利用 3 次メッシュデータ
他用地(2016) ※ ²	km ²	メッシュに含まれる面積	国土数値情報 土地利用 3 次メッシュデータ
河川湖沼(2016) ※ ²	km ²	メッシュに含まれる面積	国土数値情報 土地利用 3 次メッシュデータ
海水域(2016) ※ ²	km ²	メッシュに含まれる面積	国土数値情報 土地利用 3 次メッシュデータ
平均標高 (2011)	m	メッシュの平均値	国土数値情報 土地利用 3 次メッシュデータ
人口 (2018)	人	「平成 27 年国勢調査」に基づく、平成 27 年 (2015 年) 10 月 1 日現在の男女計総人口	国土数値情報 1km メッシュ別将来推計人口
道路総延長 (2010)	m	メッシュの全幅員道路延長の合計	国土数値情報 道路密度・道路延長メッシュデータ

※1：括弧内年は各環境データが記録された年度を示す

※2：環境の名称及び区分は国土数値情報 (<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>) よりダウンロードした土地利用土地利用 3 次メッシュデータに従った。記録されている土地利用のうち、道路、鉄道、海浜、ゴルフ場は面積が小さく分布情報との関係を考察することが難しいため解析には用いなかった。面積は m² で集約された値を km² に換算して使用した

解析は、各種について以下の要領で実施した。

① 調査結果と環境の関係の考察

分布情報が得られたメッシュと得られなかったメッシュについて環境との関係性を考察し、なんらかの傾向がある環境を抽出した。環境の抽出にあたっては、分布情報が得られたメッシュと得られなかったメッシュについて、環境の値の幅の重複が少なく、かつ全体に対する環境の値が小さすぎないか確認した上で抽出した。

② 分布情報が得られなかった環境の整理・考察

①で抽出した環境について、分布情報が得られていない環境の特徴を地方ごとに整理・考察した。

1) タヌキ

①調査結果と環境の関係の考察

単位が面積の環境データを対象として、分布情報が得られたメッシュを代表する環境の割合を表 3-5-2、分布情報が得られなかったメッシュを代表する環境の割合を表 3-5-3 に示した。分布情報の多くは森林の多いメッシュで得られたが、関東では建物用地の多いメッシュでも分布情報が得られた。これはタヌキだけで見られた傾向であり、都市部近くにも生息可能な特性を反映したと考えられる。

分布情報が得られなかったメッシュについても、北海道と東北、関東、中部では7割以上が森林の多いメッシュだった。森林の多いメッシュの割合は西の地方ほど減少し、海水域の多いメッシュの割合が増加した。西日本では、対象となるメッシュに島嶼部が多く含まれるため、海水域の割合が増えた可能性がある。

表 3-5-2 分布情報が得られたメッシュを代表する環境の割合

地方	5km メッシュ数	田	他農用地	森林	荒地	建物用地	他用地	河川湖沼	海水域
北海道	1,626	0.03	0.11	0.76	0.00	0.02	0.00	0.01	0.07
東北	2,046	0.12	0.01	0.79	0.00	0.02	0.00	0.00	0.05
関東	1,198	0.13	0.08	0.49	0.00	0.23	0.00	0.01	0.05
中部	2,324	0.08	0.02	0.75	0.00	0.07	0.00	0.00	0.08
近畿	1,023	0.04	0.01	0.79	0.00	0.09	0.00	0.01	0.07
中国	1,155	0.01	0.00	0.84	0.00	0.03	0.00	0.01	0.11
四国	714	0.03	0.01	0.75	0.00	0.03	0.00	0.00	0.19
九州	1,491	0.06	0.03	0.70	0.00	0.04	0.00	0.00	0.14
全国	11,357	0.07	0.04	0.73	0.00	0.06	0.00	0.01	0.09

※5km メッシュ内で最も面積が多い環境を当該メッシュを代表する環境とし、情報が得られたメッシュに対する割合を算出した

表 3-5-3 分布情報が得られなかったメッシュを代表する環境の割合

地方	5km メッシュ数	田	他農用地	森林	荒地	建物用地	他用地	河川湖沼	海水域
北海道	2,067	0.01	0.12	0.70	0.01	0.01	0.00	0.01	0.14
東北	911	0.02	0.00	0.81	0.00	0.00	0.00	0.01	0.16
関東	189	0.02	0.00	0.71	0.00	0.01	0.00	0.01	0.25
中部	878	0.01	0.00	0.84	0.00	0.01	0.00	0.00	0.14
近畿	201	0.00	0.00	0.55	0.00	0.03	0.00	0.09	0.33
中国	327	0.01	0.00	0.44	0.00	0.02	0.00	0.01	0.52
四国	225	0.01	0.00	0.36	0.00	0.00	0.00	0.00	0.60
九州	715	0.01	0.02	0.27	0.00	0.00	0.00	0.00	0.65
全国	5,341	0.01	0.05	0.64	0.00	0.01	0.00	0.01	0.27

※5km メッシュ内で最も面積が多い環境を当該メッシュを代表する環境とし、情報が得られなかったメッシュに対する割合を算出した

分布情報の有無と環境の関係を図 3-5-1 に示した。人口が多く道路総延長が長いメッシュで分布情報が得られた一方で、森林面積と人口が少なく道路総延長が短いメッシュで分布情報が得られにくい傾向がみられた。平均標高をはじめとしたその他の環境との間には明瞭な傾向がみられなかった。

②では、分布情報の有無と環境との間に関係性がみられた森林、人口、道路総延長を対象として考察を行った。

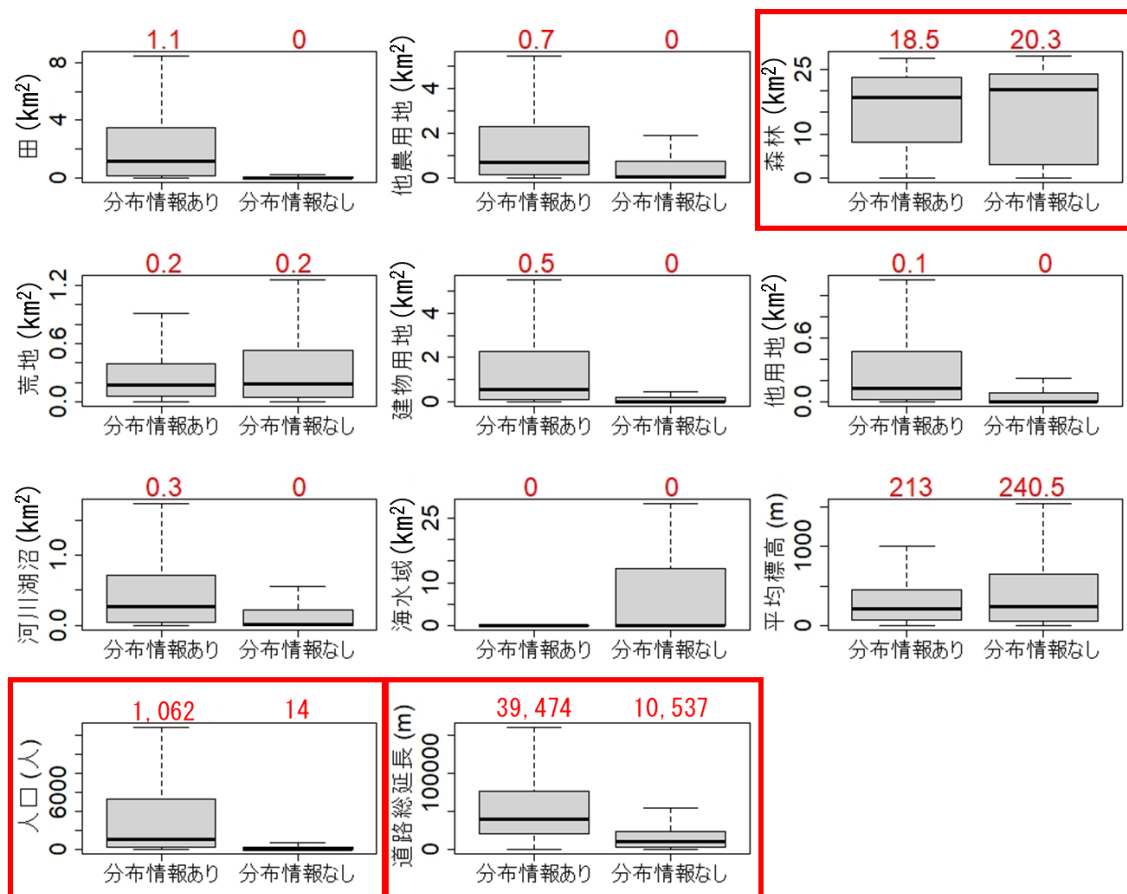


図 3-5-1 分布情報（タヌキ）の有無と各環境の比較

※赤数値は中央値を示す

②分布情報が得られなかった環境の整理

森林面積と分布情報の有無について、地方別に比較した（図 3-5-2）。北海道と近畿は森林が多いメッシュ、少ないメッシュ共に分布情報が得られておらず、傾向をつかむことが出来なかった。東北、関東、中部では森林が多いメッシュで分布情報が得られにくい傾向がみられた。一方、近畿、中国、四国、九州では森林が少ないメッシュで分布情報が得られなかった。

人口と分布情報の有無について、地方別に比較した（図 3-5-3）。全ての地方で人口が少ないメッシュで分布情報が得られにくい傾向がみられた。

道路総延長と分布情報の有無について、地方別に比較した（図 3-5-4）。全ての地方で道路総延長が短いメッシュで分布情報が得られにくい傾向がみられた。

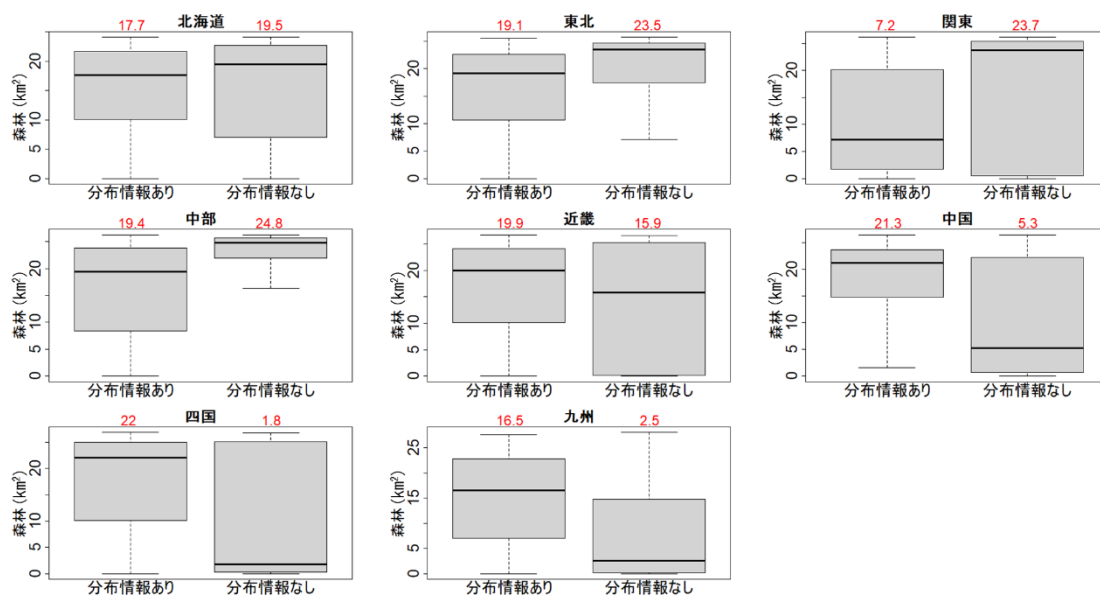


図 3-5-2 森林面積と分布情報（タヌキ）の有無との地方別の比較

※赤数値は中央値を示す

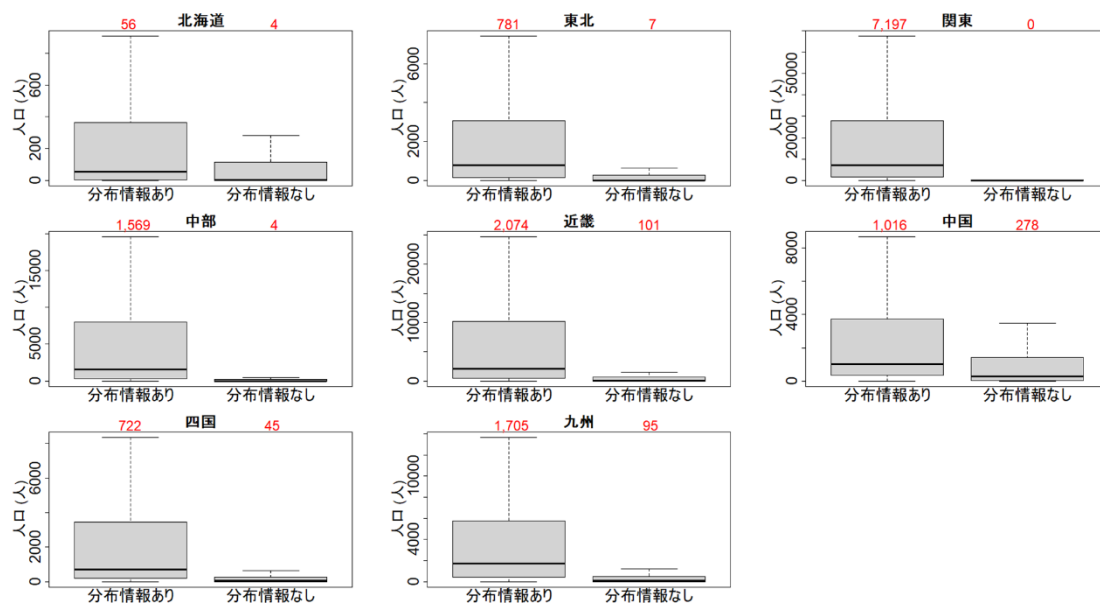


図 3-5-3 人口と分布情報（タヌキ）の有無との地方別の比較

※赤数値は中央値を示す

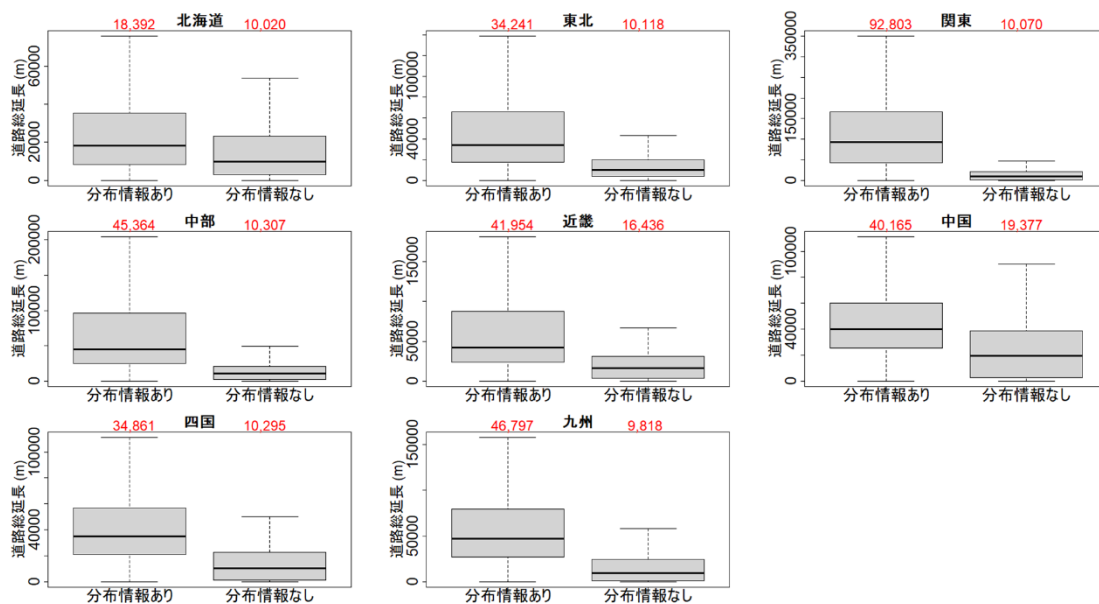


図 3-5-4 道路総延長と分布情報（タクシー）の有無との地方別の比較

※赤数値は中央値を示す

上記をもとに分布情報が得られにくい環境の特徴と分布情報が得られた割合を表 3-5-4 に示した。全地方で人口が少なく道路総延長が短いメッシュにおいて分布情報が得られにくい傾向がみられた。人口や道路総延長は人の利用頻度と関係していると考えられるため、人の利用が少ない環境で分布情報が得られにくかったと考えられる。森林については、分布情報の有無の傾向は東日本と西日本で異なる傾向がみられた。表 3-5-2 や人口と道路総延長との比較を踏まえると、東日本では森林地域、西日本では島嶼部が人の利用頻度が低く、これらの地域で分布情報が得られにくい傾向がみられた。これらの点から、人の活動だけでなく、地形などの環境も情報の得られやすさに影響を与えたと考えられた。

表 3-5-4 タクシーの分布情報が得られていない環境

地方	森林	人口	道路総延長	分布割合
北海道	－	少ない	短い	0.44
東北	多い	少ない	短い	0.69
関東	多い	少ない	短い	0.86
中部	多い	少ない	短い	0.84
近畿	－	少ない	短い	0.73
中国	少ない	少ない	短い	0.78
四国	少ない	少ない	短い	0.76
九州	少ない	少ない	短い	0.68

2) キツネ

①調査結果と環境の関係の考察

単位が面積の環境データを対象として、分布情報が得られたメッシュを代表する環境の割合を表 3-5-5、分布情報が得られなかったメッシュを代表する環境の割合を表 3-5-6 に示した。いずれの地方においても分布情報の 6 割以上が森林の多いメッシュで得られた。

分布情報が得られなかったメッシュについても、関東と九州を除く地域では 5 割以上が森林の多いメッシュだった。関東では建物用地が多いメッシュ、中国以西では海水域が多いメッシュの割合も高かった。西日本では、対象となるメッシュに島嶼部が多く含まれるため、海水域の割合が増えた可能性がある。

表 3-5-5 分布情報が得られたメッシュを代表する環境の割合

地方	5km メッシュ数	田	他農用地	森林	荒地	建物用地	他用地	河川湖沼	海水域
北海道	2,466	0.03	0.16	0.69	0.01	0.02	0.00	0.01	0.08
東北	1,678	0.13	0.01	0.79	0.00	0.02	0.00	0.00	0.05
関東	653	0.12	0.08	0.64	0.00	0.14	0.00	0.01	0.01
中部	1,558	0.09	0.02	0.77	0.00	0.07	0.00	0.00	0.05
近畿	701	0.05	0.01	0.83	0.00	0.06	0.00	0.01	0.04
中国	707	0.02	0.00	0.87	0.00	0.03	0.00	0.00	0.07
四国	320	0.04	0.01	0.79	0.00	0.03	0.00	0.00	0.13
九州	624	0.05	0.05	0.77	0.00	0.04	0.00	0.00	0.06
全国	8,556	0.07	0.06	0.75	0.00	0.04	0.00	0.01	0.06

※5km メッシュ内で最も面積が多い環境を当該メッシュを代表する環境とし、情報が得られたメッシュに対する割合を算出した

表 3-5-6 分布情報が得られなかったメッシュを代表する環境の割合

地方	5km メッシュ数	田	他農用地	森林	荒地	建物用地	他用地	河川湖沼	海水域
北海道	1,227	0.01	0.03	0.79	0.01	0.00	0.00	0.01	0.16
東北	1,278	0.04	0.00	0.81	0.00	0.01	0.00	0.01	0.13
関東	732	0.12	0.06	0.42	0.00	0.26	0.00	0.02	0.14
中部	1,643	0.03	0.00	0.77	0.00	0.04	0.00	0.00	0.15
近畿	523	0.01	0.01	0.63	0.00	0.10	0.00	0.04	0.21
中国	775	0.01	0.00	0.64	0.00	0.02	0.00	0.01	0.32
四国	619	0.02	0.01	0.59	0.00	0.02	0.00	0.00	0.37
九州	1,582	0.03	0.02	0.47	0.00	0.03	0.00	0.00	0.40
全国	8,139	0.03	0.01	0.65	0.00	0.05	0.00	0.01	0.23

※5km メッシュ内で最も面積が多い環境を当該メッシュを代表する環境とし、情報が得られなかったメッシュに対する割合を算出した

分布情報の有無と環境の関係を図 3-5-5 に示した。人口が多く道路総延長が長いメッシュで分布情報が得られた一方で、人口が少なく道路総延長が短いメッシュで分布情報が得られにくい傾向がみられた。森林については、面積の大きさに関わらず分布情報が得られていなかった。また、平均標高をはじめとしたその他の環境との間には明瞭な傾向がみられなかった。

②では、分布情報の有無と環境との間に関係性がみられた人口と道路総延長を対象として考察を行った。

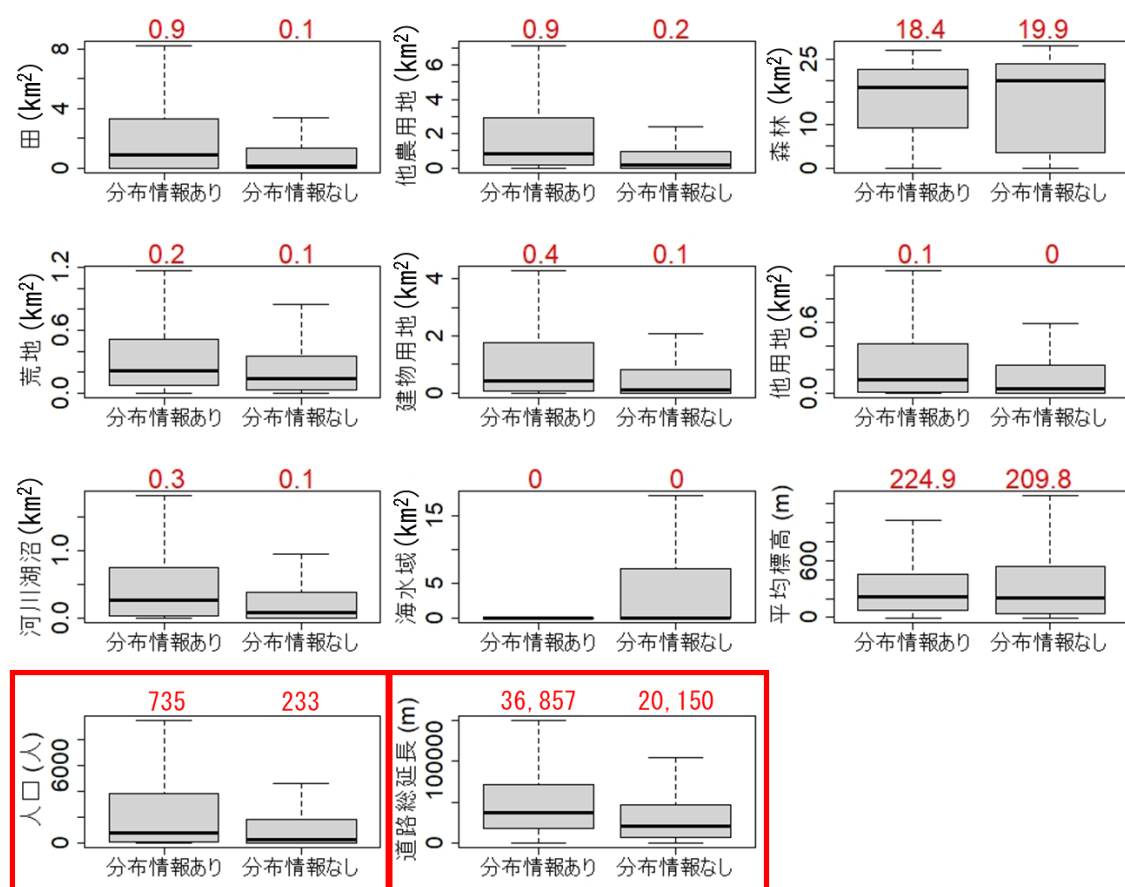


図 3-5-5 分布情報（キツネ）の有無と各環境の比較

※赤数値は中央値を示す

②分布情報が得られなかった環境の整理

人口と分布情報の有無について、地方別に比較した（図 3-5-6）。関東を除く地方では人口が少ないメッシュで分布情報が得られにくい傾向がみられた。一方、関東では人口が多いメッシュで分布情報が得られにくい傾向がみられた。

道路総延長と分布情報の有無について、地方別に比較した（図 3-5-7）。関東を除く他の地方では道路総延長が短いメッシュで分布情報が得られにくい傾向がみられたが、関東では明瞭な傾向がみられなかった。

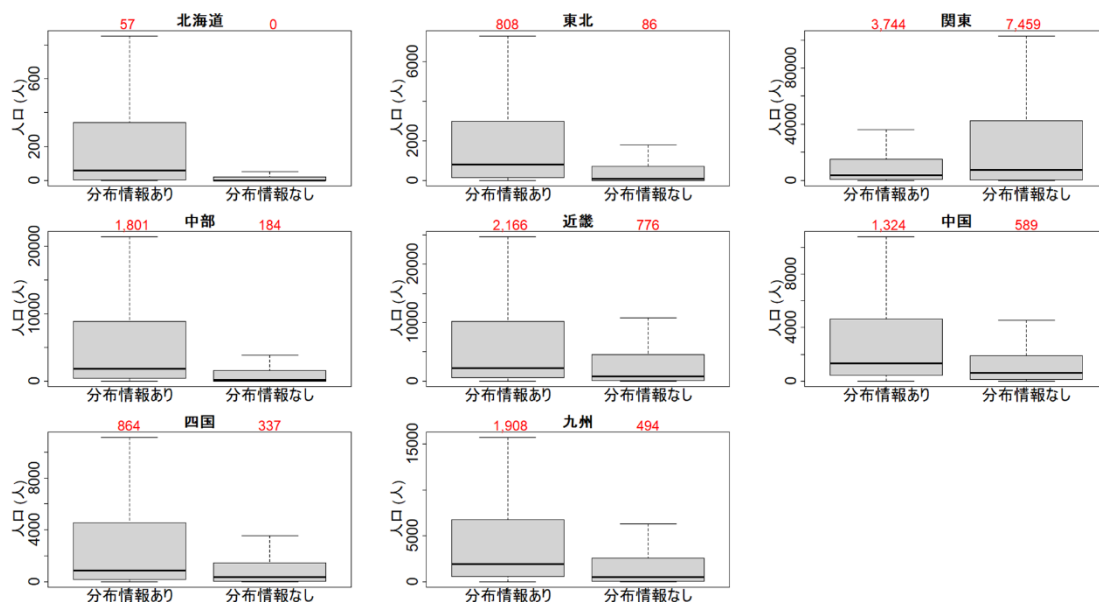


図 3-5-6 人口と分布情報（キツネ）の有無との地方別の比較

※赤数値は中央値を示す

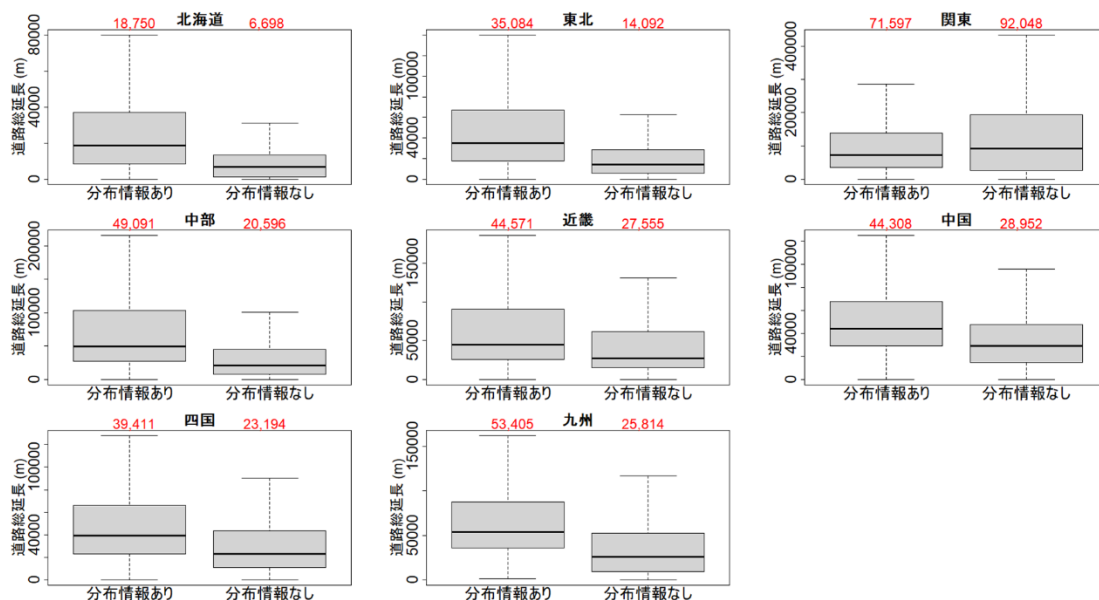


図 3-5-7 道路総延長と分布情報（キツネ）の有無との地方別の比較

※赤数値は中央値を示す

上記をもとに分布情報が得られていない環境の特徴と分布情報が得られた割合を表 3-5-7 に示した。関東を除いた地方においては人口が少なく道路総延長が短いメッシュで分布情報が得られにくい傾向がみられた。人口や道路総延長は人の利用頻度と関係していると考えられるため、人の利用が少ない環境で分布情報が得られにくかったと考えられる。表 3-5-6 や人口と道路総延長との比較を踏まえると、東日本では森林地域、西日本では島嶼部が人の利用頻度が低く、これらの地域で分布情報が集まりにくい傾向がみられた。また、島嶼部における生息域の少なさが表れた可能性がある。

一方関東では人口が多いメッシュで分布情報が得られにくい傾向がみられ、都市部における生息域の少なさが表れた可能性がある。

表 3-5-7 キツネの分布情報が得られていない環境

地方	人口	道路総延長	分布割合
北海道	少ない	短い	0.67
東北	少ない	短い	0.57
関東	多い	－	0.47
中部	少ない	短い	0.49
近畿	少ない	短い	0.57
中国	少ない	短い	0.48
四国	少ない	短い	0.34
九州	少ない	短い	0.28

3) アナグマ

①調査結果と環境の関係の考察

単位が面積の環境データを対象として、分布情報が得られたメッシュを代表する環境の割合を表 3-5-8、分布情報が得られなかったメッシュを代表する環境の割合を表 3-5-9 に示した。いずれの地方においても分布情報の 7 割以上が森林の多いメッシュで得られた。

分布情報が得られなかったメッシュについても、東北と中部では 7 割以上が森林の多いメッシュだった。関東では、建物用地が多いメッシュ、近畿・中国・四国では海水域の多いメッシュ割合も高かった。九州では海水域の多いメッシュ割合が高い傾向がより強く、全ての地方で唯一海水域が多いメッシュの割合が最も高かった。九州をはじめとした西日本では、対象となるメッシュに島嶼部が多く含まれるため、海水域の割合が高かった可能性がある。

表 3-5-8 分布情報が得られたメッシュを代表する環境ごとの割合

地方	5km メッシュ数	田	他農用地	森林	荒地	建物用地	他用地	河川湖沼	海水域
東北	1,103	0.07	0.01	0.85	0.00	0.01	0.00	0.00	0.06
関東	589	0.06	0.05	0.70	0.00	0.14	0.00	0.00	0.04
中部	1,451	0.05	0.02	0.83	0.00	0.04	0.00	0.00	0.06
近畿	847	0.03	0.01	0.84	0.00	0.06	0.00	0.01	0.05
中国	973	0.02	0.00	0.86	0.00	0.02	0.00	0.01	0.08
四国	434	0.02	0.01	0.83	0.00	0.02	0.00	0.00	0.12
九州	1,357	0.05	0.04	0.74	0.00	0.04	0.00	0.00	0.11
総計	6,592	0.05	0.02	0.81	0.00	0.04	0.00	0.00	0.08

※5km メッシュ内で最も面積が多い環境を当該メッシュを代表する環境とし、情報が得られたメッシュに対する割合を算出した

表 3-5-9 分布情報が得られなかったメッシュを代表する環境ごとの割合

地方	5km メッシュ数	田	他農用地	森林	荒地	建物用地	他用地	河川湖沼	海水域
東北	1,854	0.10	0.01	0.76	0.00	0.02	0.00	0.01	0.11
関東	798	0.16	0.08	0.39	0.00	0.25	0.00	0.02	0.10
中部	1,751	0.07	0.01	0.72	0.00	0.07	0.00	0.00	0.13
近畿	377	0.04	0.01	0.53	0.00	0.12	0.00	0.06	0.24
中国	509	0.01	0.00	0.53	0.00	0.02	0.00	0.01	0.43
四国	505	0.03	0.01	0.50	0.00	0.02	0.00	0.00	0.43
九州	849	0.02	0.01	0.27	0.00	0.01	0.00	0.00	0.62
総計	6,413	0.08	0.02	0.58	0.00	0.07	0.00	0.01	0.24

※5km メッシュ内で最も面積が多い環境を当該メッシュを代表する環境とし、情報が得られなかったメッシュに対する割合を算出した

分布情報の有無と環境の関係を図 3-5-8 に示した。人口が多く道路総延長が長いメッシュで分布情報が得られた一方で、森林と人口が少なく道路総延長が短いメッシュで分布情

報が得られにくい傾向がみられた。平均標高に関しては、高標高域と低標高域のいずれにおいても分布情報が得られておらず明瞭な傾向がみられなかったものの、中央値に差がみられた。

②では、分布情報の有無と環境との間に関係性がみられた森林、人口、道路総延長に加え、中央値に差がみられた平均標高を対象として考察を行った。

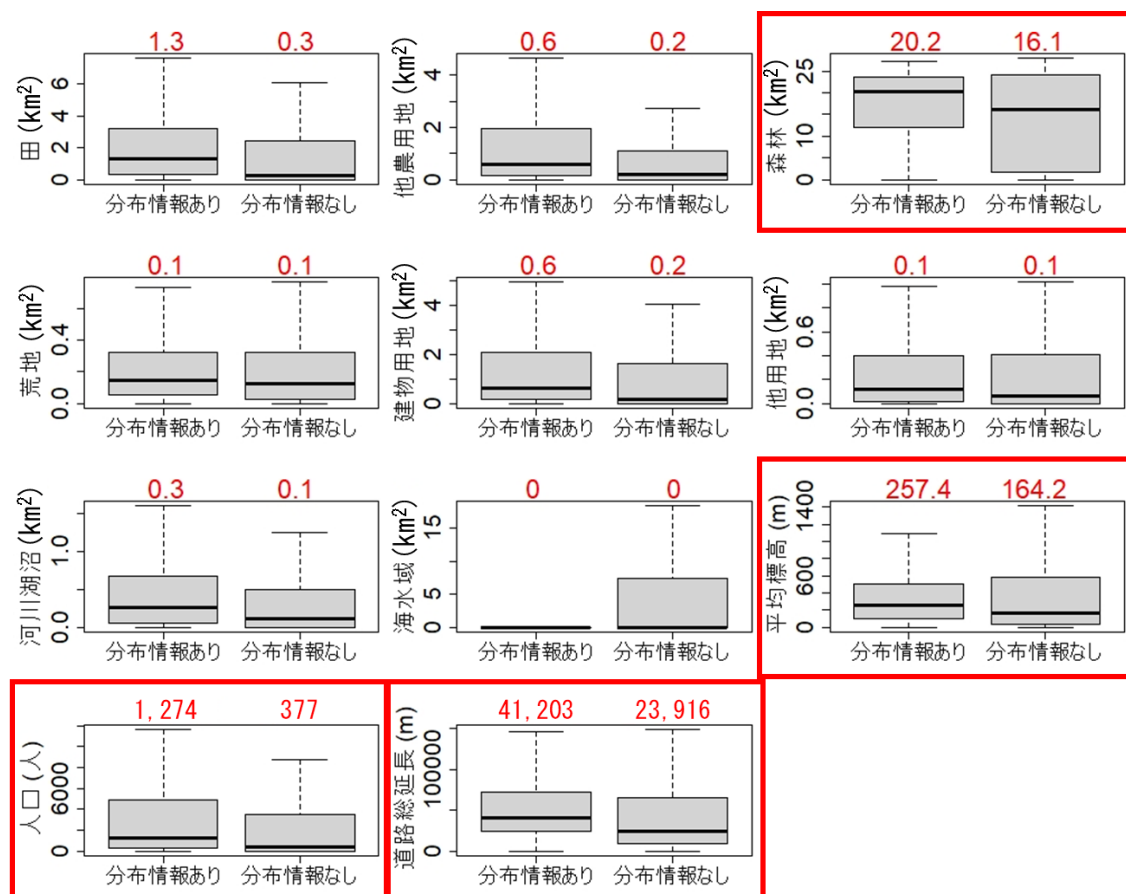


図 3-5-8 分布情報（アナグマ）の有無と各環境の比較

※赤数値は中央値を示す

②分布情報が得られなかった環境の整理

森林面積と分布情報の有無について、地方別に比較した（図 3-5-9）。東北と中部は森林が多いメッシュ、少ないメッシュ共に分布情報が得られておらず、傾向をつかむことが出来なかった。関東、近畿、中国、四国、九州では森林が少ないメッシュで分布情報が得られにくい傾向がみられ、特に九州で顕著な傾向がみられた。

平均標高と分布情報の有無について、地方別に比較した（図 3-5-10）。東北と中部は平均標高が高いメッシュ、低いメッシュ共に分布情報が得られておらず、傾向をつかむことが出

来なかった。関東、近畿、中国、四国、九州では平均標高が低いメッシュで分布情報が得られにくい傾向がみられた。

人口と分布情報の有無について、地方別に比較した（図 3-5-11）。東北は人口の差が小さかったために傾向をつかむことが出来なかった。近畿は人口が多いメッシュと少ないメッシュ共に分布情報が得られなかったため、傾向をつかむことが出来なかった。関東は、人口が多いメッシュで分布情報が得られなかった。中部、中国、四国、九州では人口が少ないメッシュで分布情報が得られにくい傾向がみられた。

道路総延長と分布情報の有無について、地方別に比較した（図 3-5-12）。近畿は道路総延長が長いメッシュ、短いメッシュ共に分布情報が得られておらず、傾向をつかむことが出来なかった。関東は、道路総延長が長いメッシュで分布情報が得られにくい傾向がみられた。一方、東北、中部、中国、四国、九州では道路総延長が短いメッシュで分布情報が得られにくい傾向がみられた。

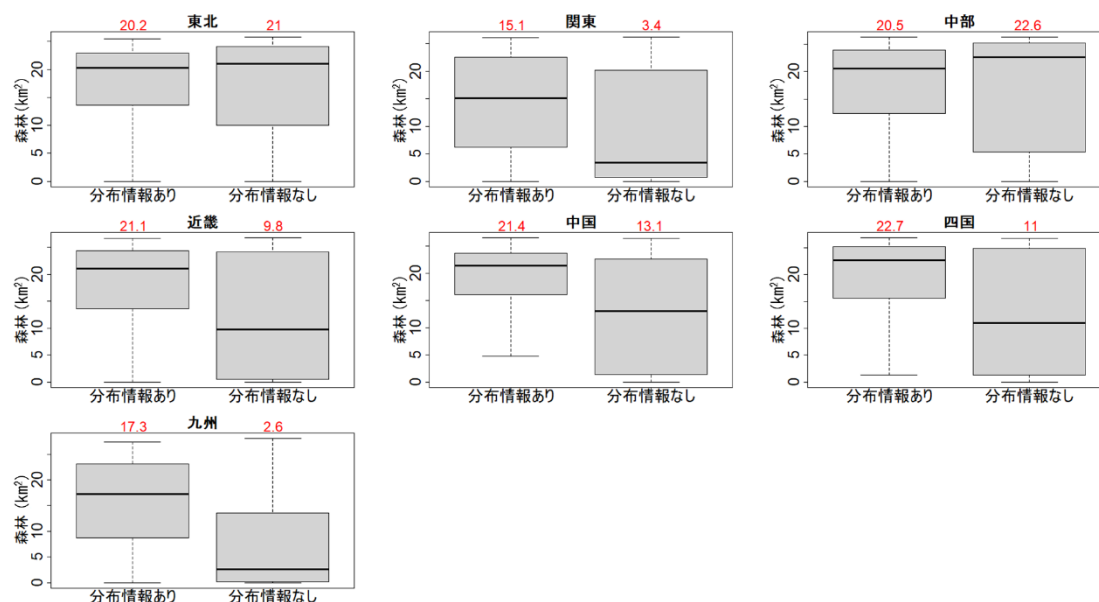


図 3-5-9 森林面積と分布情報（アナグマ）の有無との地方別の比較

※赤数値は中央値を示す

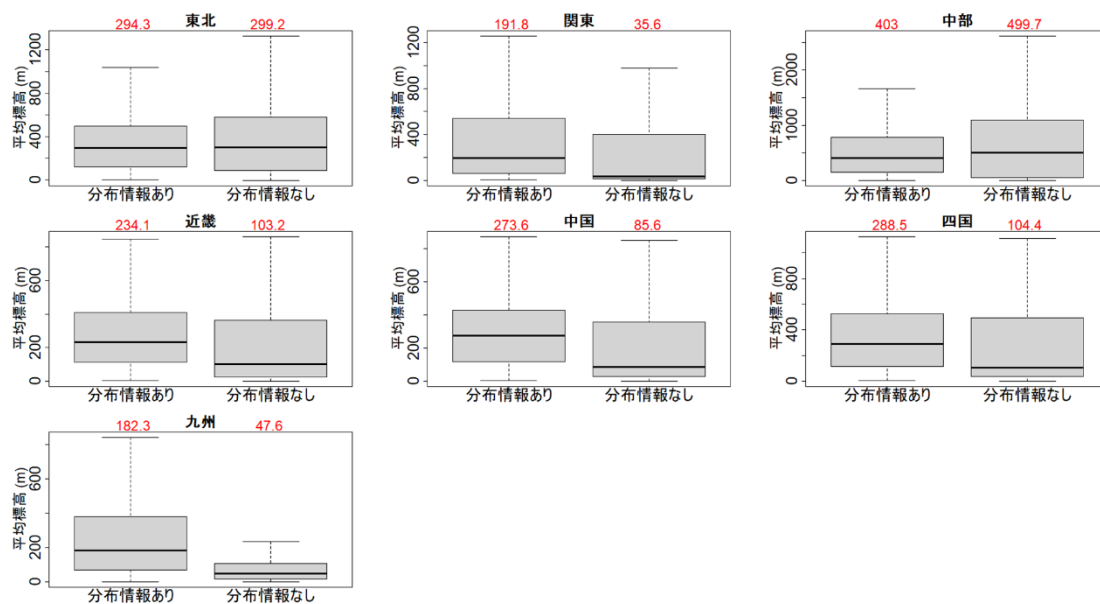


図 3-5-10 平均標高と分布情報（アナグマ）の有無との地方別の比較

※赤数値は中央値を示す

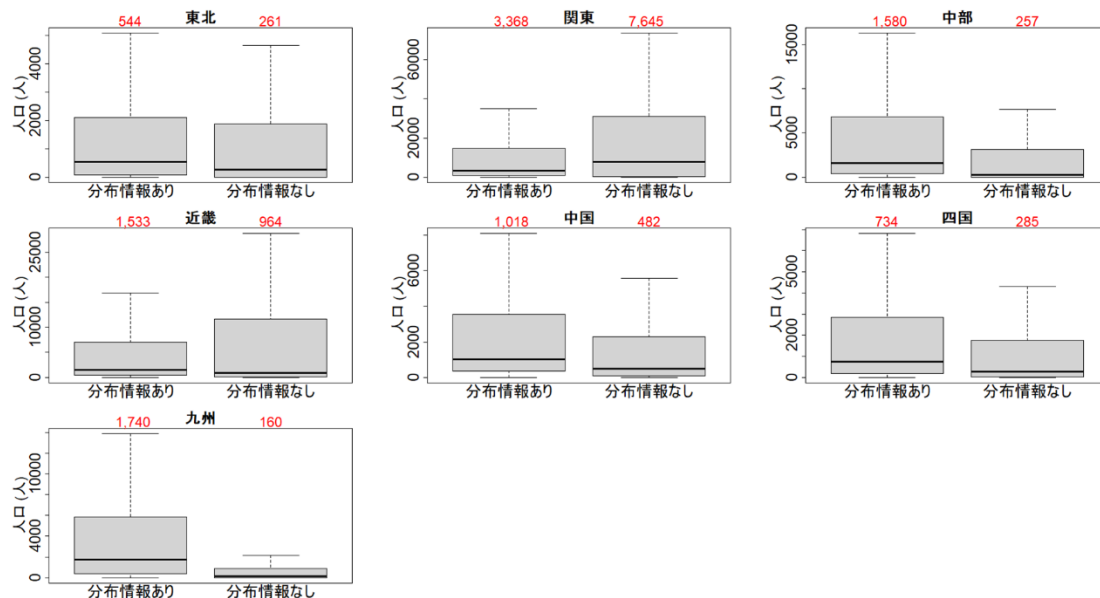


図 3-5-11 人口と分布情報（アナグマ）の有無との地方別の比較

※赤数値は中央値を示す

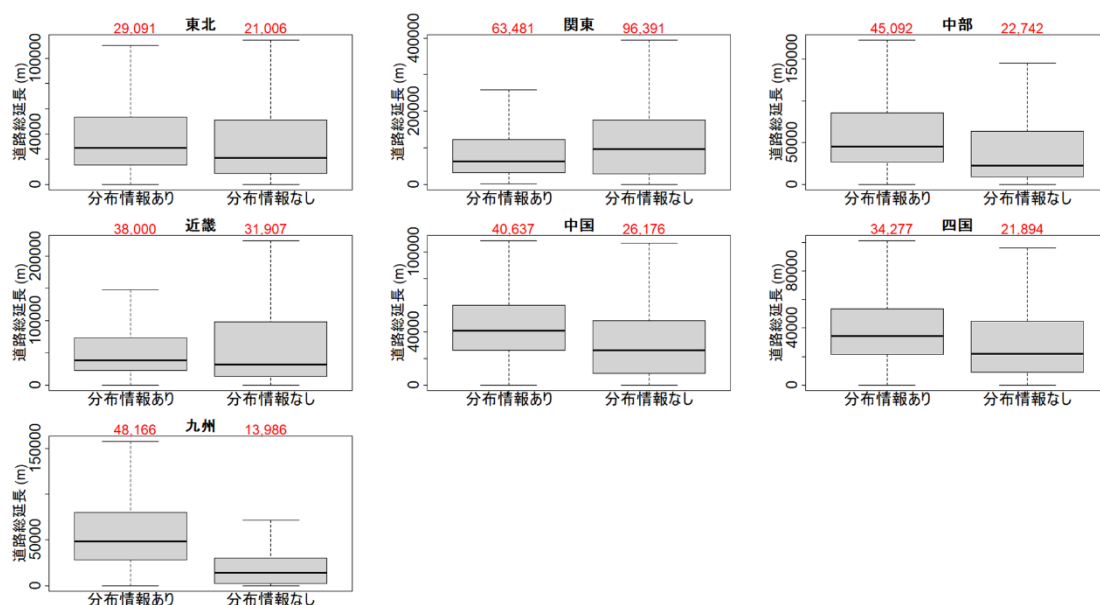


図 3-5-12 道路総延長と分布情報（アナグマ）の有無との地方別の比較

※赤数値は中央値を示す

上記をもとに分布情報が得られていない環境の特徴と分布情報が得られた割合を表 3-5-10 に示した。関東、近畿、四国、九州では森林面積が小さく平均標高が低いメッシュにおいて分布情報が得られにくい傾向がみられた。一般的に森林面積が小さく平均標高が低い環境は人の利用が盛んな地域と考えられ、実際に関東では人口と道路総延長の傾向を踏まえると、人による利用が多い都市部で情報が得られにくかった可能性がある。一方で、中国、四国、九州においては海水域の多いメッシュの傾向から、特に島嶼部で分布情報が得られにくかった可能性がある。中国、四国、九州は人口と道路総延長の傾向に関しても類似しており、島嶼部を中心とした人の利用が少ないメッシュで分布情報が得られにくかった可能性がある。一方で、島嶼部においてアナグマの生息域が限られることも分布情報が得られにくかった要因と考えられた。東北と中部においては、森林や平均標高と分布情報の有無との関係性は明瞭でなかったものの、人の活動が少ないと考えられる道路延長が短いメッシュで情報が得られにくかった。これらの点から、関東以外の地域においては具体的な環境は異なるものの、人の利用が少ないメッシュで分布情報が得られにくい傾向がみられた。

表 3-5-10 アナグマの分布情報が得られていない環境

地方	森林	平均標高	人口	道路総延長	分布割合
東北	－	－	－	短い	0.37
関東	少ない	低い	多い	長い	0.42
中部	－	－	少ない	短い	0.45
近畿	少ない	低い	－	－	0.69
中国	少ない	低い	少ない	短い	0.66
四国	少ない	低い	少ない	短い	0.46
九州	少ない	低い	少ない	短い	0.62

4) まとめと今後の課題

今回調査において生息情報は、3 種ともに森林面積の広いメッシュで多く得られた。また、人口が多く道路総延長が長いメッシュで分布情報が得られた一方で、人口が少なく道路総延長が短いメッシュで分布情報が得られにくい傾向がみられた。また、タヌキについては、関東では建物用地の多いメッシュでも分布情報が得られ、これは都市部近くにも生息可能な特性を反映したと考えられる。

今後実施される調査においては、全国を対象として複数種を同時に調査することが想定される。以下では、ここまで考察した内容を踏まえた上で、今後調査を実施する上で有効と考えられる方法について考察する。

今回の調査で得られた分布情報は、3 種共に「WIS」と「市町村」により得られた割合が多かった（表 3-2-1）。タヌキの分布情報が得られた 11,357 メッシュのうち、「WIS」は 7,318 メッシュ、「市町村」は 3,435 メッシュを、キツネの分布情報が得られた 8,556 メッシュのうち、「WIS」は 3,049 メッシュ、「市町村」は 4,208 メッシュを、アナグマの分布情報が得られた 6,592 メッシュのうち、「WIS」は 3,729 メッシュ、「市町村」は 2,399 メッシュを占めた。この 2 つの情報源は 3 種ともに最重要な情報源であり、今後の調査においても引き続き実施すべきである。

一方で、「WIS」と「市町村」で得られる分布情報は限られるため、「WIS」と「市町村」で得られた分布メッシュ以外を対象として、各情報源で得られた分布メッシュ数を表 3-5-11 に示した。全体的に「河川水辺」と「都道府県」が目立つ結果となっており、「河川水辺」はいずれの地方においても得られた分布メッシュ数が上位であった。「都道府県」は地方により差があるものの、関東や近畿において圧倒的な分布メッシュ数を得ており、他地方においても有効な情報源になる可能性があるといえる。定期的な基礎調査での情報収集を見越し、事前に都道府県等に対して基礎調査の実施予定と日頃から情報を収集すべき対象種について情報共有することも重要と考えられ、それによりロードキル情報や県民からの通報情報、他種を対象とした自動撮影カメラ調査の撮影結果をより有効的に活用するといったことも期待される。

また、メッシュの環境に左右されずに分布情報を逃さず収集するという観点からは、これまで考察を進めたように、分布情報が得られにくい環境で有効な情報源を活用することも重要である。分布情報の収集が難しい環境は多くの地方や種で共通しており、人口が少なく道路総延長が短いといった人の活動が少ないメッシュにおいて分布情報が少ない傾向がみられた。これらの環境においては、複数の種と地方で「国調査」や「専門家」から分布情報が多く得られた。「国調査」は、特に東北地方において分布メッシュ数も多く得られており（表 3-5-11）、具体的な内訳としては地方環境事務所や保護林内で得られた分布情報の割合が高かった。国が管理する国立公園をはじめとした地域には人の活動が少ないメッシュが多く含まれるため、国調査でこれらの地域を広く網羅することで、東北以外の地方においても分布メッシュ数が増えることが期待される。「専門家」は、自身の調査研究活動はもちろん、文献や研究者コミュニティ由来の情報も含め人の活動が少ないメッシュにおける分布情報を把握している可能性がある。本調査においても、特に北海道で「専門家」から多くの分布メッシュ数を得ており（表 3-5-11）、引き続き有効な情報収集手段として期待される。

表 3-5-11 市町村と WIS で得た分布メッシュ以外を対象とした情報源別の在メッシュ数

種	地方	対象メッシュ数	河川水辺	国調査	専門家	都道府県	道路	文献	その他
タヌキ	北海道	2,188	82	5	31	0	0	4	1
	東北	1,064	59	57	9	13	20	4	1
	関東	230	18	5	0	10	3	10	3
	中部	972	41	17	2	28	0	6	3
	近畿	539	27	7	12	312	0	1	0
	中国	374	13	7	12	15	0	0	0
	四国	253	2	1	21	6	0	1	0
	九州	794	18	2	49	5	25	1	0
キツネ	北海道	1,480	92	23	164	0	0	30	2
	東北	1,449	81	65	13	5	8	3	0
	関東	943	49	17	7	119	1	24	1
	中部	1,813	86	49	4	22	0	17	6
	近畿	878	39	10	13	311	0	2	1
	中国	825	27	8	0	15	0	0	0
	四国	654	4	1	22	7	0	1	0
	九州	1,784	34	7	47	126	4	0	1
アナグマ	東北	2,020	67	69	10	15	8	1	1
	関東	940	16	12	1	111	0	14	1
	中部	1,826	22	32	1	6	0	12	2
	近畿	668	10	8	17	267	0	1	1
	中国	535	7	9	0	10	0	0	0
	四国	550	1	9	31	4	0	1	0
	九州	888	5	2	22	7	5	0	0

巻末資料

1. 資料一覧
2. 市区町村アンケート式（2020 年度実施分）
3. 市区町村別種別情報取得状況
4. 「いきものログ」調査要項（2021 年度実施分）
5. 都道府県からの修正メッシュ一覧
6. 都道府県からの WIS データの報告状況（タヌキ等の捕獲位置情報）
7. 都道府県別捕獲数一覧

1. 資料一覧

国による情報

資料番号	資料名	情報源	都道府県	タスキ	キツネ	アナグマ
18-00650-001	いきものログ報告分	環境省	全国	●	●	●
18-00650-002	モニタリングサイト1000	環境省	全国	●	●	●
18-00600-001	河川水辺_生息情報入力	国土交通省	全国	●	●	●
18-00600-002	国道管理当局提供データ	国土交通省	秋田県、 埼玉県、 熊本県	●	●	●
19-00650-001	中型3種_WIS	環境省	全国	●	●	●
19-00650-002	いきものログ報告分	環境省	埼玉県	●	●	●
19-00650-003	モニタリングサイト1000	環境省	全国	●	●	●
19-00600-001	河川水辺_生息情報	国土交通省	全国	●	●	●
20-00650-001	中型3種_WIS	環境省	全国	●	●	●
20-00650-002	NPインベントリ(タスキ・キツネ・アナグマ)2019	環境省	全国	●	●	●
20-00501-001	白神山地周辺地域における中・大型哺乳類調査カメラ結果一覧	林野庁	青森県、 秋田県	●	●	●
20-00600-001	河川水辺_生息情報	国土交通省	全国	●	●	●
21-00650-001	中型3種_WIS	環境省	全国	●	●	●
21-00650-002	環境省地方環境事務所アンケート	環境省	全国	●	●	●
21-00650-003	いきものログ報告分	環境省	全国	●	●	●
21-00600-001	河川水辺_生息情報	国土交通省	全国	●	●	●

都道府県による情報

資料番号	資料名	情報源	都道府県	タヌキ	キツネ	アナグマ
19-05000-001	秋田県ツキノワグマ新モニタリング調査業務委託報告書	都道府県	秋田県	●	●	●
19-11000-001	埼玉県アライグマ個体分析調査	都道府県	埼玉県	●	●	●
19-25000-001	滋賀県H27ツキノワグマモニタリング調査報告	都道府県	滋賀県	●	●	●
19-25000-002	滋賀県H28ツキノワグマモニタリング調査報告	都道府県	滋賀県	●	●	●
19-43000-001	熊本県令和元年度アライグマ生息状況調査報告書	都道府県	熊本県	●	●	●
19-43000-002	熊本県公共関係と管理型最終処分場建設事業	都道府県	熊本県	●	●	●
19-43000-003	新環境工場等整備事業	都道府県	熊本県		●	●
19-43000-004	八代市環境センター建設事業	都道府県	熊本県	●		
19-46000-001	鹿児島県キツネ出合調査	都道府県	鹿児島県		●	
20-08000-001	【5kmメッシュ】タヌキ・キツネ・アナグマ(捕獲位置データ)	都道府県	茨城県	●	●	●
20-09000-001	H21-R1アナグマアンケート結果	都道府県	栃木県			●
20-12000-001	7.キツネ出合状況図 H16～30	都道府県	千葉県		●	
20-12000-002	9.アナグマ出合状況図 H29～30	都道府県	千葉県			●
20-12000-003	にぎわい、哺乳類2010_2020(生命のにぎわい調査団DB)	都道府県	千葉県	●	●	●
20-15000-001	H29タヌキ・ハクビシン報告書	都道府県	新潟県	●		
20-27000-001	大阪府タヌキ等データ	都道府県	大阪府	●	●	●
20-27000-002	h28_02(大阪府立環境農林水産総合研究所 研究報告)	都道府県	大阪府	●		●
20-28000-001	anagama_bunpu(農業集落鳥獣害アンケート調査結果)	都道府県	兵庫県	●	●	●
21-13000-001	疥癬収容記録	都道府県	東京都	●		●
21-16000-001	鳥獣保護区写真データ	都道府県	富山県	●	●	●
21-26000-001	R2指定管理鳥獣捕獲等事業報告書	都道府県	京都府	●	●	●
21-27000-001	大阪府立環境農林水産総合研究所	都道府県	大阪府	●	●	●
21-30000-001	鳥獣保護区内生息状況一覧	都道府県	和歌山県	●	●	●
21-37000-001	RDB調査結果(2015～2019)	都道府県	香川県	●	●	●
21-42000-001	キツネの記録(県希少種モニタリング委員提供)	都道府県	長崎県		●	
21-45000-001	R2カモシカ通常調査実施報告書	都道府県	宮崎県	●		●
21-46000-001	鹿児島県キツネ出合調査	都道府県	鹿児島県		●	

専門家による情報

資料番号	資料名	情報源	都道府県	タスキ	キツネ	アナグマ
18-90000-006	モデル地域専門家情報	専門家	秋田県、 埼玉県、 大阪府、 熊本県	●	●	●
19-90000-001	ヒアリング記録簿_阿部氏(滋賀_多賀町教育委員会)	専門家	滋賀県	●	●	●
19-90000-002	ヒアリング記録簿_阿部氏(秋田・八幡平VC)	専門家	秋田県		●	●
19-90000-003	ヒアリング記録簿_安田氏・坂田氏(熊本県)	専門家	熊本県	●	●	●
19-90000-004	ヒアリング記録簿_古谷氏(埼玉_農林総合研究セ)	専門家	埼玉県		●	●
19-90000-005	ヒアリング記録簿_高橋氏(滋賀_専門家)	専門家	滋賀県	●	●	●
19-90000-006	ヒアリング記録簿_佐々木氏(秋田県)	専門家	秋田県	●	●	
19-90000-007	鹿児島県のキツネの記録(資料船越a)	専門家	鹿児島県		●	
19-94000-001	秋田県_地域研究団体_日本野鳥の会秋田県支部	地域研究団体	秋田県	●	●	●
19-94000-002	滋賀県_地域研究団体_滋賀県自然環境研究会	地域研究団体	滋賀県	●	●	●
19-94000-003	熊本県_地域研究団体_熊本野生生物研究会	地域研究団体	熊本県	●	●	●
19-94000-004	秋田県_VC_玉川温泉	ビジターセンター	秋田県	●	●	●
19-94000-005	秋田県_VC_八幡平	ビジターセンター	秋田県	●	●	●
19-94000-006	埼玉県_VC_三峰	ビジターセンター	埼玉県	●	●	●
19-94000-007	鹿児島県_VC_高千穂	ビジターセンター	鹿児島県			●
19-94000-008	滋賀県_VC_くつき	ビジターセンター	滋賀県	●	●	●
19-94000-009	熊本県_VC_南阿蘇	ビジターセンター	熊本県	●	●	●
21-90000-001	浦口宏二氏提供データ	専門家	北海道	●	●	
21-90000-002	佐伯緑氏提供データ	専門家	全国	●		
21-90000-003	塚田英晴氏提供データ	専門家	宮城県、 群馬県、 神奈川県		●	
21-90000-004	和歌山県自然環境研究会 細田徹治氏提供データ	専門家	愛知県、 和歌山県	●	●	●
21-90000-005	四国自然科学研究センター提供データ	専門家	四国	●	●	●
21-90000-006	北林牧氏提供データ	専門家	宮城県			●

その他による情報

資料番号	資料名	情報源	都道府県	タスキ	キツネ	アナグマ
18-99997-001	GBIF_タスキ	GBIF	全国	●		
18-99998-001	GBIF_キツネ	GBIF	全国		●	
18-99999-001	GBIF_アナグマ	GBIF	全国			●
18-99997-002	謎の動物、正体は… 横浜で撮影 皮膚病にかかった野生のタスキ	WEB	神奈川県	●		
18-99997-003	東京 なぜタスキが…都会の湾岸エリアで保護 後ろ足が	WEB	東京都	●		
18-99997-004	島根 狩猟免許50年で「初めて」、白いタスキ捕獲	WEB	島根県	●		
18-99997-005	青森県南部町がタスキに化かされる「クマだ」と思い込んでしまった」	WEB	青森県	●		
18-99997-006	鉄道事故;JR 特急しなの、タスキはね遅れー愛知・春日井	WEB	愛知県	●		
18-99997-007	タスキひかれる？JR関西線で異音 6500 人に影響	WEB	大阪府	●		
18-99997-008	頭が抜けない！タスキ救出劇／高松	WEB	香川県	●		
18-99997-009	兼六園に子タスキ 保護も箱食いちざり脱出	WEB	石川県	●		
18-99997-010	トキ幼鳥に天敵タスキ…数メートルまで接近	WEB	新潟県	●		
18-99997-011	＜保護動物＞チコは子犬？子熊？…実はタスキでした	WEB	島根県	●		
18-99997-012	子タスキ「ウロウロ」、神奈川県神奈川区の住宅街で保護/横浜	WEB	横浜市	●		
18-99997-013	着陸機、タスキと接触 滑走路を閉鎖ー成田空港	WEB	千葉県	●		
18-99997-014	東京・恵比寿にタスキ出現 体長約50センチ	WEB	東京都	●		
18-99997-015	高松「屋島寺」周辺で野生の子タスキが出没、人気者に	WEB	香川県	●		
18-99997-016	加須でヨシ焼き、タスキも避難 埼玉県	WEB	埼玉県	●		
18-99997-017	命からがら火の海脱出 春迎える行事でタスキ1匹ご難	WEB	山口県	●		
18-99997-018	緑ヶ丘公園展望台周辺にタスキの親子	WEB	北海道	●		
18-99997-019	JR逢隈駅でポイント故障 タスキ挟まる	WEB	宮城県	●		
18-99997-020	タスキと衝突、東北線2本運休	WEB	宮城県	●		
18-99998-002	野生キツネ、餌やらないで！宮城・大和で相次ぎ目撃、人に慣れ本能失いかねず	WEB	宮城県		●	

18-99998-003	北海道 斜里町 黒いキツネ 撮影される	WEB	北海道		●	
18-99998-004	岐阜 ホントギツネ、子育て中 岐阜市の伊自良川河川敷	WEB	岐阜県		●	
18-99998-005	熊本 キツネ上天草で「初確認」	WEB	熊本県		●	
18-99998-013	<キツネ>空き家の床下に親子 茨城・坂東	WEB	茨城県		●	
18-99999-002	鹿児島空港にアナグマ…1時間の大捕物	WEB	鹿児島県			●
18-99999-008	大阪)民家でアナグマ寝てました 府準絶滅危惧種	WEB	大阪府			●
18-99997-021	アナグマとタヌキが利用する巣穴付近における行動の違い、 と時間的ニッチ分化	文献	山梨県	●		
18-99997-022	東京都府中市の微少緑地における食肉目動物の生息状況	文献	東京都	●		
18-99997-023	Depredation fo concentrated feed by wild mammals at a stock farm in Japan	文献	群馬県	●		
18-99997-024	動物を育て、人を育てる有峰の森	文献	富山県	●		
18-99998-006	アナグマとタヌキが利用する巣穴付近における行動の違い、 と時間的ニッチ分化	文献	山梨県		●	
18-99998-007	Environmental factors for efficiently baiting red foxes in agricultural areas in eastern Hokkaido,Japan	文献	北海道		●	
18-99998-008	Non-invasive genetic identification of the red fox in the Shiretoko National Park, eastern Hokkaido, Japan	文献	北海道		●	
18-99998-009	Depredation fo concentrated feed by wild mammals at a stock farm in Japan	文献	群馬県		●	
18-99998-010	Preferences for specific food species of the red fox in Abashiri, eastern Hokkaido	文献	北海道		●	
18-99998-011	Fox bait consumption and camera trapping in agricultural areas in eastern Hokkaido, Japan	文献	北海道		●	
18-99998-012	動物を育て、人を育てる有峰の森	文献	富山県		●	
18-99999-003	アナグマとタヌキが利用する巣穴付近における行動の違い、 と時間的ニッチ分化	文献	山梨県			●
18-99999-004	東京都府中市の微少緑地における食肉目動物の生息状況	文献	東京都			●
18-99999-005	Indirect effects of sika deer on Japanese badgers	文献	栃木県			●
18-99999-006	Depredation fo concentrated feed by wild mammals at a stock farm in Japan	文献	群馬県			●
18-99999-007	動物を育て、人を育てる有峰の森	文献	富山県			●
19-99998-001	山の野生鳥獣目撃レポート	WEB	全国	●		●
19-99997-001	白い子猫かと思ったらタヌキだった	WEB	福井県	●		
19-99997-002	<大阪・豊中>住宅街近くにタヌキ生息 都市環境に順応	WEB	大阪府	●		

19-99997-003	広島 “かみつきタヌキ”捕獲 公園で男児ら2人けが	WEB	広島県	●		
19-99999-001	助けたい、でも有害鳥獣 側溝に弱ったアナグマ 発見の男性「何とか元気に」	WEB	福岡県			●
19-99999-002	岡山で「変わりジビエ鍋3種食べ比べの会」 イノシシ鍋・シカ鍋・アナグマ鍋	WEB	岡山県			●
19-99999-003	磐田の住宅でアナグマ3匹捕獲 住民に注意呼びかけ	WEB	静岡県			●
19-99999-004	アナグマ、カモの被害急増 被害額3倍超 スイカ食い荒らしも 昨年度の熊本県内	WEB	熊本県			●
19-92000-001	市町村アンケート	市町村アンケート	秋田県、 埼玉県、 滋賀県、 熊本県、 鹿児島県	●	●	●
19-93000-001	ナチュラルアイ	文献	埼玉県	●	●	●
19-93000-002	三宅・佐々木 2011	文献	静岡県	●	●	
19-93000-003	関根ほか、2011	文献	兵庫県	●	●	
19-93000-004	中坪・中坪 2012	文献	広島県		●	
19-93000-005	北垣ほか、2012	文献	山梨県	●	●	●
19-93000-006	大串 2012	文献	石川県	●	●	
19-93000-007	芦原 2013	文献	鹿児島県	●		●
19-93000-008	佐々木ほか、2013	文献	福岡県	●		●
19-93000-009	若山・田中 2013	文献	奈良県	●		●
19-93000-010	鈴木 2014	文献	神奈川県	●		●
19-93000-011	佐々木 2014	文献	福岡県	●		●
19-93000-012	佐藤ほか、2014	文献	北海道		●	
19-93000-013	山本 2014	文献	三重県	●		●
19-93000-014	小林・林田 2014	文献	山形県	●	●	
19-93000-015	大野ほか、2014	文献	鹿児島県	●		●
19-93000-016	鳥羽 2014	文献	宮城県	●	●	●
19-93000-017	飯島 2014	文献	山梨県	●	●	
19-93000-018	林・井上 2014	文献	東京都	●	●	●
19-93000-019	Ishida et al. 2014	文献	北海道		●	

19-93000-020	Seki et al. 2014	文献	栃木県				●
19-93000-021	柳川 2015	文献	北海道			●	
19-93000-022	佐藤・正木 2015	文献	長野県		●	●	
19-93000-023	鮫島ほか 2015	文献	鹿児島県		●		●
19-93000-024	船越ほか 2015	文献	鹿児島県		●		●
19-93000-025	島田・落合 2016	文献	山梨県		●	●	●
19-93000-026	藤井ほか 2016	文献	愛知県		●	●	●
19-93000-027	高崎ほか 2016	文献	東京都		●		
19-93000-028	高田 2016	文献	静岡県		●		●
19-93000-029	山下 2016	文献	北海道		●	●	
19-93000-030	姉崎 2016	文献	群馬県		●		
19-93000-031	小谷ほか 2016	文献	石川県		●	●	●
19-93000-032	小牧ほか 2016	文献	高知県				●
19-93000-033	西澤ほか 2016	文献	宮城県		●	●	
19-93000-034	中村 2016	文献	埼玉県		●		
19-93000-035	法眼ほか 2017	文献	和歌山県		●	●	●
19-93000-036	高槻 2017	文献	東京都		●		
19-93000-037	佐藤ほか 2017	文献	北海道			●	
19-93000-038	水谷 2017	文献	長野県		●	●	
19-93000-039	石川 2017	文献	静岡県		●	●	●
19-93000-040	長光・金子 2017	文献	東京都		●		●
19-93000-041	白井 2017	文献	東京都		●		
19-93000-042	尾崎ほか 2017	文献	兵庫県		●		
19-93000-043	平川ほか 2017	文献	千葉県		●		●
19-93000-044	關・鈴木 2018	文献	神奈川県		●	●	●
19-93000-045	吉岡ほか 2018	文献	北海道		●	●	
19-93000-046	橋本・森 2018	文献	三重県		●	●	●
19-93000-047	高槻ほか 2018	文献	宮城県		●		
19-93000-048	斎藤ほか 2018	文献	東京都		●		
19-93000-049	水谷・黒江 2018	文献	長野県		●	●	

19-93000-050	水谷・三ツ橋 2018	文献	長野県	●	●	●	
19-93000-051	早稲田ほか 2018	文献	高知県	●	●	●	
19-93000-052	島田ほか 2018	文献	東京都	●			
19-93000-053	飯島ほか 2018	文献	東京都	●			
19-93000-054	福田ほか 2018	文献	静岡県	●	●	●	
19-93000-055	前畑 2019	文献	兵庫県	●	●	●	
19-93000-056	馬谷原ほか 2019	文献	神奈川県				●
19-93000-057	久本ほか 2019	文献	千葉県				●
19-93000-058	近藤 2019	文献	栃木県	●	●	●	●
19-93000-059	佐野ほか 2019	文献	神奈川県	●	●	●	●
19-93000-060	演習林 = Miscellaneous Information, the University of Tokyo Forests	文献	埼玉県	●	●	●	●
20-92000-001	市町村アンケート	市町村アンケート	42都道府県	●	●	●	●
20-93000-001	野村ほか 2020	文献	埼玉県	●	●	●	
20-93000-002	荒井・森 2020	文献	山梨県				●
20-93000-003	白井 2020	文献	東京都	●			
20-93000-004	島田・岡本 2020	文献	東京都	●			●
20-93000-005	中島ほか 2020	文献	群馬県	●	●	●	●
20-93000-006	水谷 2020a	文献	長野県	●	●	●	●
20-93000-007	水谷 2020b	文献	長野県	●	●	●	●
20-93000-008	崎山・辻野 2020	文献	奈良県	●	●	●	●
20-93000-009	高槻ほか 2020	文献	東京都	●			
20-93000-010	Hijkata et al. 2020	文献	群馬県				●
20-93000-011	富山市科学館2015	文献	富山県	●	●	●	
20-93000-012	富山市科学館2016	文献	富山県	●			
20-93000-013	富山市科学館2017	文献	富山県	●	●	●	
20-93000-014	富山市科学館2019	文献	富山県	●	●	●	●
20-93000-015	市川市自然博物館	文献	千葉県	●			

20-93000-016	群馬県立自然史博物館	文献	群馬県	●	●	●
20-93000-017	三瓶自然館	文献	島根県	●		●
20-93000-018	石川県立自然史資料館	文献	石川県	●	●	●
20-93000-019	福井市自然史博物館2015	文献	福井県	●		●
20-93000-020	福井市自然史博物館2016	文献	福井県		●	
20-93000-021	鹿児島大学演習林研究報告2013	文献	鹿児島県	●		●
20-93000-022	能美市立博物館2012	文献	石川県	●	●	●
21-92000-001	市町村アンケート	市町村アンケート	全国	●	●	●
21-93000-001	山口県立山口博物館研究報告第47号	文献	山口県	●		●

2. 市区町村アンケート一式（2020 年度実施分）

(1) 北海道・沖縄県以外

環生多発第 2007301 号
令和 2 年 7 月 30 日

市区町村
鳥獣保護管理担当部局 御中

環境省自然環境局
生物多様性センター
(公印省略)

中型哺乳類 3 種（タヌキ、キツネ、アナグマ）の分布調査について
(協力依頼)

自然環境行政の推進につきまして、平素より格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
当センターでは、これまで自然環境保全基礎調査としまして、中大型哺乳類、鳥類の分布状況調査等を実施してきました。

タヌキ・キツネ・アナグマの 3 種につきましては、平成 16 年度以降、全国的な分布調査が実施されていませんでしたが、昨年度、一部の県において、鳥獣統計等の既存情報をもとに市町村アンケートや聞き取り調査等による試行的な分布調査を実施したところです。

今年度としては、全国規模で環境省「捕獲情報収集システム」や、都道府県・有識者ヒアリング、市町村アンケート、既存文献調査等により、分布情報の収集・整理を行い、整理した情報を分析・評価し、来年度、必要に応じて補完調査等を実施した上で、分布図をとりまとめ、公開したいと考えております。

つきましては、別紙アンケートにより貴市区町村内における上記 3 種に係る分布情報のご提供について、ご協力いただきたくお願い申し上げます。ご提供いただいた情報は、本業務においてのみ使用し、環境省情報セキュリティポリシーに基づき、適切に管理いたします。

このような社会状況の中、大変お手数をおかけしますが、本調査につきまして、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本調査について、ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせ下さい。

環境省情報セキュリティポリシー

<https://www.env.go.jp/other/gyosei-johoka/sec-policy/full.pdf>

(事務局・請負業者)

一般財団法人自然環境研究センター 担当：三浦、光岡、荒谷、浅野

〒130-8606 東京都墨田区江東橋 3-3-7

TEL：03-6659-6331 FAX：03-6659-6333

E-mail：tmiura@jwrc.or.jp kmitsuoka@jwrc.or.jp

taratani@jwrc.or.jp masano@jwrc.or.jp

(業務名) 令和 2 年度中大型哺乳類分布調査業務

(2) 北海道

環 生 多 発 第 2007301 号
令 和 2 年 7 月 30 日

北海道内 各市町村
鳥獣保護管理担当部局 御中

環境省自然環境局
生物多様性センター
(公 印 省 略)

中型哺乳類 3 種 (タヌキ、キツネ、アナグマ) の分布調査について (協力依頼)

自然環境行政の推進につきまして、平素より格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
当センターでは、これまで自然環境保全基礎調査としまして、中大型哺乳類、鳥類の分布状況調査等を実施してきました。

タヌキ・キツネ・アナグマの 3 種につきましては、平成 16 年度以降、全国的な分布調査が実施されていませんでしたが、昨年度、一部の県において、鳥獣統計等の既存情報をもとに市町村アンケートや聞き取り調査等による試行的な分布調査を実施したところです。

今年度は、全国規模で環境省「捕獲情報収集システム」や、都道府県・有識者ヒアリング、市町村アンケート、既存文献調査等により、分布情報の収集・整理を行い、整理した情報を分析・評価し、来年度、必要に応じて補完調査等を実施した上で、分布図をとりまとめ、公開したいと考えております。

北海道においては、これまでアナグマの野生個体の生息は確認されておきませんが、ペット等で飼育されていた個体が逃げ出した可能性等も考えられますので、確認のため調査対象に含めさせていただいております。つきましては、別紙アンケートにより貴市区町村内における上記 3 種に係る分布情報のご提供について、ご協力いただきたくお願い申し上げます。ご提供いただいた情報は、本業務においてのみ使用し、環境省情報セキュリティポリシーに基づき、適切に管理いたします。

このような社会状況の中、大変お手数をおかけしますが、本調査につきまして、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本調査について、ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせ下さい。

環境省情報セキュリティポリシー

<https://www.env.go.jp/other/gyosei-johoka/sec-policy/full.pdf>

(事務局・請負業者)

一般財団法人自然環境研究センター 担当：三浦、光岡、荒谷、浅野
〒130-8606 東京都墨田区江東橋 3-3-7

TEL：03-6659-6331 FAX：03-6659-6333

E-mail：tmiura@jwrc.or.jp kmitsuoka@jwrc.or.jp

taratani@jwrc.or.jp masano@jwrc.or.jp

(業務名) 令和 2 年度中大型哺乳類分布調査業務

(3) 沖縄県

環 生 多 発 第 2007301 号
令 和 2 年 7 月 30 日

沖縄県内 各市町村
鳥獣保護管理担当部局 御中

環境省自然環境局
生物多様性センター
(公 印 省 略)

中型哺乳類 3 種 (タヌキ、キツネ、アナグマ) の分布調査について
(協力依頼)

自然環境行政の推進につきまして、平素より格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当センターでは、これまで自然環境保全基礎調査としまして、中大型哺乳類、鳥類の分布状況調査等を実施してきました。

タヌキ・キツネ・アナグマの 3 種につきましては、平成 16 年度以降、全国的な分布調査が実施されていませんでしたが、昨年度、一部の県において、鳥獣統計等の既存情報をもとに市町村アンケートや聞き取り調査等による試行的な分布調査を実施したところです。

今年度は、全国規模で環境省「捕獲情報収集システム」や、都道府県・有識者ヒアリング、市町村アンケート、既存文献調査等により、分布情報の収集・整理を行い、整理した情報を分析・評価し、来年度、必要に応じて補完調査等を実施した上で、分布図をとりまとめ、公開したいと考えております。

沖縄県においては、これまでタヌキ・キツネ・アナグマの野生個体の生息は確認されておりませんが、ペット等で飼育されていた個体が逃げ出したりした可能性等も考えられますので、確認のため調査対象に含めさせていただいております。つきましては、別紙アンケートにより貴市区町村内における上記 3 種に係る分布情報のご提供について、ご協力いただきたくお願い申し上げます。ご提供いただいた情報は、本業務においてのみ使用し、環境省情報セキュリティポリシーに基づき、適切に管理いたします。

このような社会状況の中、大変お手数をおかけしますが、本調査につきまして、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本調査について、ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせ下さい。

環境省情報セキュリティポリシー

<https://www.env.go.jp/other/gyosei-johoka/sec-policy/full.pdf>

(事務局・請負業者)

一般財団法人自然環境研究センター 担当：三浦、光岡、荒谷、浅野
〒130-8606 東京都墨田区江東橋 3-3-7

TEL：03-6659-6331 FAX：03-6659-6333

E-mail：tmiura@jwrc.or.jp kmitsuoka@jwrc.or.jp

taratani@jwrc.or.jp masano@jwrc.or.jp

(業務名) 令和 2 年度中大型哺乳類分布調査業務

タヌキ・キツネ・アナグマに関する 分布調査へのご協力について

一般財団法人自然環境研究センター

平素よりお世話になっております。タヌキ・キツネ・アナグマ（以下、「タヌキ等3種」といいます）について、全国分布図を作成するため、今年度、環境省生物多様性センターからの業務を受託し、市区町村を対象にアンケート調査を実施いたします。

この分布調査は、平成22年度以降のタヌキ等3種の分布状況を把握し、今後の鳥獣行政に活用するための基礎資料とすることを目的としています。

本調査では、貴市区町村におけるタヌキ等3種についての捕獲（錯誤捕獲含む）や死体（ロードキルなど）の確認情報、目撃情報、傷病鳥獣の記録、痕跡情報等を5kmメッシュ単位（あるいはより詳細な位置情報等）で収集しますので、貴市区町村内で対象種に関する情報をお持ちの方（担当部局、鳥獣保護管理員、狩猟者、森林組合等）へも可能な範囲で情報収集いただきご回答をいただきたく、よろしくお願い致します。

また、追加の分布情報や提供可能な既存情報の有無に関わらずご回答をお願い致します。

I. 分布調査の回答手順

1. 封筒内の資料をご確認下さい

- この封筒には、以下を同封していますので内容をご確認下さい。不足等ございましたら、文末の担当者へご連絡をお願いします。

- ①調査協力依頼文書
- ②タヌキ・キツネ・アナグマに関する分布調査へのご協力について（この用紙です）
- ③タヌキ等3種分布調査 種別回答用紙
- ④既存の分布情報を記載した種別地図（タヌキ等3種既存分布図）
平成22年度以降、環境省が集約している捕獲等位置情報、河川水辺の国勢調査結果等で確認されたタヌキ等3種の分布情報を5kmメッシュ単位で整理して示した地図です。
- ⑤タヌキ等3種の第6回自然環境保全基礎調査結果による分布図
- ⑥調査対象種の識別点
- ⑦返信用封筒

2. 回答方法

- ・同封の「既存の分布情報を記載した地図」を利用して、回答用紙に分布情報をご記入願います。手順についてはⅡ. 回答方法の説明をご確認ください。
- ・回答は、返信用封筒を用いて郵送でご回答いただくほか、メール、ファクスでの回答も受け付けます。メールでご回答いただく場合は、回答用紙と地図の電子ファイルをお送りしますので、下記担当者へご連絡ください。

※既存資料によりご回答いただく場合は、下記担当者へご連絡ください。

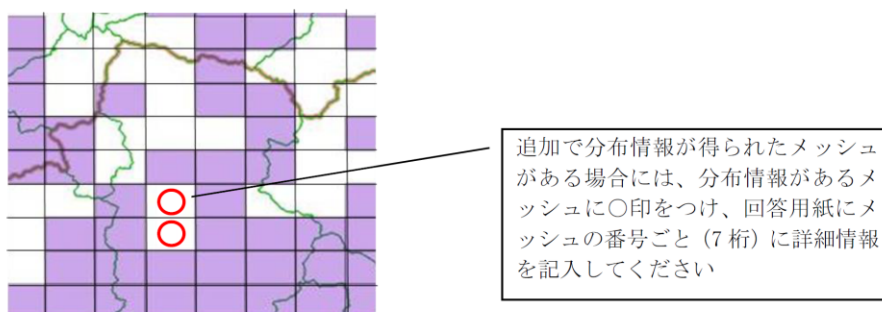
II. 回答方法の説明

- 貴市区町村におけるタヌキ等3種の捕獲（錯誤捕獲含む）や死体（ロードキルなど）の確認情報、目撃情報、傷病鳥獣の記録、痕跡情報等の分布状況について、ご回答下さい。
- 調査は平成22年度以降、平成30年度までの分布情報を対象とします。
- タヌキ等3種の追加情報がない場合も、その旨をご回答ください。地図の返送は不要です。

- 同封の地図に5kmメッシュ毎に集計した捕獲位置情報や河川水辺の国勢調査結果等、既存の分布情報を示しております。新たに追加する分布情報をご回答ください。なお、追加の分布情報が無い場合は、その旨を回答用紙にご記入いただき、回答用紙のみご返送ください。

- ・「既存の分布情報を記載した地図」には、以下にご留意の上ご記入ください。
 - ✓既に既存の分布情報が得られた着色のあるメッシュ（捕獲・カメラ・死体等による分布確認メッシュ）になっている場所以外についてご回答下さい。
 - ✓追加の分布情報がある場合は、分布情報があるメッシュに○印をつけ、回答用紙にメッシュの番号ごと（7桁）に詳細情報をご記入下さい。（図 記入例参照）

図 記入例



III. 回答期限

- ・令和2年9月30日（水）までに郵送またはメール回答下さいますようお願いいたします。
- ・郵送の場合、同封の返信用封筒に回答用紙と地図を入れ、ポストへご投函下さい。同封の封筒をご利用の場合、切手の貼付けは不要です。
- ・メール回答の場合、下記担当者（3名）までご提出ください。

IV. ご回答頂いた内容に関してお問い合わせをさせて頂くことがございますが、ご協力をお願い致します。

- ・本アンケートでお聞きした個人情報（回答者含む）については、本調査以外では使用いたしません。

ご不明な点等がありましたら、下記の担当者までご連絡ください。

ご協力のほど、よろしくお願い致します。

一般財団法人 自然環境研究センター
 （担当：光岡、荒谷、浅野）
 〒130-8606 東京都墨田区江東橋 3-3-7
 Tel: 03-6659-6331 Fax: 03-6659-6333
 E-mail:kmitsuoka@jwrc.or.jp
 E-mail:taratani@jwrc.or.jp
 E-mail:masano@jwrc.or.jp

市区町村アンケート調査（タヌキ生息情報）
回答用紙

2. タヌキの追加の分布情報（詳細）
- ・対象期間は、平成22年度以降、平成30年度までです。
 - ・分布情報を追加するメッシュの番号ごとに1行ずつ、記入してください。
 - ・メッシュ番号は、地図の各メッシュに書かれている番号を記入してください。

No.	メッシュ番号	確認年	タヌキの生息について	生息の根拠について
記入例	5740304	☒ 全年	☒ 生息している	☒ 目撃
		☐ 平成22年 ☐ 平成27年 ☐ 平成28年 ☐ 平成29年 ☐ 平成30年 ☐ 平成22年以降(年不明)	☐ 生息していると思われる	☒ 捕獲(錯誤捕獲含む) ☐ 死体の発見(ロードキル等) ☒ 痕跡(糞・足跡) ☐ 他の生息地と森林が連続 ☐ 伝聞情報
1		☐ 全年 ☐ 平成26年 ☐ 平成22年 ☐ 平成27年 ☐ 平成28年 ☐ 平成29年 ☐ 平成30年 ☐ 平成22年以降(年不明)	☐ 生息している ☐ 生息していると思われる	☐ 目撃 ☐ 捕獲(錯誤捕獲含む) ☐ 死体の発見(ロードキル等) ☐ 痕跡(糞・足跡) ☐ 他の生息地と森林が連続 ☐ 伝聞情報
2		☐ 全年 ☐ 平成26年 ☐ 平成22年 ☐ 平成27年 ☐ 平成28年 ☐ 平成29年 ☐ 平成30年 ☐ 平成22年以降(年不明)	☐ 生息している ☐ 生息していると思われる	☐ 目撃 ☐ 捕獲(錯誤捕獲含む) ☐ 死体の発見(ロードキル等) ☐ 痕跡(糞・足跡) ☐ 他の生息地と森林が連続 ☐ 伝聞情報
3		☐ 全年 ☐ 平成26年 ☐ 平成22年 ☐ 平成27年 ☐ 平成28年 ☐ 平成29年 ☐ 平成30年 ☐ 平成22年以降(年不明)	☐ 生息している ☐ 生息していると思われる	☐ 目撃 ☐ 捕獲(錯誤捕獲含む) ☐ 死体の発見(ロードキル等) ☐ 痕跡(糞・足跡) ☐ 他の生息地と森林が連続 ☐ 伝聞情報
4		☐ 全年 ☐ 平成26年 ☐ 平成22年 ☐ 平成27年 ☐ 平成28年 ☐ 平成29年 ☐ 平成30年 ☐ 平成22年以降(年不明)	☐ 生息している ☐ 生息していると思われる	☐ 目撃 ☐ 捕獲(錯誤捕獲含む) ☐ 死体の発見(ロードキル等) ☐ 痕跡(糞・足跡) ☐ 他の生息地と森林が連続 ☐ 伝聞情報
5		☐ 全年 ☐ 平成26年 ☐ 平成22年 ☐ 平成27年 ☐ 平成28年 ☐ 平成29年 ☐ 平成30年 ☐ 平成22年以降(年不明)	☐ 生息している ☐ 生息していると思われる	☐ 目撃 ☐ 捕獲(錯誤捕獲含む) ☐ 死体の発見(ロードキル等) ☐ 痕跡(糞・足跡) ☐ 他の生息地と森林が連続 ☐ 伝聞情報

※ 欄が不足する場合には、この用紙をコピーしてご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

市区町村アンケート調査（タヌキ等3種）
回答用紙（共通）

ご担当の市区町村での生息確認状況について、ご回答ください。

1. ご担当の市区町村について	
都道府県:	市区町村名:
担当課:	ご担当者:
電話番号:	E-mail:
記入日:	令和2年 月 日

2. タヌキの追加の分布情報
- 平成22年度以降の情報で、同封の地図(タヌキ既存分布図)に追加する、新たな分布情報はありますか？
- タヌキの新たな分布情報は
- ☐ ない
- ☐ ある
- ある場合はタヌキ既存分布図の追加するメッシュに○印をつけ、タヌキの生息情報回答用紙に詳細をご回答ください
3. キツネの追加の分布情報
- 平成22年度以降の情報で、同封の地図(キツネ既存分布図)に追加する、新たな分布情報はありますか？
- キツネの新たな分布情報は
- ☐ ない
- ☐ ある
- ある場合はキツネ既存分布図の追加するメッシュに○印をつけ、キツネの生息情報回答用紙に詳細をご回答ください
4. アナグマの追加の分布情報
- 平成22年度以降の情報で、同封の地図(アナグマ既存分布図)に追加する、新たな分布情報はありますか？
- アナグマの新たな分布情報は
- ☐ ない
- ☐ ある
- ある場合はアナグマ既存分布図の追加するメッシュに○印をつけ、アナグマの生息情報回答用紙に詳細をご回答ください
5. タヌキ等3種の分布情報提供者について
- タヌキ等3種の生息情報について、今回、聞き取り等された団体、個人がおられましたらお知らせください。（例：他部局、鳥獣保護管理員、狩猟者、森林組合、JFA、地域の専門家、研究団体、自然保護団体等）。

問い合わせ先：自然環境研究センター 光岡、荒谷、淺野
メールアドレス knitsuko@jwrc.or.jp, taratani@jwrc.or.jp, masano@jwrc.or.jp
電話：03-6659-6331、FAX：03-6659-6333

市区町村アンケート調査（アナグマ生息情報）

回答用紙

4. アナグマの追加の分布情報（詳細）
- ・対象期間は、平成22年度以降、平成30年度までです。
 - ・分布情報を追加するメッシュの番号ごとに1行ずつ、記入してください。
 - ・メッシュ番号は、地図の各メッシュに書かれている番号を記入してください。

No.	メッシュ番号	確認年	アナグマの生息について	生息の根拠について
記入例	5740304	☒ 全年 ☐ 平成22年 ☐ 平成27年 ☐ 平成23年 ☐ 平成28年 ☐ 平成24年 ☐ 平成29年 ☐ 平成25年 ☐ 平成30年 ☐ 平成22年以降(年不明)	☒ 生息している ☐ 生息していると思われる	☒ 目撃 ☒ 捕獲(細説捕獲含む) ☐ 死体の発見(ロードキル等) ☒ 痕跡(糞・足跡) ☐ 他の生息地と森林が連続 ☐ 伝聞情報
1		☐ 全年 ☐ 平成22年 ☐ 平成27年 ☐ 平成23年 ☐ 平成28年 ☐ 平成24年 ☐ 平成29年 ☐ 平成25年 ☐ 平成30年 ☐ 平成22年以降(年不明)	☐ 生息している ☐ 生息していると思われる	☐ 目撃 ☐ 捕獲(細説捕獲含む) ☐ 死体の発見(ロードキル等) ☐ 痕跡(糞・足跡) ☐ 他の生息地と森林が連続 ☐ 伝聞情報
2		☐ 全年 ☐ 平成22年 ☐ 平成27年 ☐ 平成23年 ☐ 平成28年 ☐ 平成24年 ☐ 平成29年 ☐ 平成25年 ☐ 平成30年 ☐ 平成22年以降(年不明)	☐ 生息している ☐ 生息していると思われる	☐ 目撃 ☐ 捕獲(細説捕獲含む) ☐ 死体の発見(ロードキル等) ☐ 痕跡(糞・足跡) ☐ 他の生息地と森林が連続 ☐ 伝聞情報
3		☐ 全年 ☐ 平成22年 ☐ 平成27年 ☐ 平成23年 ☐ 平成28年 ☐ 平成24年 ☐ 平成29年 ☐ 平成25年 ☐ 平成30年 ☐ 平成22年以降(年不明)	☐ 生息している ☐ 生息していると思われる	☐ 目撃 ☐ 捕獲(細説捕獲含む) ☐ 死体の発見(ロードキル等) ☐ 痕跡(糞・足跡) ☐ 他の生息地と森林が連続 ☐ 伝聞情報
4		☐ 全年 ☐ 平成22年 ☐ 平成27年 ☐ 平成23年 ☐ 平成28年 ☐ 平成24年 ☐ 平成29年 ☐ 平成25年 ☐ 平成30年 ☐ 平成22年以降(年不明)	☐ 生息している ☐ 生息していると思われる	☐ 目撃 ☐ 捕獲(細説捕獲含む) ☐ 死体の発見(ロードキル等) ☐ 痕跡(糞・足跡) ☐ 他の生息地と森林が連続 ☐ 伝聞情報
5		☐ 全年 ☐ 平成22年 ☐ 平成27年 ☐ 平成23年 ☐ 平成28年 ☐ 平成24年 ☐ 平成29年 ☐ 平成25年 ☐ 平成30年 ☐ 平成22年以降(年不明)	☐ 生息している ☐ 生息していると思われる	☐ 目撃 ☐ 捕獲(細説捕獲含む) ☐ 死体の発見(ロードキル等) ☐ 痕跡(糞・足跡) ☐ 他の生息地と森林が連続 ☐ 伝聞情報

※ 欄が不足する場合には、この用紙をコピーしてご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

市区町村アンケート調査（キツネ生息情報）

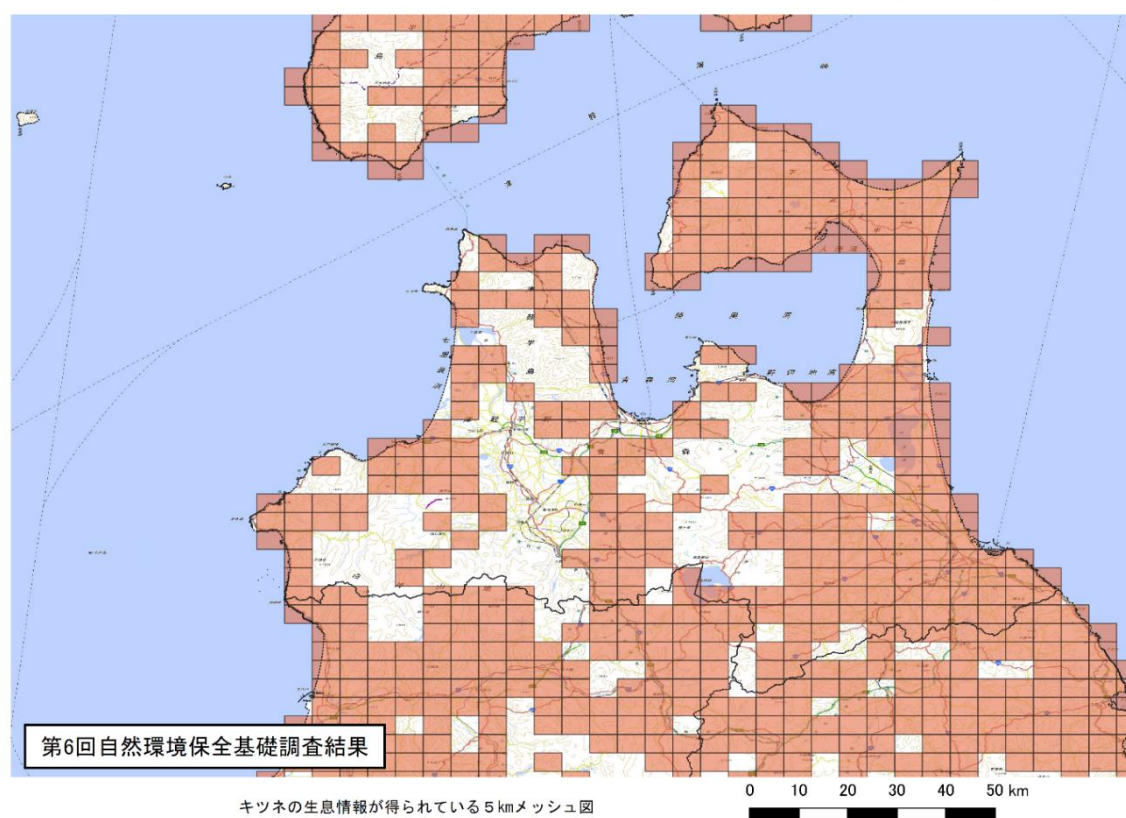
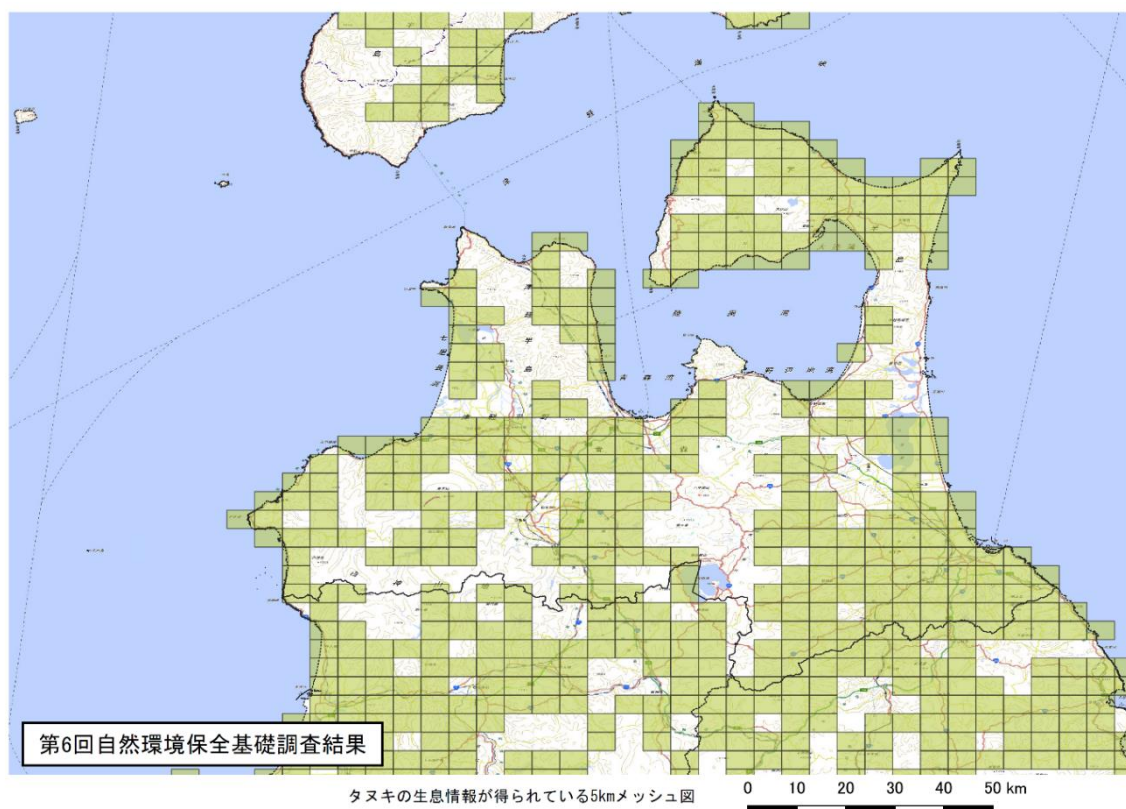
回答用紙

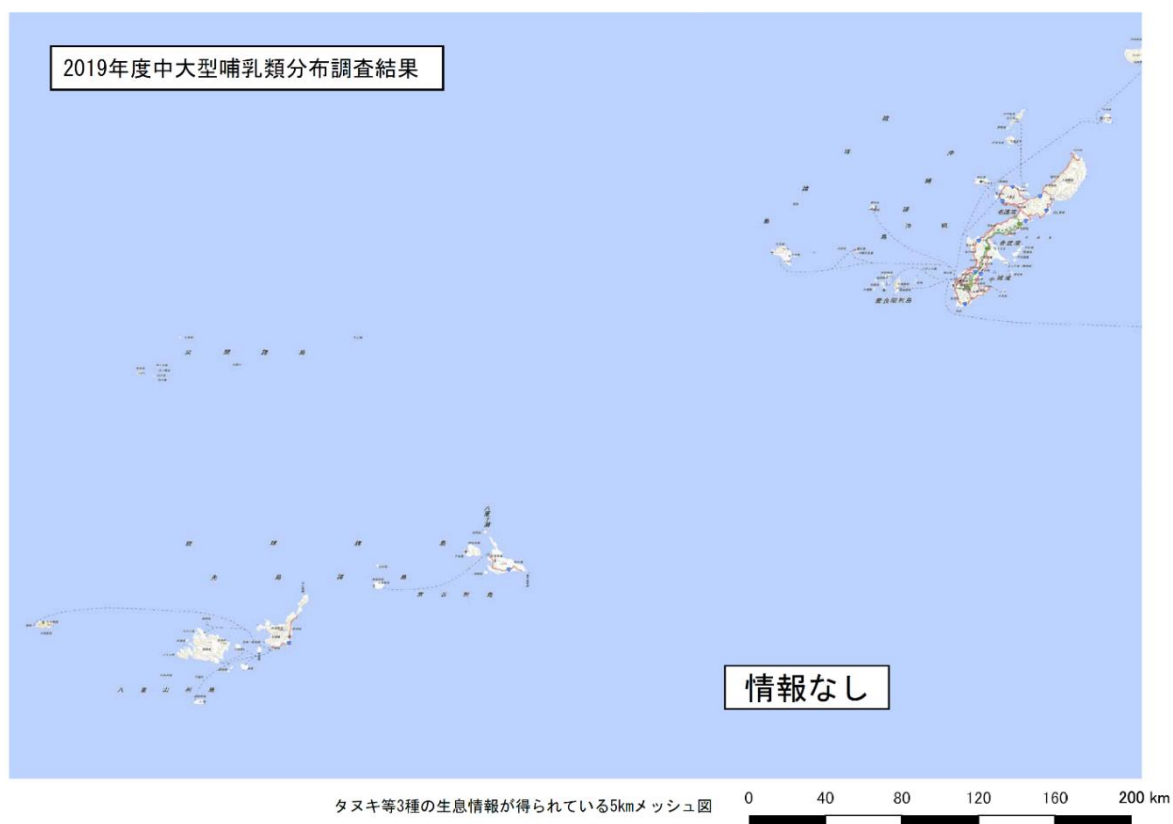
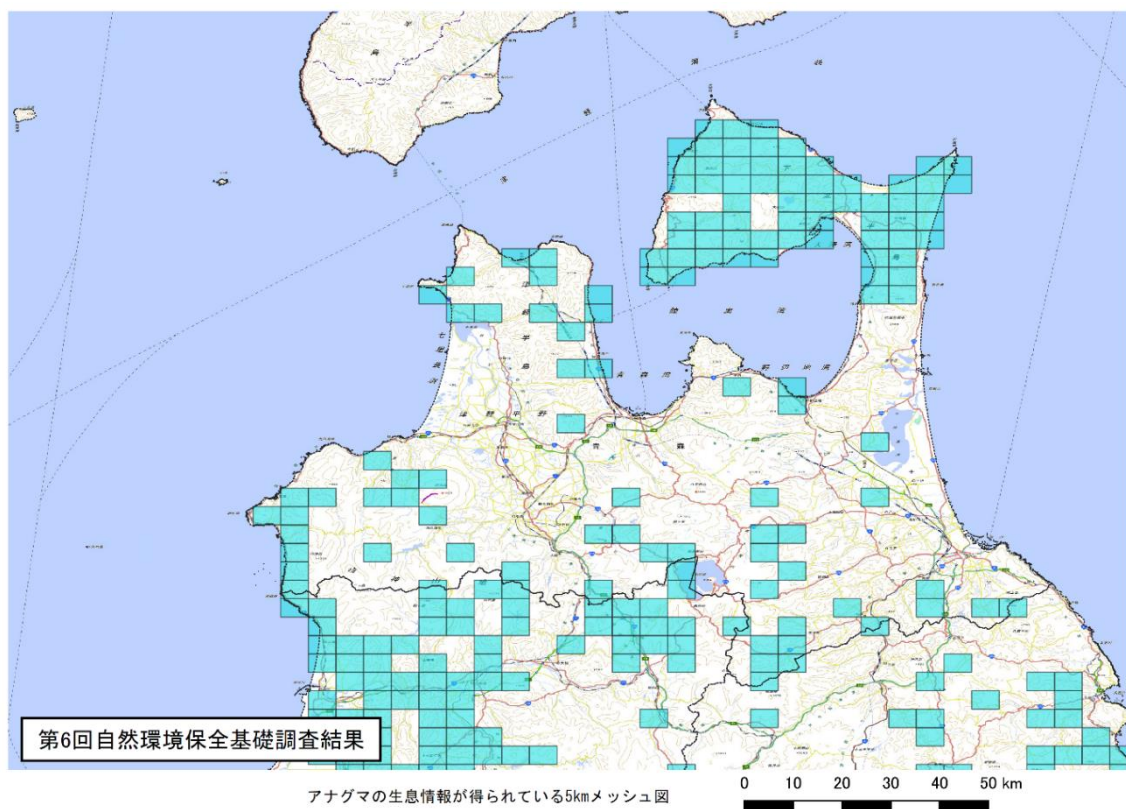
3. キツネの追加の分布情報（詳細）
- ・対象期間は、平成22年度以降、平成30年度までです。
 - ・分布情報を追加するメッシュの番号ごとに1行ずつ、記入してください。
 - ・メッシュ番号は、地図の各メッシュに書かれている番号を記入してください。

No.	メッシュ番号	確認年	キツネの生息について	生息の根拠について
記入例	5740304	☒ 全年 ☐ 平成22年 ☐ 平成27年 ☐ 平成23年 ☐ 平成28年 ☐ 平成24年 ☐ 平成29年 ☐ 平成25年 ☐ 平成30年 ☐ 平成22年以降(年不明)	☒ 生息している ☐ 生息していると思われる	☒ 目撃 ☒ 捕獲(細説捕獲含む) ☐ 死体の発見(ロードキル等) ☒ 痕跡(糞・足跡) ☐ 他の生息地と森林が連続 ☐ 伝聞情報
1		☐ 全年 ☐ 平成22年 ☐ 平成27年 ☐ 平成23年 ☐ 平成28年 ☐ 平成24年 ☐ 平成29年 ☐ 平成25年 ☐ 平成30年 ☐ 平成22年以降(年不明)	☐ 生息している ☐ 生息していると思われる	☐ 目撃 ☐ 捕獲(細説捕獲含む) ☐ 死体の発見(ロードキル等) ☐ 痕跡(糞・足跡) ☐ 他の生息地と森林が連続 ☐ 伝聞情報
2		☐ 全年 ☐ 平成22年 ☐ 平成27年 ☐ 平成23年 ☐ 平成28年 ☐ 平成24年 ☐ 平成29年 ☐ 平成25年 ☐ 平成30年 ☐ 平成22年以降(年不明)	☐ 生息している ☐ 生息していると思われる	☐ 目撃 ☐ 捕獲(細説捕獲含む) ☐ 死体の発見(ロードキル等) ☐ 痕跡(糞・足跡) ☐ 他の生息地と森林が連続 ☐ 伝聞情報
3		☐ 全年 ☐ 平成22年 ☐ 平成27年 ☐ 平成23年 ☐ 平成28年 ☐ 平成24年 ☐ 平成29年 ☐ 平成25年 ☐ 平成30年 ☐ 平成22年以降(年不明)	☐ 生息している ☐ 生息していると思われる	☐ 目撃 ☐ 捕獲(細説捕獲含む) ☐ 死体の発見(ロードキル等) ☐ 痕跡(糞・足跡) ☐ 他の生息地と森林が連続 ☐ 伝聞情報
4		☐ 全年 ☐ 平成22年 ☐ 平成27年 ☐ 平成23年 ☐ 平成28年 ☐ 平成24年 ☐ 平成29年 ☐ 平成25年 ☐ 平成30年 ☐ 平成22年以降(年不明)	☐ 生息している ☐ 生息していると思われる	☐ 目撃 ☐ 捕獲(細説捕獲含む) ☐ 死体の発見(ロードキル等) ☐ 痕跡(糞・足跡) ☐ 他の生息地と森林が連続 ☐ 伝聞情報
5		☐ 全年 ☐ 平成22年 ☐ 平成27年 ☐ 平成23年 ☐ 平成28年 ☐ 平成24年 ☐ 平成29年 ☐ 平成25年 ☐ 平成30年 ☐ 平成22年以降(年不明)	☐ 生息している ☐ 生息していると思われる	☐ 目撃 ☐ 捕獲(細説捕獲含む) ☐ 死体の発見(ロードキル等) ☐ 痕跡(糞・足跡) ☐ 他の生息地と森林が連続 ☐ 伝聞情報

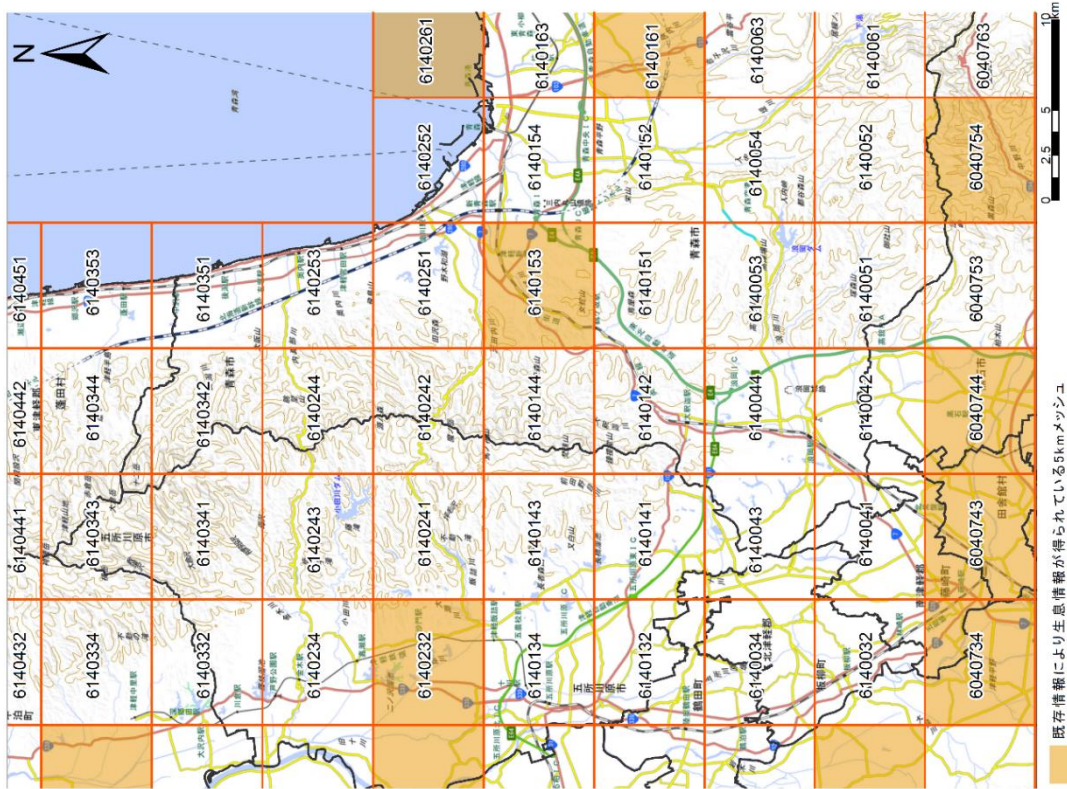
※ 欄が不足する場合には、この用紙をコピーしてご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

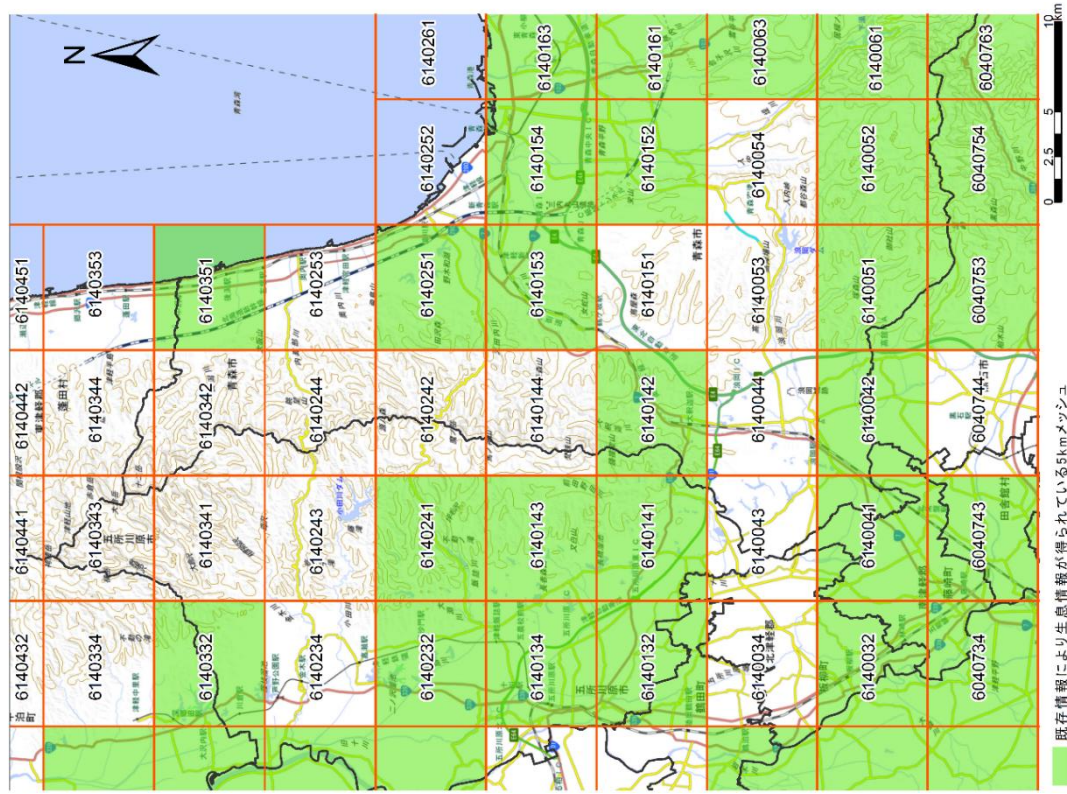




青森県 青森市 1/2 022012 対象種:キツネ



青森県 青森市 1/2 022012 対象種:タヌキ



3. 市区町村別種別情報取得状況

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
北海道	札幌市	○	○	—	北海道	北斗市	—	○	—
北海道	函館市	○	○	—	北海道	当別町	—	—	—
北海道	小樽市	—	—	—	北海道	新篠津村	—	○	—
北海道	旭川市	—	○	—	北海道	松前町	○	—	—
北海道	室蘭市	○	○	—	北海道	福島町	○	○	—
北海道	釧路市	○	○	—	北海道	知内町	○	—	—
北海道	帯広市	—	○	—	北海道	木古内町	○	○	—
北海道	北見市	○	○	—	北海道	七飯町	○	○	—
北海道	夕張市	○	○	—	北海道	鹿部町	—	—	—
北海道	岩見沢市	—	—	—	北海道	森町	○	○	—
北海道	網走市	○	○	—	北海道	八雲町	○	○	—
北海道	留萌市	○	○	—	北海道	長万部町	○	○	—
北海道	苫小牧市	○	○	—	北海道	江差町	○	○	—
北海道	稚内市	○	○	—	北海道	上ノ国町	○	○	—
北海道	美瑛市	○	○	—	北海道	厚沢部町	○	—	—
北海道	芦別市	○	○	—	北海道	乙部町	○	○	—
北海道	江別市	○	○	—	北海道	奥尻町	○	—	—
北海道	赤平市	○	—	—	北海道	今金町	○	○	—
北海道	紋別市	○	○	—	北海道	せたな町	○	○	—
北海道	士別市	—	○	—	北海道	島牧村	—	—	—
北海道	名寄市	○	○	—	北海道	寿都町	—	○	—
北海道	三笠市	—	—	—	北海道	黒松内町	○	○	—
北海道	根室市	—	○	—	北海道	蘭越町	○	○	—
北海道	千歳市	○	○	—	北海道	ニセコ町	—	—	—
北海道	滝川市	○	—	—	北海道	真狩村	○	○	—
北海道	砂川市	—	—	—	北海道	留寿都村	—	—	—
北海道	歌志内市	○	—	—	北海道	喜茂別町	○	○	—
北海道	深川市	○	○	—	北海道	京極町	○	○	—
北海道	富良野市	○	○	—	北海道	倶知安町	○	○	—
北海道	登別市	○	○	—	北海道	共和町	○	○	—
北海道	恵庭市	○	○	—	北海道	岩内町	○	○	—
北海道	伊達市	○	○	—	北海道	泊村	○	○	—
北海道	北広島市	○	○	—	北海道	神恵内村	○	○	—
北海道	石狩市	○	○	—	北海道	積丹町	○	○	—

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
北海道	古平町	○	○	—	北海道	占冠村	○	○	—
北海道	仁木町	○	○	—	北海道	和寒町	○	○	—
北海道	余市町	○	○	—	北海道	剣淵町	○	○	—
北海道	赤井川村	○	○	—	北海道	下川町	○	○	—
北海道	南幌町	—	—	—	北海道	美深町	○	○	—
北海道	奈井江町	○	○	—	北海道	音威子府村	○	○	—
北海道	上砂川町	○	○	—	北海道	中川町	○	○	—
北海道	由仁町	○	○	—	北海道	幌加内町	○	○	—
北海道	長沼町	—	—	—	北海道	増毛町	○	○	—
北海道	栗山町	○	○	—	北海道	小平町	○	○	—
北海道	月形町	○	○	—	北海道	苫前町	—	○	—
北海道	浦臼町	○	○	—	北海道	羽幌町	○	○	—
北海道	新十津川町	○	○	—	北海道	初山別村	○	○	—
北海道	妹背牛町	○	○	—	北海道	遠別町	○	○	—
北海道	秩父別町	○	○	—	北海道	天塩町	○	○	—
北海道	雨竜町	○	○	—	北海道	猿払村	—	—	—
北海道	北竜町	○	○	—	北海道	浜頓別町	○	○	—
北海道	沼田町	○	○	—	北海道	中頓別町	○	○	—
北海道	鷹栖町	○	○	—	北海道	枝幸町	○	○	—
北海道	東神楽町	○	○	—	北海道	豊富町	○	○	—
北海道	当麻町	○	○	—	北海道	礼文町	—	—	—
北海道	比布町	—	○	—	北海道	利尻町	—	—	—
北海道	愛別町	○	○	—	北海道	利尻富士町	—	—	—
北海道	上川町	○	○	—	北海道	幌延町	○	○	—
北海道	東川町	○	○	—	北海道	美幌町	○	○	—
北海道	美瑛町	○	○	—	北海道	津別町	○	○	—
北海道	上富良野町	○	—	—	北海道	斜里町	○	○	—
北海道	中富良野町	○	○	—	北海道	清里町	—	○	—
北海道	南富良野町	○	○	—	北海道	小清水町	○	○	—

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
北海道	訓子府町	—	○	—	北海道	広尾町	—	○	—
北海道	置戸町	○	○	—	北海道	幕別町	—	—	—
北海道	佐呂間町	○	○	—	北海道	池田町	—	○	—
北海道	遠軽町	—	—	—	北海道	豊頃町	○	○	—
北海道	湧別町	○	○	—	北海道	本別町	○	○	—
北海道	滝上町	○	○	—	北海道	足寄町	○	○	—
北海道	興部町	○	○	—	北海道	陸別町	○	○	—
北海道	西興部村	—	○	—	北海道	浦幌町	○	○	—
北海道	雄武町	○	○	—	北海道	釧路町	○	○	—
北海道	大空町	○	○	—	北海道	厚岸町	—	○	—
北海道	豊浦町	○	○	—	北海道	浜中町	○	○	—
北海道	壮瞥町	○	○	—	北海道	標茶町	○	○	—
北海道	白老町	○	○	—	北海道	弟子屈町	○	○	—
北海道	厚真町	—	—	—	北海道	鶴居村	○	○	—
北海道	洞爺湖町	○	○	—	北海道	白糠町	—	○	—
北海道	安平町	○	○	—	北海道	別海町	○	○	—
北海道	むかわ町	○	○	—	北海道	中標津町	○	○	—
北海道	日高町	○	○	—	北海道	標津町	—	—	—
北海道	平取町	○	○	—	北海道	羅臼町	○	○	—
北海道	新冠町	○	○	—	青森県	青森市	○	○	—
北海道	浦河町	○	○	—	青森県	弘前市	○	○	○
北海道	様似町	—	—	—	青森県	八戸市	○	○	—
北海道	えりも町	—	—	—	青森県	黒石市	—	○	—
北海道	新ひだか町	—	—	—	青森県	五所川原市	○	○	○
北海道	音更町	—	○	—	青森県	十和田市	○	○	—
北海道	士幌町	○	○	—	青森県	三沢市	○	—	—
北海道	上士幌町	○	○	—	青森県	むつ市	○	○	—
北海道	鹿追町	○	○	—	青森県	つがる市	○	○	○
北海道	新得町	○	○	—	青森県	平川市	○	○	○
北海道	清水町	○	○	—	青森県	平内町	○	○	○
北海道	芽室町	○	○	—	青森県	今別町	○	○	○
北海道	中札内村	—	—	—	青森県	蓬田村	○	○	○
北海道	更別村	○	○	—	青森県	外ヶ浜町	—	○	○
北海道	大樹町	—	○	—	青森県	鰺ヶ沢町	○	○	○

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
青森県	深浦町	○	○	○	岩手県	釜石市	○	○	○
青森県	西目屋村	—	○	—	岩手県	二戸市	○	○	○
青森県	藤崎町	—	—	—	岩手県	八幡平市	○	○	—
青森県	大鰐町	○	○	○	岩手県	奥州市	—	○	○
青森県	田舎館村	—	—	—	岩手県	滝沢市	○	○	○
青森県	板柳町	○	○	○	岩手県	雫石町	○	○	○
青森県	鶴田町	○	—	—	岩手県	葛巻町	○	○	○
青森県	中泊町	○	—	○	岩手県	岩手町	○	○	○
青森県	野辺地町	—	○	—	岩手県	紫波町	○	—	—
青森県	七戸町	○	○	○	岩手県	矢巾町	—	○	○
青森県	六戸町	—	—	—	岩手県	西和賀町	○	○	○
青森県	横浜町	—	—	—	岩手県	金ヶ崎町	○	○	—
青森県	東北町	○	○	—	岩手県	平泉町	—	—	—
青森県	六ヶ所村	—	—	—	岩手県	住田町	○	○	○
青森県	おいらせ町	—	—	—	岩手県	大槌町	—	—	—
青森県	大間町	○	—	—	岩手県	山田町	○	—	○
青森県	東通村	○	○	○	岩手県	岩泉町	○	○	○
青森県	風間浦村	—	—	○	岩手県	田野畑村	○	○	○
青森県	佐井村	○	○	○	岩手県	普代村	○	○	○
青森県	三戸町	○	○	○	岩手県	軽米町	—	○	—
青森県	五戸町	—	—	—	岩手県	野田村	○	○	○
青森県	田子町	—	○	○	岩手県	九戸村	○	○	○
青森県	南部町	—	—	—	岩手県	洋野町	○	○	—
青森県	階上町	—	—	—	岩手県	一戸町	○	○	—
青森県	新郷村	○	○	○	宮城県	仙台市	○	○	○
岩手県	盛岡市	○	○	○	宮城県	石巻市	○	○	—
岩手県	宮古市	○	—	○	宮城県	塩竈市	—	—	—
岩手県	大船渡市	○	—	○	宮城県	気仙沼市	○	—	—
岩手県	花巻市	—	—	—	宮城県	白石市	—	—	○
岩手県	北上市	—	—	—	宮城県	名取市	—	—	—
岩手県	久慈市	○	○	○	宮城県	角田市	○	○	○
岩手県	遠野市	—	—	—	宮城県	多賀城市	—	○	—
岩手県	一関市	○	—	○	宮城県	岩沼市	—	○	○
岩手県	陸前高田市	○	○	○	宮城県	登米市	—	—	—

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
宮城県	栗原市	○	○	—	秋田県	大仙市	○	○	○
宮城県	東松島市	○	—	—	秋田県	北秋田市	○	○	○
宮城県	大崎市	—	—	—	秋田県	にかほ市	—	—	○
宮城県	富谷市	—	○	○	秋田県	仙北市	—	○	○
宮城県	蔵王町	—	○	○	秋田県	小坂町	○	○	○
宮城県	七ヶ宿町	—	—	—	秋田県	上小阿仁村	○	○	○
宮城県	大河原町	—	○	—	秋田県	藤里町	○	—	○
宮城県	村田町	○	○	—	秋田県	三種町	○	○	○
宮城県	柴田町	—	—	—	秋田県	八峰町	○	○	○
宮城県	川崎町	—	—	—	秋田県	五城目町	○	○	○
宮城県	丸森町	—	—	—	秋田県	八郎潟町	—	—	—
宮城県	亘理町	—	○	—	秋田県	井川町	○	○	○
宮城県	山元町	○	—	—	秋田県	大潟村	—	—	—
宮城県	松島町	○	○	—	秋田県	美郷町	○	○	○
宮城県	七ヶ浜町	○	○	—	秋田県	羽後町	—	○	○
宮城県	利府町	○	○	—	秋田県	東成瀬村	○	○	○
宮城県	大和町	—	○	—	山形県	山形市	—	—	—
宮城県	大郷町	—	—	—	山形県	米沢市	—	○	○
宮城県	大衡村	—	○	—	山形県	鶴岡市	○	○	○
宮城県	色麻町	—	—	—	山形県	酒田市	○	○	○
宮城県	加美町	—	—	—	山形県	新庄市	○	○	○
宮城県	涌谷町	—	—	—	山形県	寒河江市	○	—	—
宮城県	美里町	—	○	—	山形県	上山市	○	○	○
宮城県	女川町	—	—	—	山形県	村山市	○	○	○
宮城県	南三陸町	○	○	○	山形県	長井市	—	—	○
秋田県	秋田市	—	—	○	山形県	天童市	—	○	○
秋田県	能代市	—	○	○	山形県	東根市	—	○	—
秋田県	横手市	○	○	○	山形県	尾花沢市	○	—	—
秋田県	大館市	—	—	○	山形県	南陽市	—	○	—
秋田県	男鹿市	—	—	○	山形県	山辺町	○	○	○
秋田県	湯沢市	—	—	—	山形県	中山町	—	—	—
秋田県	鹿角市	○	○	○	山形県	河北町	○	—	○
秋田県	由利本荘市	○	○	○	山形県	西川町	○	○	○
秋田県	潟上市	—	○	—	山形県	朝日町	○	○	○

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
山形県	大江町	—	—	—	福島県	鏡石町	○	○	—
山形県	大石田町	○	—	○	福島県	天栄村	○	—	—
山形県	金山町	○	○	○	福島県	下郷町	○	○	○
山形県	最上町	○	—	○	福島県	檜枝岐村	—	—	—
山形県	舟形町	—	—	—	福島県	只見町	○	○	○
山形県	真室川町	—	—	—	福島県	南会津町	○	○	○
山形県	大蔵村	—	—	—	福島県	北塩原村	—	—	—
山形県	鮭川村	○	○	○	福島県	西会津町	○	○	—
山形県	戸沢村	○	○	○	福島県	磐梯町	—	○	○
山形県	高島町	○	○	○	福島県	猪苗代町	○	○	○
山形県	川西町	○	○	○	福島県	会津坂下町	○	○	○
山形県	小国町	—	—	—	福島県	湯川村	—	—	—
山形県	白鷹町	—	—	—	福島県	柳津町	○	○	○
山形県	飯豊町	—	—	—	福島県	三島町	○	—	○
山形県	三川町	—	—	—	福島県	金山町	○	○	○
山形県	庄内町	○	○	—	福島県	昭和村	○	○	○
山形県	遊佐町	○	○	—	福島県	会津美里町	—	—	—
福島県	福島市	—	—	—	福島県	西郷村	○	—	—
福島県	会津若松市	—	—	—	福島県	泉崎村	○	○	—
福島県	郡山市	—	—	○	福島県	中島村	○	○	—
福島県	いわき市	○	○	○	福島県	矢吹町	—	—	—
福島県	白河市	○	○	—	福島県	棚倉町	—	—	—
福島県	須賀川市	○	○	○	福島県	矢祭町	○	—	○
福島県	喜多方市	○	○	○	福島県	塙町	○	○	○
福島県	相馬市	○	○	—	福島県	鮫川村	○	○	○
福島県	二本松市	—	—	—	福島県	石川町	○	○	○
福島県	田村市	—	—	—	福島県	玉川村	—	—	—
福島県	南相馬市	—	—	○	福島県	平田村	○	○	○
福島県	伊達市	—	—	○	福島県	浅川町	—	—	○
福島県	本宮市	—	○	—	福島県	古殿町	○	—	○
福島県	桑折町	—	—	○	福島県	三春町	—	—	—
福島県	国見町	—	—	○	福島県	小野町	—	—	—
福島県	川俣町	—	—	○	福島県	広野町	—	—	—
福島県	大玉村	—	—	—	福島県	檜葉町	○	○	—

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
福島県	富岡町	—	—	—	茨城県	稲敷市	○	—	—
福島県	川内村	—	—	○	茨城県	かすみが うら市	○	○	○
福島県	大熊町	○	○	○	茨城県	桜川市	○	—	—
福島県	双葉町	○	○	○	茨城県	神栖市	○	—	—
福島県	浪江町	—	○	○	茨城県	行方市	○	○	—
福島県	葛尾村	○	○	○	茨城県	鉾田市	—	—	—
福島県	新地町	○	○	—	茨城県	つくばみ らい市	—	—	—
福島県	飯舘村	—	○	○	茨城県	小美玉市	—	○	—
茨城県	水戸市	—	○	—	茨城県	茨城町	—	—	—
茨城県	日立市	○	○	○	茨城県	大洗町	—	—	—
茨城県	土浦市	○	—	○	茨城県	城里町	—	—	○
茨城県	古河市	○	○	—	茨城県	東海村	—	—	—
茨城県	石岡市	—	—	○	茨城県	大子町	—	—	○
茨城県	結城市	○	—	—	茨城県	美浦村	—	—	—
茨城県	龍ヶ崎市	○	○	—	茨城県	阿見町	○	—	—
茨城県	下妻市	○	○	—	茨城県	河内町	—	—	○
茨城県	常総市	—	—	—	茨城県	八千代町	○	—	—
茨城県	常陸太田市	—	○	—	茨城県	五霞町	—	—	—
茨城県	高萩市	○	○	○	茨城県	境町	—	○	—
茨城県	北茨城市	○	—	—	茨城県	利根町	—	—	—
茨城県	笠間市	○	—	—	栃木県	宇都宮市	—	—	—
茨城県	取手市	—	○	—	栃木県	足利市	—	○	○
茨城県	牛久市	○	—	—	栃木県	栃木市	○	○	○
茨城県	つくば市	—	○	—	栃木県	佐野市	○	○	○
茨城県	ひたちな か市	—	—	—	栃木県	鹿沼市	○	—	—
茨城県	鹿嶋市	○	—	—	栃木県	日光市	—	○	○
茨城県	潮来市	○	—	—	栃木県	小山市	—	○	—
茨城県	守谷市	—	○	—	栃木県	真岡市	○	○	—
茨城県	常陸大宮市	○	—	○	栃木県	大田原市	○	○	○
茨城県	那珂市	—	—	○	栃木県	矢板市	—	—	—
茨城県	筑西市	—	—	—	栃木県	那須塩原市	—	—	○
茨城県	坂東市	○	○	—	栃木県	さくら市	○	—	—

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
栃木県	那須烏山市	—	—	—	群馬県	嬭恋村	—	—	○
栃木県	下野市	○	—	—	群馬県	草津町	—	—	—
栃木県	上三川町	○	○	—	群馬県	高山村	—	—	—
栃木県	益子町	○	○	—	群馬県	東吾妻町	—	—	○
栃木県	茂木町	—	—	—	群馬県	片品村	—	—	—
栃木県	市貝町	○	○	○	群馬県	川場村	○	○	○
栃木県	芳賀町	○	—	—	群馬県	昭和村	—	—	—
栃木県	壬生町	—	—	—	群馬県	みなかみ町	○	○	○
栃木県	野木町	○	—	—	群馬県	玉村町	○	—	○
栃木県	塩谷町	○	○	○	群馬県	板倉町	—	—	—
栃木県	高根沢町	○	○	○	群馬県	明和町	○	—	—
栃木県	那須町	—	—	—	群馬県	千代田町	—	—	—
栃木県	那珂川町	○	○	○	群馬県	大泉町	—	—	—
群馬県	前橋市	○	○	○	群馬県	邑楽町	—	○	—
群馬県	高崎市	—	○	—	埼玉県	さいたま市	—	—	—
群馬県	桐生市	—	○	○	埼玉県	川越市	—	○	—
群馬県	伊勢崎市	○	○	○	埼玉県	熊谷市	—	○	○
群馬県	太田市	—	○	○	埼玉県	川口市	○	—	—
群馬県	沼田市	○	—	—	埼玉県	行田市	○	○	—
群馬県	館林市	—	—	—	埼玉県	秩父市	○	○	○
群馬県	渋川市	—	○	○	埼玉県	所沢市	○	—	○
群馬県	藤岡市	—	—	—	埼玉県	飯能市	—	—	○
群馬県	富岡市	—	—	—	埼玉県	加須市	○	—	—
群馬県	安中市	—	○	—	埼玉県	本庄市	○	○	—
群馬県	みどり市	—	○	○	埼玉県	東松山市	○	○	○
群馬県	榛東村	—	—	—	埼玉県	春日部市	—	—	—
群馬県	吉岡町	—	○	—	埼玉県	狭山市	—	○	○
群馬県	上野村	—	○	—	埼玉県	羽生市	—	—	—
群馬県	神流町	—	—	—	埼玉県	鴻巣市	○	—	—
群馬県	下仁田町	—	○	—	埼玉県	深谷市	—	—	—
群馬県	南牧村	○	○	○	埼玉県	上尾市	○	○	—
群馬県	甘楽町	—	○	—	埼玉県	草加市	○	—	○
群馬県	中之条町	○	○	○	埼玉県	越谷市	○	—	—
群馬県	長野原町	—	—	—	埼玉県	蕨市	—	—	—

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
埼玉県	戸田市	—	—	—	埼玉県	長瀬町	—	○	—
埼玉県	入間市	○	—	—	埼玉県	小鹿野町	○	○	○
埼玉県	朝霞市	○	—	—	埼玉県	東秩父村	—	—	○
埼玉県	志木市	○	—	—	埼玉県	美里町	—	—	—
埼玉県	和光市	—	—	—	埼玉県	神川町	—	—	—
埼玉県	新座市	○	—	—	埼玉県	上里町	○	○	○
埼玉県	桶川市	—	—	—	埼玉県	寄居町	—	○	—
埼玉県	久喜市	○	○	—	埼玉県	宮代町	—	—	—
埼玉県	北本市	—	—	—	埼玉県	杉戸町	—	—	—
埼玉県	八潮市	○	—	—	埼玉県	松伏町	○	—	—
埼玉県	富士見市	○	○	—	千葉県	千葉市	○	—	○
埼玉県	三郷市	○	—	—	千葉県	銚子市	—	—	—
埼玉県	蓮田市	—	—	—	千葉県	市川市	—	—	—
埼玉県	坂戸市	○	○	○	千葉県	船橋市	—	—	—
埼玉県	幸手市	—	—	—	千葉県	館山市	—	—	—
埼玉県	鶴ヶ島市	○	—	○	千葉県	木更津市	—	—	○
埼玉県	日高市	○	○	—	千葉県	松戸市	—	—	—
埼玉県	吉川市	○	—	—	千葉県	野田市	—	—	—
埼玉県	ふじみ野市	○	—	○	千葉県	茂原市	—	—	○
埼玉県	白岡市	○	—	—	千葉県	成田市	—	—	—
埼玉県	伊奈町	○	—	—	千葉県	佐倉市	—	○	—
埼玉県	三芳町	○	—	—	千葉県	東金市	—	—	○
埼玉県	毛呂山町	—	—	—	千葉県	旭市	○	—	—
埼玉県	越生町	—	—	○	千葉県	習志野市	—	—	—
埼玉県	滑川町	○	○	○	千葉県	柏市	—	—	—
埼玉県	嵐山町	—	—	—	千葉県	勝浦市	—	—	—
埼玉県	小川町	—	—	○	千葉県	市原市	—	—	○
埼玉県	川島町	—	—	○	千葉県	流山市	—	—	—
埼玉県	吉見町	—	—	—	千葉県	八千代市	—	—	—
埼玉県	鳩山町	—	—	—	千葉県	我孫子市	—	○	—
埼玉県	ときがわ町	—	—	○	千葉県	鴨川市	—	—	—
埼玉県	横瀬町	—	—	—	千葉県	鎌ヶ谷市	—	—	—
埼玉県	皆野町	—	—	—	千葉県	君津市	—	—	—

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
千葉県	富津市	—	—	○	東京都	港区	—	—	—
千葉県	浦安市	—	—	—	東京都	新宿区	—	—	○
千葉県	四街道市	—	—	—	東京都	文京区	—	—	—
千葉県	袖ヶ浦市	—	—	○	東京都	台東区	—	—	—
千葉県	八街市	—	—	○	東京都	墨田区	—	—	—
千葉県	印西市	—	○	○	東京都	江東区	—	—	—
千葉県	白井市	—	—	—	東京都	品川区	—	—	—
千葉県	富里市	—	○	○	東京都	目黒区	—	—	—
千葉県	南房総市	—	—	○	東京都	大田区	—	—	—
千葉県	匝瑺市	—	—	—	東京都	世田谷区	—	—	—
千葉県	香取市	—	—	—	東京都	渋谷区	—	—	—
千葉県	山武市	—	—	—	東京都	中野区	○	—	—
千葉県	いすみ市	—	—	○	東京都	杉並区	○	—	—
千葉県	大網白里市	—	—	—	東京都	豊島区	—	—	—
千葉県	酒々井町	—	—	—	東京都	北区	—	—	—
千葉県	栄町	—	—	—	東京都	荒川区	—	—	—
千葉県	神崎町	—	—	—	東京都	板橋区	—	—	—
千葉県	多古町	—	—	—	東京都	練馬区	—	—	—
千葉県	東庄町	—	—	—	東京都	足立区	—	—	—
千葉県	九十九里町	—	—	—	東京都	葛飾区	○	—	—
千葉県	芝山町	—	—	○	東京都	江戸川区	○	—	—
千葉県	横芝光町	—	—	—	東京都	八王子市	—	○	—
千葉県	一宮町	—	—	—	東京都	立川市	—	—	—
千葉県	睦沢町	—	—	—	東京都	武蔵野市	—	—	—
千葉県	長生村	—	—	○	東京都	三鷹市	—	—	—
千葉県	白子町	—	—	—	東京都	青梅市	—	—	—
千葉県	長柄町	—	—	—	東京都	府中市	—	—	—
千葉県	長南町	—	—	—	東京都	昭島市	—	—	—
千葉県	大多喜町	—	—	—	東京都	調布市	—	—	—
千葉県	御宿町	—	—	—	東京都	町田市	—	—	—
千葉県	鋸南町	—	—	○	東京都	小金井市	—	—	—
東京都	千代田区	—	—	—	東京都	小平市	—	—	—
東京都	中央区	—	—	—	東京都	日野市	—	—	—

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
東京都	東村山市	—	—	—	神奈川県	鎌倉市	—	—	○
東京都	国分寺市	—	—	—	神奈川県	藤沢市	—	—	○
東京都	国立市	—	—	—	神奈川県	小田原市	—	—	—
東京都	福生市	—	○	—	神奈川県	茅ヶ崎市	—	—	—
東京都	狛江市	—	—	—	神奈川県	逗子市	—	—	—
東京都	東大和市	—	—	—	神奈川県	三浦市	○	—	—
東京都	清瀬市	—	—	—	神奈川県	秦野市	—	○	○
東京都	東久留米市	—	—	—	神奈川県	厚木市	—	○	—
東京都	武蔵村山市	—	○	○	神奈川県	大和市	—	—	—
東京都	多摩市	—	○	—	神奈川県	伊勢原市	—	—	—
東京都	稲城市	—	—	—	神奈川県	海老名市	—	—	○
東京都	羽村市	—	—	—	神奈川県	座間市	—	—	—
東京都	あきる野市	—	—	—	神奈川県	南足柄市	—	○	—
東京都	西東京市	—	—	—	神奈川県	綾瀬市	—	—	—
東京都	瑞穂町	—	○	○	神奈川県	葉山町	○	—	—
東京都	日の出町	—	—	—	神奈川県	寒川町	—	—	—
東京都	檜原村	—	○	—	神奈川県	大磯町	—	—	—
東京都	奥多摩町	—	—	—	神奈川県	二宮町	—	—	—
東京都	大島町	—	—	—	神奈川県	中井町	—	—	—
東京都	利島村	—	—	—	神奈川県	大井町	—	—	—
東京都	新島村	—	—	—	神奈川県	松田町	—	—	○
東京都	神津島村	—	—	—	神奈川県	山北町	○	○	○
東京都	三宅村	—	—	—	神奈川県	開成町	—	—	—
東京都	御蔵島村	—	—	—	神奈川県	箱根町	—	○	○
東京都	八丈町	—	—	—	神奈川県	真鶴町	—	—	○
東京都	青ヶ島村	—	—	—	神奈川県	湯河原町	○	—	○
東京都	小笠原村	—	—	—	神奈川県	愛川町	—	—	○
神奈川県	横浜市	○	—	○	神奈川県	清川村	—	—	—
神奈川県	川崎市	○	—	—	新潟県	新潟市	○	○	○
神奈川県	相模原市	—	—	—	新潟県	長岡市	—	○	—
神奈川県	横須賀市	○	—	○	新潟県	三条市	○	○	○
神奈川県	平塚市	—	○	○	新潟県	柏崎市	○	○	○

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
新潟県	新発田市	—	—	—	富山県	射水市	○	—	○
新潟県	小千谷市	—	—	—	富山県	舟橋村	—	—	—
新潟県	加茂市	—	○	○	富山県	上市町	○	—	—
新潟県	十日町市	—	—	○	富山県	立山町	○	—	—
新潟県	見附市	—	○	—	富山県	入善町	○	—	—
新潟県	村上市	○	○	○	富山県	朝日町	○	○	○
新潟県	燕市	—	—	—	石川県	金沢市	—	○	—
新潟県	糸魚川市	—	—	○	石川県	七尾市	—	—	—
新潟県	妙高市	—	—	—	石川県	小松市	○	○	○
新潟県	五泉市	—	—	—	石川県	輪島市	○	○	○
新潟県	上越市	—	—	○	石川県	珠洲市	○	○	○
新潟県	阿賀野市	—	—	○	石川県	加賀市	—	—	○
新潟県	佐渡市	○	—	—	石川県	羽咋市	—	○	—
新潟県	魚沼市	—	—	○	石川県	かほく市	○	○	○
新潟県	南魚沼市	○	○	○	石川県	白山市	○	○	○
新潟県	胎内市	○	○	○	石川県	能美市	—	—	○
新潟県	聖籠町	—	—	—	石川県	野々市市	—	—	—
新潟県	弥彦村	—	○	—	石川県	川北町	—	—	—
新潟県	田上町	—	—	—	石川県	津幡町	—	—	—
新潟県	阿賀町	○	○	○	石川県	内灘町	—	○	—
新潟県	出雲崎町	—	—	—	石川県	志賀町	○	○	○
新潟県	湯沢町	○	○	○	石川県	宝達志水町	○	—	—
新潟県	津南町	—	—	—	石川県	中能登町	—	—	—
新潟県	刈羽村	○	○	○	石川県	穴水町	—	○	○
新潟県	関川村	—	—	—	石川県	能登町	○	○	○
新潟県	粟島浦村	—	—	—	福井県	福井市	○	—	○
富山県	富山市	○	—	—	福井県	敦賀市	○	○	—
富山県	高岡市	—	—	—	福井県	小浜市	—	—	—
富山県	魚津市	○	○	○	福井県	大野市	—	—	—
富山県	氷見市	○	○	○	福井県	勝山市	—	○	—
富山県	滑川市	○	○	—	福井県	鯖江市	—	○	—
富山県	黒部市	○	—	—	福井県	あわら市	—	○	—
富山県	砺波市	○	○	○	福井県	越前市	—	○	○
富山県	小矢部市	—	—	—	福井県	坂井市	○	○	—
富山県	南砺市	—	○	○	福井県	永平寺町	—	○	—

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
福井県	池田町	—	—	—	山梨県	小菅村	—	—	—
福井県	南越前町	—	—	—	山梨県	丹波山村	—	—	—
福井県	越前町	○	○	○	長野県	長野市	○	○	○
福井県	美浜町	—	—	—	長野県	松本市	○	○	○
福井県	高浜町	—	—	—	長野県	上田市	○	○	○
福井県	おおい町	—	—	—	長野県	岡谷市	—	—	—
福井県	若狭町	○	○	—	長野県	飯田市	○	○	○
山梨県	甲府市	○	○	○	長野県	諏訪市	—	—	—
山梨県	富士吉田 市	○	—	—	長野県	須坂市	○	○	—
山梨県	都留市	—	—	○	長野県	小諸市	○	○	○
山梨県	山梨市	○	○	○	長野県	伊那市	—	—	—
山梨県	大月市	○	—	○	長野県	駒ヶ根市	—	—	—
山梨県	韮崎市	○	—	○	長野県	中野市	—	—	○
山梨県	南アルプ ス市	○	○	○	長野県	大町市	○	○	○
山梨県	北杜市	—	—	—	長野県	飯山市	○	○	○
山梨県	甲斐市	—	—	○	長野県	茅野市	○	○	—
山梨県	笛吹市	○	○	○	長野県	塩尻市	○	○	○
山梨県	上野原市	○	○	○	長野県	佐久市	—	—	—
山梨県	甲州市	○	○	○	長野県	千曲市	—	—	—
山梨県	中央市	—	—	—	長野県	東御市	—	○	—
山梨県	市川三郷町	○	○	○	長野県	安曇野市	○	○	○
山梨県	早川町	—	—	—	長野県	小海町	—	—	—
山梨県	身延町	○	—	○	長野県	川上村	—	—	—
山梨県	南部町	○	—	○	長野県	南牧村	○	○	—
山梨県	富士川町	—	—	—	長野県	南相木村	○	—	—
山梨県	昭和町	—	—	—	長野県	北相木村	—	—	—
山梨県	道志村	○	○	○	長野県	佐久穂町	○	○	○
山梨県	西桂町	—	—	○	長野県	軽井沢町	○	○	○
山梨県	忍野村	—	—	—	長野県	御代田町	—	—	—
山梨県	山中湖村	○	○	○	長野県	立科町	—	—	—
山梨県	鳴沢村	—	—	—	長野県	青木村	—	○	○
山梨県	富士河口 湖町	○	—	○	長野県	長和町	—	—	—

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
長野県	下諏訪町	○	—	—	長野県	白馬村	—	○	○
長野県	富士見町	—	—	○	長野県	小谷村	—	—	—
長野県	原村	—	—	—	長野県	坂城町	—	—	—
長野県	辰野町	—	—	—	長野県	小布施町	—	—	—
長野県	箕輪町	—	—	—	長野県	高山村	○	○	—
長野県	飯島町	○	—	—	長野県	山ノ内町	○	○	○
長野県	南箕輪村	—	—	—	長野県	木島平村	—	—	○
長野県	中川村	—	—	○	長野県	野沢温泉村	—	—	—
長野県	宮田村	—	—	—	長野県	信濃町	○	○	○
長野県	松川町	—	—	○	長野県	小川村	—	—	—
長野県	高森町	—	—	○	長野県	飯綱町	○	○	○
長野県	阿南町	—	—	○	長野県	栄村	○	○	○
長野県	阿智村	○	○	—	岐阜県	岐阜市	○	—	○
長野県	平谷村	—	—	—	岐阜県	大垣市	—	—	—
長野県	根羽村	—	—	—	岐阜県	高山市	—	—	—
長野県	下條村	—	—	—	岐阜県	多治見市	○	○	○
長野県	売木村	○	○	○	岐阜県	関市	○	○	—
長野県	天龍村	○	○	○	岐阜県	中津川市	○	○	○
長野県	泰阜村	—	—	—	岐阜県	美濃市	○	○	○
長野県	喬木村	—	—	—	岐阜県	瑞浪市	○	—	—
長野県	豊丘村	—	○	—	岐阜県	羽島市	—	○	—
長野県	大鹿村	○	○	○	岐阜県	恵那市	—	—	—
長野県	上松町	—	—	○	岐阜県	美濃加茂市	○	○	○
長野県	南木曽町	—	○	○	岐阜県	土岐市	—	—	—
長野県	木祖村	—	—	—	岐阜県	各務原市	—	—	—
長野県	王滝村	—	—	—	岐阜県	可児市	○	—	○
長野県	大桑村	○	—	—	岐阜県	山県市	○	○	○
長野県	木曽町	—	—	○	岐阜県	瑞穂市	—	—	—
長野県	麻績村	—	—	○	岐阜県	飛騨市	—	—	—
長野県	生坂村	—	—	—	岐阜県	本巣市	—	—	—
長野県	山形村	—	—	—	岐阜県	郡上市	○	○	○
長野県	朝日村	—	—	—	岐阜県	下呂市	○	○	○
長野県	筑北村	—	—	○	岐阜県	海津市	○	○	—
長野県	池田町	—	—	—	岐阜県	岐南町	—	—	—
長野県	松川村	—	—	—	岐阜県	笠松町	—	—	—

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
岐阜県	養老町	—	—	—	静岡県	裾野市	—	—	—
岐阜県	垂井町	○	○	○	静岡県	湖西市	—	—	—
岐阜県	関ヶ原町	—	—	—	静岡県	伊豆市	○	○	○
岐阜県	神戸町	○	○	○	静岡県	御前崎市	○	○	○
岐阜県	輪之内町	—	○	—	静岡県	菊川市	○	○	○
岐阜県	安八町	—	—	—	静岡県	伊豆の国市	—	○	○
岐阜県	揖斐川町	—	—	—	静岡県	牧之原市	○	○	○
岐阜県	大野町	—	—	—	静岡県	東伊豆町	○	—	○
岐阜県	池田町	—	○	○	静岡県	河津町	○	—	—
岐阜県	北方町	—	○	—	静岡県	南伊豆町	—	—	—
岐阜県	坂祝町	—	—	○	静岡県	松崎町	—	—	—
岐阜県	富加町	○	○	○	静岡県	西伊豆町	—	—	—
岐阜県	川辺町	○	○	—	静岡県	函南町	—	—	○
岐阜県	七宗町	—	○	○	静岡県	清水町	—	—	—
岐阜県	八百津町	—	—	—	静岡県	長泉町	—	—	—
岐阜県	白川町	○	○	○	静岡県	小山町	○	—	○
岐阜県	東白川村	○	○	—	静岡県	吉田町	○	○	—
岐阜県	御嵩町	—	○	—	静岡県	川根本町	○	○	○
岐阜県	白川村	—	—	—	静岡県	森町	—	○	—
静岡県	静岡市	○	○	○	愛知県	名古屋市	○	○	○
静岡県	浜松市	○	—	○	愛知県	豊橋市	—	○	—
静岡県	沼津市	○	—	○	愛知県	岡崎市	—	○	—
静岡県	熱海市	—	—	—	愛知県	一宮市	—	—	—
静岡県	三島市	○	○	○	愛知県	瀬戸市	○	○	—
静岡県	富士宮市	○	○	○	愛知県	半田市	—	—	—
静岡県	伊東市	—	—	○	愛知県	春日井市	○	—	—
静岡県	島田市	○	○	—	愛知県	豊川市	—	○	—
静岡県	富士市	○	○	○	愛知県	津島市	—	—	—
静岡県	磐田市	—	○	○	愛知県	碧南市	○	—	—
静岡県	焼津市	○	○	○	愛知県	刈谷市	—	—	—
静岡県	掛川市	○	○	○	愛知県	豊田市	○	○	—
静岡県	藤枝市	○	○	○	愛知県	安城市	—	—	—
静岡県	御殿場市	—	—	○	愛知県	西尾市	—	○	—
静岡県	袋井市	—	○	○	愛知県	蒲郡市	—	—	—
静岡県	下田市	—	—	—	愛知県	犬山市	—	—	—

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
愛知県	常滑市	—	—	—	愛知県	幸田町	○	○	—
愛知県	江南市	—	—	—	愛知県	設楽町	○	—	—
愛知県	小牧市	—	—	—	愛知県	東栄町	—	○	○
愛知県	稲沢市	—	—	—	愛知県	豊根村	○	—	—
愛知県	新城市	○	○	○	三重県	津市	○	—	○
愛知県	東海市	○	○	—	三重県	四日市市	○	○	—
愛知県	大府市	○	—	—	三重県	伊勢市	—	○	—
愛知県	知多市	—	○	—	三重県	松阪市	○	○	○
愛知県	知立市	—	○	—	三重県	桑名市	○	○	○
愛知県	尾張旭市	○	○	—	三重県	鈴鹿市	○	○	—
愛知県	高浜市	○	—	—	三重県	名張市	○	—	○
愛知県	岩倉市	—	—	—	三重県	尾鷲市	—	—	—
愛知県	豊明市	—	○	—	三重県	亀山市	○	○	○
愛知県	日進市	—	—	—	三重県	鳥羽市	○	—	○
愛知県	田原市	—	—	—	三重県	熊野市	○	—	—
愛知県	愛西市	—	○	○	三重県	いなべ市	○	○	—
愛知県	清須市	—	—	—	三重県	志摩市	○	—	○
愛知県	北名古屋 市	—	—	—	三重県	伊賀市	—	—	—
愛知県	弥富市	—	—	—	三重県	木曽岬町	○	—	—
愛知県	みよし市	—	—	—	三重県	東員町	—	—	—
愛知県	あま市	—	—	—	三重県	菰野町	—	○	—
愛知県	長久手市	○	—	—	三重県	朝日町	○	○	—
愛知県	東郷町	—	○	—	三重県	川越町	—	—	—
愛知県	豊山町	—	—	—	三重県	多気町	—	—	—
愛知県	大口町	—	○	—	三重県	明和町	○	○	—
愛知県	扶桑町	—	○	—	三重県	大台町	○	○	○
愛知県	大治町	—	—	—	三重県	玉城町	—	○	—
愛知県	蟹江町	—	—	—	三重県	度会町	—	—	○
愛知県	飛島村	—	—	—	三重県	大紀町	○	○	—
愛知県	阿久比町	○	—	—	三重県	南伊勢町	○	○	○
愛知県	東浦町	○	○	—	三重県	紀北町	—	—	—
愛知県	南知多町	○	○	—	三重県	御浜町	—	—	—
愛知県	美浜町	○	○	—	三重県	紀宝町	○	—	—
愛知県	武豊町	—	—	—	滋賀県	大津市	—	○	—

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
滋賀県	彦根市	—	—	—	京都府	久御山町	—	—	—
滋賀県	長浜市	○	○	○	京都府	井手町	—	○	○
滋賀県	近江八幡市	○	—	—	京都府	宇治田原町	○	—	—
滋賀県	草津市	○	○	—	京都府	笠置町	—	—	—
滋賀県	守山市	○	○	○	京都府	和束町	—	—	—
滋賀県	栗東市	○	○	○	京都府	精華町	—	—	—
滋賀県	甲賀市	○	○	○	京都府	南山城村	—	—	○
滋賀県	野洲市	○	—	○	京都府	京丹波町	—	—	—
滋賀県	湖南市	○	—	—	京都府	伊根町	—	—	—
滋賀県	高島市	○	○	—	京都府	与謝野町	—	○	—
滋賀県	東近江市	○	○	○	大阪府	大阪市	—	—	—
滋賀県	米原市	—	—	○	大阪府	堺市	○	—	○
滋賀県	日野町	—	—	—	大阪府	岸和田市	—	—	—
滋賀県	竜王町	○	○	—	大阪府	豊中市	○	○	○
滋賀県	愛荘町	○	○	○	大阪府	池田市	—	—	—
滋賀県	豊郷町	—	—	—	大阪府	吹田市	○	○	—
滋賀県	甲良町	—	—	—	大阪府	泉大津市	—	—	—
滋賀県	多賀町	—	—	—	大阪府	高槻市	—	—	—
京都府	京都市	○	○	○	大阪府	貝塚市	—	—	○
京都府	福知山市	—	—	—	大阪府	守口市	—	—	—
京都府	舞鶴市	—	○	—	大阪府	枚方市	○	—	—
京都府	綾部市	—	○	—	大阪府	茨木市	—	—	—
京都府	宇治市	○	○	○	大阪府	八尾市	○	—	—
京都府	宮津市	○	○	○	大阪府	泉佐野市	—	—	—
京都府	亀岡市	—	—	—	大阪府	富田林市	○	—	○
京都府	城陽市	○	—	—	大阪府	寝屋川市	—	—	—
京都府	向日市	—	○	—	大阪府	河内長野市	○	○	○
京都府	長岡京市	—	—	—	大阪府	松原市	—	—	—
京都府	八幡市	—	—	—	大阪府	大東市	—	—	—
京都府	京田辺市	○	○	○	大阪府	和泉市	—	—	○
京都府	京丹後市	○	○	○	大阪府	箕面市	○	—	—
京都府	南丹市	○	○	○	大阪府	柏原市	—	—	—
京都府	木津川市	○	○	○	大阪府	羽曳野市	○	—	○
京都府	大山崎町	○	○	—	大阪府	門真市	—	—	—

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
大阪府	摂津市	—	—	—	兵庫県	三木市	—	—	—
大阪府	高石市	—	—	—	兵庫県	高砂市	—	—	—
大阪府	藤井寺市	—	—	—	兵庫県	川西市	—	—	—
大阪府	東大阪市	—	—	—	兵庫県	小野市	—	—	—
大阪府	泉南市	○	—	○	兵庫県	三田市	—	—	—
大阪府	四條畷市	—	○	○	兵庫県	加西市	—	—	○
大阪府	交野市	○	○	○	兵庫県	丹波篠山市	○	—	○
大阪府	大阪狭山 市	—	—	—	兵庫県	養父市	○	○	○
大阪府	阪南市	—	—	—	兵庫県	丹波市	—	—	—
大阪府	島本町	○	○	○	兵庫県	南あわじ市	—	—	—
大阪府	豊能町	○	○	○	兵庫県	朝来市	○	○	○
大阪府	能勢町	—	○	—	兵庫県	淡路市	—	—	—
大阪府	忠岡町	—	—	—	兵庫県	宍粟市	—	—	—
大阪府	熊取町	—	—	○	兵庫県	加東市	—	—	—
大阪府	田尻町	○	—	—	兵庫県	たつの市	—	—	○
大阪府	岬町	—	—	—	兵庫県	猪名川町	—	—	—
大阪府	太子町	—	—	—	兵庫県	多可町	—	—	—
大阪府	河南町	—	—	—	兵庫県	稲美町	—	—	—
大阪府	千早赤阪 村	—	—	—	兵庫県	播磨町	—	—	—
兵庫県	神戸市	○	○	○	兵庫県	市川町	—	—	—
兵庫県	姫路市	—	—	○	兵庫県	福崎町	—	—	—
兵庫県	尼崎市	○	○	—	兵庫県	神河町	—	—	—
兵庫県	明石市	—	—	—	兵庫県	太子町	—	—	—
兵庫県	西宮市	—	—	—	兵庫県	上郡町	—	—	—
兵庫県	洲本市	—	—	—	兵庫県	佐用町	—	—	○
兵庫県	芦屋市	—	—	—	兵庫県	香美町	—	—	○
兵庫県	伊丹市	○	—	—	兵庫県	新温泉町	—	—	—
兵庫県	相生市	○	○	—	奈良県	奈良市	—	—	—
兵庫県	豊岡市	○	—	○	奈良県	大和高田市	—	—	—
兵庫県	加古川市	—	—	—	奈良県	大和郡山市	—	—	—
兵庫県	赤穂市	—	—	○	奈良県	天理市	—	○	—
兵庫県	西脇市	—	—	—	奈良県	橿原市	—	○	—
兵庫県	宝塚市	○	—	—	奈良県	桜井市	—	—	—

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
奈良県	五條市	○	—	—	和歌山県	橋本市	—	—	—
奈良県	御所市	—	—	—	和歌山県	有田市	—	—	—
奈良県	生駒市	○	—	—	和歌山県	御坊市	—	—	—
奈良県	香芝市	—	—	—	和歌山県	田辺市	○	—	○
奈良県	葛城市	—	—	—	和歌山県	新宮市	—	—	—
奈良県	宇陀市	○	○	○	和歌山県	紀の川市	—	—	○
奈良県	山添村	—	—	—	和歌山県	岩出市	—	—	—
奈良県	平群町	—	—	—	和歌山県	紀美野町	—	—	○
奈良県	三郷町	—	—	—	和歌山県	かつらぎ町	—	—	—
奈良県	斑鳩町	—	—	—	和歌山県	九度山町	—	—	—
奈良県	安堵町	—	—	—	和歌山県	高野町	○	—	—
奈良県	川西町	—	—	—	和歌山県	湯浅町	—	—	—
奈良県	三宅町	○	—	—	和歌山県	広川町	—	—	○
奈良県	田原本町	○	—	—	和歌山県	有田川町	○	○	○
奈良県	曽爾村	—	—	—	和歌山県	美浜町	—	—	—
奈良県	御杖村	—	○	—	和歌山県	日高町	—	—	—
奈良県	高取町	—	○	○	和歌山県	由良町	—	—	—
奈良県	明日香村	—	○	○	和歌山県	印南町	○	—	○
奈良県	上牧町	—	—	—	和歌山県	みなべ町	—	○	○
奈良県	王寺町	—	○	—	和歌山県	日高川町	○	—	○
奈良県	広陵町	○	—	—	和歌山県	白浜町	—	—	—
奈良県	河合町	—	—	—	和歌山県	上富田町	—	—	○
奈良県	吉野町	○	○	○	和歌山県	すさみ町	—	—	○
奈良県	大淀町	○	—	—	和歌山県	那智勝浦町	—	—	—
奈良県	下市町	—	○	—	和歌山県	太地町	—	—	—
奈良県	黒滝村	○	○	○	和歌山県	古座川町	○	—	—
奈良県	天川村	○	○	○	和歌山県	北山村	○	—	○
奈良県	野迫川村	○	○	—	和歌山県	串本町	—	○	—
奈良県	十津川村	—	—	○	鳥取県	鳥取市	○	○	○
奈良県	下北山村	—	○	—	鳥取県	米子市	—	—	—
奈良県	上北山村	○	○	○	鳥取県	倉吉市	—	—	○
奈良県	川上村	○	○	○	鳥取県	境港市	—	—	—
奈良県	東吉野村	—	—	○	鳥取県	岩美町	—	—	—
和歌山県	和歌山市	—	—	○	鳥取県	若桜町	—	—	○
和歌山県	海南市	—	—	—	鳥取県	智頭町	—	—	○

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
鳥取県	八頭町	—	—	○	岡山県	玉野市	○	○	—
鳥取県	三朝町	—	—	○	岡山県	笠岡市	—	—	—
鳥取県	湯梨浜町	—	—	—	岡山県	井原市	—	○	—
鳥取県	琴浦町	○	○	○	岡山県	総社市	—	—	○
鳥取県	北栄町	○	—	—	岡山県	高梁市	—	○	○
鳥取県	日吉津村	—	—	—	岡山県	新見市	○	○	○
鳥取県	大山町	—	○	—	岡山県	備前市	—	○	—
鳥取県	南部町	—	—	—	岡山県	瀬戸内市	—	—	—
鳥取県	伯耆町	—	○	○	岡山県	赤磐市	—	○	—
鳥取県	日南町	—	—	—	岡山県	真庭市	—	—	○
鳥取県	日野町	○	○	○	岡山県	美作市	—	—	○
鳥取県	江府町	○	○	○	岡山県	浅口市	—	—	—
島根県	松江市	—	—	○	岡山県	和気町	—	—	—
島根県	浜田市	○	○	○	岡山県	早島町	—	—	—
島根県	出雲市	—	○	—	岡山県	里庄町	—	—	—
島根県	益田市	○	○	○	岡山県	矢掛町	—	○	—
島根県	大田市	○	○	—	岡山県	新庄村	—	○	○
島根県	安来市	○	○	○	岡山県	鏡野町	○	○	○
島根県	江津市	—	—	—	岡山県	勝央町	—	—	—
島根県	雲南市	—	○	—	岡山県	奈義町	—	—	—
島根県	奥出雲町	—	○	○	岡山県	西粟倉村	○	○	○
島根県	飯南町	—	○	—	岡山県	久米南町	○	○	—
島根県	川本町	○	○	○	岡山県	美咲町	—	—	—
島根県	美郷町	○	—	○	岡山県	吉備中央町	—	—	—
島根県	邑南町	—	○	○	広島県	広島市	○	○	○
島根県	津和野町	○	○	○	広島県	呉市	○	○	○
島根県	吉賀町	○	○	○	広島県	竹原市	○	○	○
島根県	海士町	—	—	—	広島県	三原市	○	○	—
島根県	西ノ島町	—	—	—	広島県	尾道市	—	—	—
島根県	知夫村	—	—	—	広島県	福山市	—	○	○
島根県	隠岐の島町	—	—	—	広島県	府中市	—	—	—
岡山県	岡山市	○	○	○	広島県	三次市	○	○	○
岡山県	倉敷市	○	○	○	広島県	庄原市	—	—	—
岡山県	津山市	○	○	○	広島県	大竹市	○	○	○

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
広島県	東広島市	○	○	○	山口県	田布施町	—	—	—
広島県	廿日市市	○	○	○	山口県	平生町	—	—	—
広島県	安芸高田 市	○	○	○	山口県	阿武町	—	○	○
広島県	江田島市	—	—	—	徳島県	徳島市	—	—	—
広島県	府中町	○	○	○	徳島県	鳴門市	○	—	—
広島県	海田町	—	—	—	徳島県	小松島市	○	○	—
広島県	熊野町	○	○	○	徳島県	阿南市	—	—	—
広島県	坂町	—	—	—	徳島県	吉野川市	○	○	○
広島県	安芸太田 町	○	—	—	徳島県	阿波市	—	○	—
広島県	北広島町	○	○	○	徳島県	美馬市	○	○	○
広島県	大崎上島 町	—	—	—	徳島県	三好市	—	—	—
広島県	世羅町	○	○	○	徳島県	勝浦町	—	—	—
広島県	神石高原 町	○	○	○	徳島県	上勝町	—	—	○
山口県	下関市	○	○	○	徳島県	佐那河内村	—	—	—
山口県	宇部市	—	—	○	徳島県	石井町	—	○	—
山口県	山口市	—	—	○	徳島県	神山町	○	○	○
山口県	萩市	—	—	—	徳島県	那賀町	○	○	○
山口県	防府市	—	—	—	徳島県	牟岐町	○	○	○
山口県	下松市	—	○	—	徳島県	美波町	—	—	○
山口県	岩国市	○	○	○	徳島県	海陽町	—	—	—
山口県	光市	○	○	○	徳島県	松茂町	○	○	—
山口県	長門市	○	○	○	徳島県	北島町	—	—	—
山口県	柳井市	—	○	○	徳島県	藍住町	—	—	—
山口県	美祢市	○	—	○	徳島県	板野町	—	—	—
山口県	周南市	○	—	○	徳島県	上板町	—	—	—
山口県	山陽小野 田市	○	—	○	徳島県	つるぎ町	○	○	○
山口県	周防大島 町	—	—	○	徳島県	東みよし 町	○	○	○
山口県	和木町	—	○	○	香川県	高松市	○	○	○
山口県	上関町	—	—	—	香川県	丸亀市	○	—	—

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
香川県	坂出市	—	—	—	愛媛県	伊方町	○	○	○
香川県	善通寺市	—	—	—	愛媛県	松野町	—	○	—
香川県	観音寺市	—	○	—	愛媛県	鬼北町	—	—	—
香川県	さぬき市	—	—	○	愛媛県	愛南町	—	—	—
香川県	東かがわ市	—	—	○	高知県	高知市	—	○	○
香川県	三豊市	—	○	○	高知県	室戸市	○	—	—
香川県	土庄町	○	—	—	高知県	安芸市	○	—	○
香川県	小豆島町	—	—	—	高知県	南国市	—	—	○
香川県	三木町	—	—	—	高知県	土佐市	—	—	—
香川県	直島町	—	—	—	高知県	須崎市	○	—	○
香川県	宇多津町	○	—	—	高知県	宿毛市	○	○	○
香川県	綾川町	—	○	○	高知県	土佐清水市	○	○	○
香川県	琴平町	—	—	—	高知県	四万十市	—	○	—
香川県	多度津町	○	○	—	高知県	香南市	—	○	—
香川県	まんのう町	—	—	—	高知県	香美市	○	○	○
愛媛県	松山市	○	○	○	高知県	東洋町	—	—	—
愛媛県	今治市	○	○	—	高知県	奈半利町	—	—	—
愛媛県	宇和島市	—	—	—	高知県	田野町	—	○	○
愛媛県	八幡浜市	○	—	○	高知県	安田町	○	—	—
愛媛県	新居浜市	○	○	○	高知県	北川村	—	—	—
愛媛県	西条市	○	○	○	高知県	馬路村	—	—	—
愛媛県	大洲市	—	—	○	高知県	芸西村	—	—	○
愛媛県	伊予市	○	—	○	高知県	本山町	—	—	—
愛媛県	四国中央市	○	—	○	高知県	大豊町	—	—	○
愛媛県	西予市	○	—	○	高知県	土佐町	—	—	○
愛媛県	東温市	—	○	—	高知県	大川村	○	○	○
愛媛県	上島町	○	—	—	高知県	いの町	○	○	○
愛媛県	久万高原町	—	—	—	高知県	仁淀川町	—	—	—
愛媛県	松前町	—	—	—	高知県	中土佐町	○	○	○
愛媛県	砥部町	—	—	—	高知県	佐川町	—	—	—
愛媛県	内子町	○	○	○	高知県	越知町	—	—	—

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
高知県	檮原町	—	—	—	福岡県	那珂川市	—	—	—
高知県	日高村	—	—	—	福岡県	宇美町	○	—	○
高知県	津野町	—	—	○	福岡県	篠栗町	—	—	—
高知県	四万十町	○	○	○	福岡県	志免町	—	—	—
高知県	大月町	○	—	—	福岡県	須恵町	○	○	—
高知県	三原村	—	—	○	福岡県	新宮町	—	—	—
高知県	黒潮町	—	—	○	福岡県	久山町	—	—	—
福岡県	北九州市	○	—	—	福岡県	粕屋町	—	—	—
福岡県	福岡市	○	○	○	福岡県	芦屋町	—	—	—
福岡県	大牟田市	○	○	○	福岡県	水巻町	—	—	—
福岡県	久留米市	○	○	—	福岡県	岡垣町	—	—	○
福岡県	直方市	—	—	—	福岡県	遠賀町	○	○	—
福岡県	飯塚市	○	○	○	福岡県	小竹町	○	○	○
福岡県	田川市	○	○	—	福岡県	鞍手町	—	○	—
福岡県	柳川市	○	○	—	福岡県	桂川町	—	—	—
福岡県	八女市	○	—	—	福岡県	筑前町	—	—	—
福岡県	筑後市	—	—	—	福岡県	東峰村	—	—	—
福岡県	大川市	○	○	○	福岡県	大刀洗町	○	○	—
福岡県	行橋市	—	—	—	福岡県	大木町	○	—	—
福岡県	豊前市	—	○	—	福岡県	広川町	—	—	—
福岡県	中間市	—	—	—	福岡県	香春町	—	—	—
福岡県	小郡市	—	—	—	福岡県	添田町	—	○	—
福岡県	筑紫野市	—	—	—	福岡県	糸田町	○	○	—
福岡県	春日市	—	—	—	福岡県	川崎町	—	○	—
福岡県	大野城市	—	—	—	福岡県	大任町	—	—	—
福岡県	宗像市	—	—	—	福岡県	赤村	○	○	○
福岡県	太宰府市	—	—	—	福岡県	福智町	—	—	—
福岡県	古賀市	—	—	—	福岡県	苅田町	—	—	—
福岡県	福津市	—	—	—	福岡県	みやこ町	—	○	—
福岡県	うきは市	—	○	—	福岡県	吉富町	—	—	—
福岡県	宮若市	—	○	—	福岡県	上毛町	—	—	—
福岡県	嘉麻市	—	○	—	福岡県	築上町	—	—	—
福岡県	朝倉市	○	○	○	佐賀県	佐賀市	○	○	—
福岡県	みやま市	—	—	—	佐賀県	唐津市	—	—	—
福岡県	糸島市	—	—	—	佐賀県	鳥栖市	—	—	—

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
佐賀県	多久市	—	—	—	長崎県	波佐見町	—	—	—
佐賀県	伊万里市	—	○	—	長崎県	小値賀町	—	—	—
佐賀県	武雄市	—	○	—	長崎県	佐々町	—	—	—
佐賀県	鹿島市	—	—	—	長崎県	新上五島町	—	—	—
佐賀県	小城市	—	○	—	熊本県	熊本市	○	○	○
佐賀県	嬉野市	—	—	—	熊本県	八代市	○	—	—
佐賀県	神埼市	—	—	—	熊本県	人吉市	—	—	—
佐賀県	吉野ヶ里町	○	—	○	熊本県	荒尾市	○	○	—
佐賀県	基山町	—	—	—	熊本県	水俣市	○	—	○
佐賀県	上峰町	○	—	—	熊本県	玉名市	—	—	○
佐賀県	みやき町	—	—	—	熊本県	山鹿市	○	○	○
佐賀県	玄海町	—	—	—	熊本県	菊池市	—	—	—
佐賀県	有田町	—	○	—	熊本県	宇土市	—	—	—
佐賀県	大町町	—	—	—	熊本県	上天草市	○	—	—
佐賀県	江北町	○	—	—	熊本県	宇城市	—	—	○
佐賀県	白石町	—	—	—	熊本県	阿蘇市	○	○	○
佐賀県	太良町	—	○	—	熊本県	天草市	○	—	—
長崎県	長崎市	○	—	—	熊本県	合志市	—	—	○
長崎県	佐世保市	○	—	○	熊本県	美里町	—	—	○
長崎県	島原市	—	○	—	熊本県	玉東町	○	○	○
長崎県	諫早市	○	○	○	熊本県	南関町	○	—	○
長崎県	大村市	○	○	○	熊本県	長洲町	—	—	—
長崎県	平戸市	○	—	—	熊本県	和水町	○	—	○
長崎県	松浦市	○	—	○	熊本県	大津町	—	—	—
長崎県	対馬市	—	—	—	熊本県	菊陽町	○	○	○
長崎県	壱岐市	○	—	—	熊本県	南小国町	○	○	○
長崎県	五島市	—	—	—	熊本県	小国町	—	○	—
長崎県	西海市	○	—	○	熊本県	産山村	○	○	○
長崎県	雲仙市	—	○	○	熊本県	高森町	○	○	○
長崎県	南島原市	○	○	○	熊本県	西原村	—	—	—
長崎県	長与町	○	○	—	熊本県	南阿蘇村	—	—	—
長崎県	時津町	—	—	—	熊本県	御船町	—	—	○
長崎県	東彼杵町	—	—	—	熊本県	嘉島町	—	—	—
長崎県	川棚町	—	—	—	熊本県	益城町	—	—	○

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
熊本県	甲佐町	○	○	○	大分県	玖珠町	—	—	—
熊本県	山都町	—	—	○	宮崎県	宮崎市	○	—	○
熊本県	氷川町	○	○	○	宮崎県	都城市	—	—	○
熊本県	芦北町	○	○	—	宮崎県	延岡市	—	—	○
熊本県	津奈木町	—	○	—	宮崎県	日南市	—	—	—
熊本県	錦町	—	○	○	宮崎県	小林市	○	—	—
熊本県	多良木町	—	—	—	宮崎県	日向市	○	—	○
熊本県	湯前町	—	—	○	宮崎県	串間市	—	—	○
熊本県	水上村	○	○	○	宮崎県	西都市	—	—	—
熊本県	相良村	—	○	○	宮崎県	えびの市	○	○	○
熊本県	五木村	—	○	○	宮崎県	三股町	—	—	—
熊本県	山江村	—	○	○	宮崎県	高原町	○	○	—
熊本県	球磨村	○	○	○	宮崎県	国富町	—	—	—
熊本県	あさぎり町	○	—	○	宮崎県	綾町	○	○	○
熊本県	苓北町	○	—	—	宮崎県	高鍋町	—	—	○
大分県	大分市	—	○	—	宮崎県	新富町	○	○	○
大分県	別府市	○	—	—	宮崎県	西米良村	○	○	○
大分県	中津市	—	—	—	宮崎県	木城町	○	○	○
大分県	日田市	—	—	—	宮崎県	川南町	○	○	○
大分県	佐伯市	—	—	—	宮崎県	都農町	—	—	—
大分県	臼杵市	—	○	—	宮崎県	門川町	—	○	○
大分県	津久見市	—	○	○	宮崎県	諸塚村	—	—	—
大分県	竹田市	○	○	○	宮崎県	椎葉村	○	○	○
大分県	豊後高田市	○	—	—	宮崎県	美郷町	○	○	○
大分県	杵築市	○	○	○	宮崎県	高千穂町	○	—	○
大分県	宇佐市	○	—	○	宮崎県	日之影町	○	○	○
大分県	豊後大野市	—	—	—	宮崎県	五ヶ瀬町	—	○	—
大分県	由布市	—	—	—	鹿児島県	鹿児島市	○	○	○
大分県	国東市	○	—	—	鹿児島県	鹿屋市	○	○	○
大分県	姫島村	—	—	—	鹿児島県	枕崎市	—	○	—
大分県	日出町	○	○	○	鹿児島県	阿久根市	—	—	—
大分県	九重町	—	○	○	鹿児島県	出水市	○	—	—

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
鹿児島県	指宿市	—	—	—	鹿児島県	伊仙町	—	—	—
鹿児島県	西之表市	—	—	—	鹿児島県	和泊町	—	—	—
鹿児島県	垂水市	—	—	—	鹿児島県	知名町	—	—	—
鹿児島県	薩摩川内市	○	○	—	鹿児島県	与論町	—	—	—
鹿児島県	日置市	○	—	—	沖縄県	那覇市	—	—	—
鹿児島県	曾於市	○	—	○	沖縄県	宜野湾市	—	—	—
鹿児島県	霧島市	—	○	—	沖縄県	石垣市	—	—	—
鹿児島県	いちき串木野市	—	—	—	沖縄県	浦添市	—	—	—
鹿児島県	南さつま市	○	○	—	沖縄県	名護市	—	—	—
鹿児島県	志布志市	—	—	—	沖縄県	糸満市	—	—	—
鹿児島県	奄美市	—	—	—	沖縄県	沖縄市	—	—	—
鹿児島県	南九州市	—	○	—	沖縄県	豊見城市	—	—	—
鹿児島県	伊佐市	○	○	○	沖縄県	うるま市	—	—	—
鹿児島県	姶良市	—	○	—	沖縄県	宮古島市	—	—	—
鹿児島県	三島村	—	—	—	沖縄県	南城市	—	—	—
鹿児島県	十島村	—	—	—	沖縄県	国頭村	—	—	—
鹿児島県	さつま町	○	○	○	沖縄県	大宜味村	—	—	—
鹿児島県	長島町	○	○	○	沖縄県	東村	—	—	—
鹿児島県	湧水町	—	—	—	沖縄県	今帰仁村	—	—	—
鹿児島県	大崎町	○	○	○	沖縄県	本部町	—	—	—
鹿児島県	東串良町	—	—	—	沖縄県	恩納村	—	—	—
鹿児島県	錦江町	—	—	—	沖縄県	宜野座村	—	—	—
鹿児島県	南大隅町	—	—	—	沖縄県	金武町	—	—	—
鹿児島県	肝付町	—	—	○	沖縄県	伊江村	—	—	—
鹿児島県	中種子町	—	—	—	沖縄県	読谷村	—	—	—
鹿児島県	南種子町	—	—	—	沖縄県	嘉手納町	—	—	—
鹿児島県	屋久島町	—	—	—	沖縄県	北谷町	—	—	—
鹿児島県	大和村	—	—	—	沖縄県	北中城村	—	—	—
鹿児島県	宇検村	—	—	—	沖縄県	中城村	—	—	—
鹿児島県	瀬戸内町	—	—	—	沖縄県	西原町	—	—	—
鹿児島県	龍郷町	—	—	—	沖縄県	与那原町	—	—	—
鹿児島県	喜界町	—	—	—	沖縄県	南風原町	—	—	—
鹿児島県	徳之島町	—	—	—	沖縄県	渡嘉敷村	—	—	—
鹿児島県	天城町	—	—	—	沖縄県	座間味村	—	—	—

都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ	都道府県	市区町村	タヌキ	キツネ	アナグマ
沖縄県	栗国村	—	—	—	沖縄県	久米島町	—	—	—
沖縄県	渡名喜村	—	—	—	沖縄県	八重瀬町	—	—	—
沖縄県	南大東村	—	—	—	沖縄県	多良間村	—	—	—
沖縄県	北大東村	—	—	—	沖縄県	竹富町	—	—	—
沖縄県	伊平屋村	—	—	—	沖縄県	与那国町	—	—	—
沖縄県	伊是名村	—	—	—					

※○は追加情報が取得できたことを、—は追加情報が取得できなかったことを示す

4. 「いきものログ」調査要項（2021 年度実施分）

活動カテゴリ	環境省実施市民参加型調査
調査団体名	環境省生物多様性センター
生物調査の概要	環境省生物多様性センターでは、2010 年以降のタヌキ・キツネ・アナグマの生息情報（目撃・痕跡・捕獲・死体・巣穴・糞など）を収集しています。
期間	2021 年 5 月 11 日～2021 年 6 月 30 日
活動地域	全国
生物調査の詳細	タヌキ・キツネ・アナグマは日本の在来種であり、文学作品の題材となるなど、歴史的に日本の文化と深い関わりをもっています。これらタヌキ等の全国的な分布調査は、第 6 回自然環境保全基礎調査（2004 年）以降、実施されていません。また、近年の中山間地域における人口減少や高齢化、山林での作業の減少により、地域において日常的に野生動物を見ておられる方は大きく減っていると考えられます。 環境省生物多様性センターでは、2020 年度にタヌキ等の捕獲情報等をもとに全国分布図の暫定版を作成しました。しかし、タヌキ等が生息していると推測される地域においても十分な情報を得ることができませんでした（これまでに得られた生息情報は「いきものログ」に反映しておりますので、ご確認いただくことが可能です）。そこで、これまでに皆様が確認・観察されたタヌキ等の生息情報の記録を、全国分布図の作成に活用させていただけますと幸いです。 調査の対象となる生息情報は 2010 年以降のタヌキ・キツネ・アナグマに関する情報となります。 特にこれまで生息情報が得られていない地域（空白のメッシュ）について情報提供いただけますと幸いです。ご協力のほどお願いいたします。
参加方法の概要	いきものログにユーザ登録していただくことで、どなたでも参加することができます。いきものログトップページの新規登録からユーザ登録して情報をお寄せください。 また、ユーザ登録なしで情報をお寄せいただく場合には、タヌキ等分布調査を実施している事務局へ直接メールでご連絡いただいても結構です （メールアドレス tanuki2021★jwrc.or.jp ★印をアットマークに変更してください）。

調査にあたっての注意点とマナー	タヌキ・キツネ・アナグマに関する、2010 年以降の情報を収集しています。
報告方法の説明	
既存データ	これまで情報が得られた地域については、メッシュに色付けで表示しています（対象種の説明ページ を参照ください）。今回、特に情報が得られていない空白のメッシュの情報 を提供いただけますと幸いです。
報告内容	種名、確認年、確認場所（緯度経度、住所、5 kmメッシュ番号のいずれか）をご報告ください。
根拠情報	タヌキ等の生息情報の根拠として、目撃・痕跡・捕獲・死体・巣穴・糞などを報告いただくか、写真（GPS による位置情報付きのもの）での投稿をお願いします。このほか、会報誌や論文での報告などについても受け付けていますので、事務局のメールアドレス（tanuki2021★jwrc.or.jp ★印をアットマークに変更してください）までご連絡をお願いいたします。
調査対象種	タヌキ・キツネ・アナグマの 3 種です。各種の特徴と、混同されやすいアライグマやハクビシンとの見分け方についてまとめていますので、ご参照ください。
これまでの情報源について	環境省生物多様性センターでは、タヌキ等 3 種の生息情報を国の調査（モニタリングサイト 1000 や河川水辺の国勢調査など）、捕獲情報などの既存調査の収集の他、市区町村へのアンケートにより現在情報を収集しております。現在表示している地図には、2020 度までに収集された情報をもとに作成しており、今後得られた情報をもとに分布図を更新していく予定です。

※なお、以下の 7 地点についてシステムの都合で登録できませんでしたが、在情報が確認されています。

「6541742(北海道・増毛町)、6541524(北海道・増毛町)、6240061(青森県・佐井村)、5841772(岩手県・釜石市)、5637211(石川県・珠洲市)、5335403(京都府・京丹後市)、5239461(千葉県・南房総市)」

5. 都道府県からの修正メッシュ一覧

鳥獣種	分布確認年度	5倍地域 メッシュコード	追加	削除	都道府県	情報源の区分	根拠
アナグマ	2014	5134671	0	1	兵庫県	都道府県	捕獲や撮影等に基づく生息確認はできていないため
アナグマ	2014	5134361	0	1	兵庫県	都道府県	捕獲や撮影等に基づく生息確認はできていないため
アナグマ	2015	5134671	0	1	兵庫県	都道府県	捕獲や撮影等に基づく生息確認はできていないため
アナグマ	2015	5134364	0	1	兵庫県	都道府県	捕獲や撮影等に基づく生息確認はできていないため
アナグマ	2016	5134671	0	1	兵庫県	都道府県	捕獲や撮影等に基づく生息確認はできていないため
アナグマ	2016	5134672	0	1	兵庫県	都道府県	捕獲や撮影等に基づく生息確認はできていないため
アナグマ	2017	5134671	0	1	兵庫県	都道府県	捕獲や撮影等に基づく生息確認はできていないため
アナグマ	2017	5134373	0	1	兵庫県	都道府県	捕獲や撮影等に基づく生息確認はできていないため
キツネ	2017	5134672	0	1	兵庫県	都道府県	捕獲や撮影等に基づく生息確認はできていないため
キツネ	2017	5134573	0	1	兵庫県	都道府県	捕獲や撮影等に基づく生息確認はできていないため
キツネ	2017	5134464	0	1	兵庫県	都道府県	捕獲や撮影等に基づく生息確認はできていないため
キツネ	2017	5134473	0	1	兵庫県	都道府県	捕獲や撮影等に基づく生息確認はできていないため
キツネ	2017	5134462	0	1	兵庫県	都道府県	捕獲や撮影等に基づく生息確認はできていないため
キツネ	2017	5134364	0	1	兵庫県	都道府県	捕獲や撮影等に基づく生息確認はできていないため
キツネ	2017	5134361	0	1	兵庫県	都道府県	捕獲や撮影等に基づく生息確認はできていないため
アナグマ	2015	4830314	0	1	熊本県・鹿児島県	WIS	メッシュ番号のミスの可能性が高いと判断されたため

6. 都道府県からの WIS データの報告状況（タヌキ等の捕獲位置情報）

No	都道府県	2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
		捕獲位置 狩猟	許可	捕獲位置 狩猟	許可	捕獲位置 狩猟	許可	捕獲位置 狩猟	許可	捕獲位置 狩猟	許可	捕獲位置 狩猟	許可	捕獲位置 狩猟	許可	捕獲位置 狩猟	許可	捕獲位置 狩猟	許可	捕獲位置 狩猟	許可	捕獲位置 狩猟	許可
1	北海道	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2	青森県	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
3	岩手県	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×
4	宮城県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×
5	秋田県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
6	山形県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	福島県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
8	茨城県	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
9	栃木県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	群馬県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
11	埼玉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
12	千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
13	東京都	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
14	神奈川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
15	新潟県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
16	富山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
17	石川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
18	福井県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
19	山梨県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
20	長野県	○	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×
21	岐阜県	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
22	静岡県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
23	愛知県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
24	三重県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	滋賀県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
26	京都府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
27	大阪府	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
28	兵庫県	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
29	奈良県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
30	和歌山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

No	都道府県	2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
		捕獲位置	許可	捕獲位置	許可	捕獲位置	許可	捕獲位置	許可	捕獲位置	許可	捕獲位置	許可	捕獲位置	許可	捕獲位置	許可	捕獲位置	許可	捕獲位置	許可	捕獲位置	許可
31	鳥取県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	島根県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	岡山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	広島県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	山口県	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	徳島県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	香川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	愛媛県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	高知県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	福岡県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	佐賀県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	長崎県	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
43	熊本県	○	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
44	大分県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	宮崎県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	鹿児島県	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	沖縄県	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告数		43	39	41	41	44	41	44	42	42	41	43	40	42	42	40	40	38	32	33	8	10	10

2021年6月 未までの報告状況

○：タヌキ等3種の捕獲位置情報(5kmメッシュレベル)の報告があるもの
 ×：タヌキ等3種の捕獲位置情報(5kmメッシュレベル)の報告がないもの

7. 都道府県別捕獲数一覧

狩猟											
年度/ 都道府県	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	合計 2010～ 2017年度		
01 北海道	26	96	78	78	65	90	139	157	729		
02 青森	150	89	64	52	70	52	74	60	611		
03 岩手	184	167	156	187	259	206	213	179	1,551		
04 宮城	77	210	273	120	144	92	88	123	1,127		
05 秋田	212	188	170	113	140	117	151	141	1,232		
06 山形	83	41	67	61	42	38	57	46	435		
07 福島	67	33	47	44	84	68	94	176	613		
08 茨城	135	132	136	134	184	146	165	169	1,201		
09 栃木	99	68	72	69	73	67	65	71	584		
10 群馬	287	226	256	184	260	199	175	186	1,773		
11 埼玉	84	80	80	56	49	59	67	70	545		
12 千葉	163	162	188	208	279	229	203	186	1,618		
13 東京	45	48	125	101	97	61	186	143	806		
14 神奈川	32	36	49	23	51	24	30	36	281		
15 新潟	1,180	898	1,310	1,219	1,131	1,033	973	895	8,639		
16 富山	95	37	74	72	74	57	75	76	560		
17 石川	27	7	19	9	33	10	43	27	175		
18 福井	39	27	28	16	11	5	9	9	144		
19 山梨	22	24	76	44	30	37	53	32	318		
20 長野	1,006	987	1,151	885	1,145	986	913	935	8,008		
21 岐阜	13	13	17	11	28	24	22	22	150		
22 静岡	126	102	214	98	152	71	152	169	1,084		
23 愛知	33	14	49	24	31	27	8	33	219		
24 三重	11	15	33	25	19	37	50	28	218		
25 滋賀	15	15	33	16	10	13	6	14	122		
26 京都	127	11	69	36	42	48	45	62	440		
27 大阪	12	3	4	9	7	8	3	5	51		
28 兵庫	68	24	37	56	15	25	31	12	268		
29 奈良	48	21	17	-	25	33	32	43	219		
30 和歌山	104	68	96	48	40	16	20	21	413		

被害防止											
年度/ 都道府県	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	合計 2010～ 2017年度		
01 北海道	377	610	707	624	835	859	1,205	2,212	7,429		
02 青森	2	-	5	14	101	9	20	4	155		
03 岩手	121	78	130	128	222	139	189	248	1,255		
04 宮城	-	-	-	11	38	65	235	166	515		
05 秋田	16	2	2	-	9	12	12	3	56		
06 山形	-	-	-	3	9	36	28	7	83		
07 福島	25	6	17	51	308	287	718	696	2,108		
08 茨城	15	7	20	21	10	9	21	26	129		
09 栃木	6	15	23	28	35	-	127	323	557		
10 群馬	255	273	673	646	790	796	1,286	1,031	5,750		
11 埼玉	111	174	336	311	460	436	482	461	2,771		
12 千葉	1,502	1,728	2,202	1,951	2,326	1,846	2,626	2,479	16,660		
13 東京	265	266	480	195	227	292	471	401	2,597		
14 神奈川	79	58	148	149	256	286	409	415	1,800		
15 新潟	235	214	222	213	290	176	213	208	1,771		
16 富山	10	12	3	13	17	13	6	5	79		
17 石川	10	4	13	5	35	34	62	54	217		
18 福井	184	49	79	77	139	107	176	137	948		
19 山梨	-	2	-	1	1	5	5	28	42		
20 長野	1,044	1,050	229	1,943	2,212	1,888	2,007	2,370	12,743		
21 岐阜	40	25	60	74	130	89	109	-	527		
22 静岡	61	72	134	169	155	85	165	163	1,004		
23 愛知	95	84	279	245	412	310	340	436	2,201		
24 三重	-	8	8	4	10	23	61	82	196		
25 滋賀	10	47	67	33	64	35	210	42	508		
26 京都	484	248	340	267	314	265	363	338	2,619		
27 大阪	1	9	2	3	1	5	2	1	24		
28 兵庫	102	87	149	201	260	189	257	301	1,546		
29 奈良	-	29	37	26	47	55	43	55	292		
30 和歌山	202	454	988	856	349	216	181	145	3,391		

タヌキの都道府県・年度別捕獲数

被害防止																			
年度/ 都道府県	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	合計 2010～ 2017年度	狩猟									合計 2010～ 2017年度
										2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度		
31 鳥 取	-	5	1	5	10	8	18	21	68	31 鳥 取	102	57	53	46	41	52	63	37	451
32 島 根	1,590	1,045	1,938	1,546	1,344	1,301	1,356	1,274	11,394	32 島 根	125	69	88	55	45	86	133	46	647
33 岡 山	329	156	249	321	327	315	508	436	2,641	33 岡 山	206	135	185	112	104	109	138	103	1,092
34 広 島	374	318	430	506	566	641	830	710	4,375	34 広 島	153	81	76	59	94	85	135	96	779
35 山 口	901	562	1,106	714	775	952	1,077	1,161	7,248	35 山 口	640	434	988	451	560	580	413	266	4,332
36 徳 島	31	46	86	370	315	353	333	297	1,831	36 徳 島	144	69	86	61	58	89	54	49	610
37 香 川	54	78	113	48	81	194	306	279	1,153	37 香 川	79	88	68	44	45	68	99	57	548
38 愛 媛	666	907	1,097	1,437	1,335	1,908	1,827	2,202	11,379	38 愛 媛	66	58	82	59	94	136	131	167	793
39 高 知	119	122	391	546	644	1,665	1,622	1,800	6,909	39 高 知	411	554	678	654	436	1,029	538	714	5,014
40 福 岡	44	40	101	63	62	238	393	322	1,263	40 福 岡	200	194	283	191	162	230	321	356	1,937
41 佐 賀	140	99	272	591	368	194	194	289	2,147	41 佐 賀	104	76	193	157	112	74	53	29	798
42 長 崎	235	281	465	455	569	661	401	711	3,778	42 長 崎	85	127	31	21	17	27	11	22	341
43 熊 本	46	56	88	70	222	304	135	128	1,049	43 熊 本	271	186	203	45	38	25	63	64	895
44 大 分	11	8	6	18	538	1,138	1,105	1,180	4,004	44 大 分	59	70	52	93	85	216	95	130	800
45 宮 崎	10	9	23	30	56	58	72	112	370	45 宮 崎	88	131	81	84	48	98	93	110	733
46 鹿 児 島	971	1,292	1,437	2,104	1,887	2,559	2,841	2,319	15,410	46 鹿 児 島	155	70	117	74	108	81	97	120	822
47 沖 縄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47 沖 縄	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※環境省の鳥獣関係統計（<https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs2/h29/06h29tou.html>）より作成（2021年7月21日確認）

被害防止													狩猟					
年度/ 都道府県	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	合計 2010～ 2017年度									
01 北海道	4,691	5,899	6,738	6,605	6,510	7,846	7,418	7,441	53,148									
02 青森	-	-	2	1	78	-	3	2	86									
03 岩手	38	24	49	36	33	15	54	35	284									
04 宮城	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
05 秋田	4	2	2	3	-	4	5	1	21									
06 山形	-	-	-	1	1	-	-	-	2									
07 福島	3	1	-	5	24	34	26	33	126									
08 茨城	-	-	1	-	-	-	1	-	2									
09 栃木	1	2	2	-	-	-	3	10	18									
10 群馬	6	7	7	11	17	20	34	52	154									
11 埼玉	-	-	-	-	1	4	-	1	6									
12 千葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
13 東京	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
14 神奈川	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
15 新潟	11	8	1	2	8	2	15	1	48									
16 富山	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
17 石川	1	-	-	-	-	-	-	-	1									
18 福井	9	6	3	12	8	4	7	7	56									
19 山梨	-	-	-	-	-	-	-	1	1									
20 長野	156	228	45	589	733	698	561	745	3,755									
21 岐阜	-	-	-	-	-	-	9	-	9									
22 静岡	1	-	-	-	5	-	3	5	14									
23 愛知	2	-	1	5	5	21	23	31	88									
24 三重	-	-	3	-	-	-	1	-	4									
25 滋賀	4	4	1	2	3	-	25	2	41									
26 京都	7	2	1	5	3	2	5	7	32									
27 大阪	1	-	-	-	-	-	-	-	1									
28 兵庫	1	2	-	-	-	-	1	21	25									
29 奈良	-	1	-	-	-	-	-	-	1									
30 和歌山	-	-	-	-	-	-	-	-	-									

被害防止													狩猟					
年度/ 都道府県	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	合計 2010～ 2017年度									
01 北海道	4,691	5,899	6,738	6,605	6,510	7,846	7,418	7,441	53,148									
02 青森	-	-	2	1	78	-	3	2	86									
03 岩手	38	24	49	36	33	15	54	35	284									
04 宮城	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
05 秋田	4	2	2	3	-	4	5	1	21									
06 山形	-	-	-	1	1	-	-	-	2									
07 福島	3	1	-	5	24	34	26	33	126									
08 茨城	-	-	1	-	-	-	1	-	2									
09 栃木	1	2	2	-	-	-	3	10	18									
10 群馬	6	7	7	11	17	20	34	52	154									
11 埼玉	-	-	-	-	1	4	-	1	6									
12 千葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
13 東京	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
14 神奈川	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
15 新潟	11	8	1	2	8	2	15	1	48									
16 富山	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
17 石川	1	-	-	-	-	-	-	-	1									
18 福井	9	6	3	12	8	4	7	7	56									
19 山梨	-	-	-	-	-	-	-	1	1									
20 長野	156	228	45	589	733	698	561	745	3,755									
21 岐阜	-	-	-	-	-	-	9	-	9									
22 静岡	1	-	-	-	5	-	3	5	14									
23 愛知	2	-	1	5	5	21	23	31	88									
24 三重	-	-	3	-	-	-	1	-	4									
25 滋賀	4	4	1	2	3	-	25	2	41									
26 京都	7	2	1	5	3	2	5	7	32									
27 大阪	1	-	-	-	-	-	-	-	1									
28 兵庫	1	2	-	-	-	-	1	21	25									
29 奈良	-	1	-	-	-	-	-	-	1									
30 和歌山	-	-	-	-	-	-	-	-	-									

被害防止													狩猟					
年度/ 都道府県	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	合計 2010～ 2017年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	合計 2010～ 2017年度
31 鳥 取	-	-	-	3	-	-	9	-	12	29	34	44	43	41	24	28	18	261
32 鳥 根	24	14	28	9	26	17	31	24	173	20	9	19	-	6	11	12	3	80
33 岡 山	-	-	-	4	1	-	2	2	9	41	30	32	25	13	23	49	44	257
34 広 島	17	49	24	25	48	44	53	65	325	21	22	9	9	12	4	7	9	93
35 山 口	2	1	1	-	-	-	1	1	6	3	3	6	3	1	2	4	3	25
36 徳 島	-	-	-	-	-	3	1	5	9	5	2	2	-	1	-	-	1	11
37 香 川	-	5	-	-	-	1	4	4	14	6	7	7	5	2	2	5	4	38
38 愛 媛	-	-	8	1	3	1	1	4	18	12	13	9	9	14	5	8	12	82
39 高 知	2	4	13	21	8	31	28	28	135	9	15	14	12	17	13	12	4	96
40 福 岡	-	-	-	-	-	1	3	7	11	8	12	10	16	6	11	35	15	113
41 佐 賀	-	-	-	1	4	-	1	-	6	7	1	4	7	1	3	-	6	29
42 長 崎	-	-	-	1	-	3	3	5	12	2	2	-	-	1	2	4	6	17
43 熊 本	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	4	1	2	1	-	2	-	10
44 大 分	-	-	-	-	7	4	3	-	14	1	8	6	9	11	15	10	15	75
45 宮 崎	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	-	3	3	1	10
46 鹿児島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
47 沖 縄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※上記期間中、千葉県、鹿児島県の全域でキツネの狩猟が禁止

※環境省の鳥獣関係統計 (<https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/2021/06h29tou.html>) より作成 (2021年7月21日確認)

アナグマの都道府県・年度別捕獲数

被害防止																			狩猟							合計 2010～ 2017年度
年度/ 都道府県	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	合計 2010～ 2017年度	年度/ 都道府県	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度								
01 北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	01 北海道	-	-	-	-	-	-	-	-								
02 青森	7	18	20	14	23	31	57	12	182	02 青森	6	5	2	2	4	1	3	23								
03 岩手	48	20	14	54	87	54	59	106	442	03 岩手	6	11	5	12	11	11	15	6								
04 宮城	-	-	-	-	-	-	-	-	-	04 宮城	52	2	1	1	1	-	9	4								
05 秋田	8	17	9	1	30	20	10	17	112	05 秋田	3	3	2	5	-	4	8	5								
06 山形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	06 山形	8	-	2	-	1	5	-	3								
07 福島	-	-	2	4	13	56	89	67	231	07 福島	-	1	1	2	4	2	1	-								
08 茨城	-	-	-	-	-	-	-	-	-	08 茨城	-	-	-	-	1	-	2	5								
09 栃木	-	-	-	-	-	-	-	-	-	09 栃木	-	-	-	-	-	-	-	-								
10 群馬	34	35	32	48	45	19	34	76	323	10 群馬	9	5	9	3	22	9	11	3								
11 埼玉	21	12	73	75	103	110	91	109	594	11 埼玉	6	3	1	2	5	3	9	5								
12 千葉	78	6	28	-	2	2	-	40	156	12 千葉	4	2	8	4	-	-	7	-								
13 東京	72	53	68	56	145	69	87	82	632	13 東京	3	1	5	-	2	2	4	1								
14 神奈川	12	26	22	36	51	32	43	89	311	14 神奈川	7	2	2	1	-	3	4	10								
15 新潟	14	2	4	6	43	7	20	20	116	15 新潟	11	12	8	3	20	8	8	12								
16 富山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16 富山	-	-	-	-	5	2	6	2								
17 石川	5	1	5	9	6	1	5	2	34	17 石川	2	2	2	1	3	5	1	2								
18 福井	260	87	189	202	230	180	267	310	1,725	18 福井	3	-	-	6	1	4	2	5								
19 山梨	9	-	-	-	-	-	5	48	62	19 山梨	-	2	5	1	1	2	5	6								
20 長野	211	220	41	405	470	416	407	497	2,667	20 長野	25	24	20	18	25	17	11	14								
21 岐阜	8	14	14	8	16	19	31	-	110	21 岐阜	-	-	-	3	1	3	2	2								
22 静岡	12	3	26	87	125	83	182	216	734	22 静岡	16	22	22	26	41	36	52	61								
23 愛知	38	32	58	52	81	80	109	160	610	23 愛知	-	-	2	-	-	2	3	7								
24 三重	2	-	-	11	15	53	122	213	416	24 三重	-	2	7	1	6	8	8	10								
25 滋賀	7	1	9	8	1	-	12	2	40	25 滋賀	4	-	-	4	11	3	1	3								
26 京都	771	266	465	420	270	260	366	321	3,139	26 京都	45	8	41	18	14	14	19	7								
27 大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27 大阪	2	1	1	-	-	-	-	2								
28 兵庫	172	176	175	292	256	280	514	580	2,445	28 兵庫	20	2	3	7	2	20	13	14								
29 奈良	-	-	4	23	10	6	8	13	64	29 奈良	45	34	6	-	11	51	21	37								
30 和歌山	27	68	65	391	135	123	457	275	1,541	30 和歌山	3	10	2	15	7	4	10	19								

アナグマの都道府県・年度別捕獲数

被害防止										狩猟									
年度/ 都道府県	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	合計 2010～ 2017年度	年度/ 都道府県	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	合計 2010～ 2017年度
31 鳥 取	23	7	23	3	8	15	57	69	205	31 鳥 取	52	7	10	13	4	10	26	13	135
32 鳥 根	175	128	217	277	335	524	667	848	3,171	32 鳥 根	11	4	8	3	4	20	24	19	93
33 岡 山	7	14	12	92	161	200	443	611	1,540	33 岡 山	10	3	7	15	6	20	49	22	132
34 広 島	96	97	107	184	217	190	423	420	1,734	34 広 島	8	6	3	6	1	4	22	11	61
35 山 口	34	24	97	142	80	111	182	253	923	35 山 口	16	13	26	19	9	19	43	22	167
36 徳 島	-	-	-	-	-	-	6	4	10	36 徳 島	3	-	-	1	2	-	3	-	9
37 香 川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37 香 川	-	1	-	-	1	1	1	-	4
38 愛 媛	-	-	-	80	88	172	156	176	672	38 愛 媛	2	-	-	1	4	2	4	6	3
39 高 知	8	3	6	62	40	259	223	308	909	39 高 知	4	7	7	37	13	17	45	27	157
40 福 岡	65	73	342	389	396	518	865	869	3,517	40 福 岡	317	271	411	339	333	434	585	486	3,176
41 佐 賀	321	334	474	674	556	514	715	786	4,374	41 佐 賀	166	137	183	103	67	69	73	47	845
42 長 崎	364	560	740	370	706	619	462	1,338	5,159	42 長 崎	47	90	34	9	33	37	42	42	334
43 熊 本	10	13	60	165	143	245	159	308	1,103	43 熊 本	31	21	30	23	12	42	69	53	281
44 大 分	36	22	116	283	1,264	2,849	2,521	2,825	9,916	44 大 分	110	71	71	87	70	186	120	118	833
45 宮 崎	2	10	96	265	230	446	586	813	2,448	45 宮 崎	25	22	10	41	16	104	105	123	446
46 鹿児島	495	637	982	2,656	2,495	4,194	5,894	5,847	23,200	46 鹿児島	63	50	84	64	90	160	245	272	1,028
47 沖 縄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47 沖 縄	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※上記期間中、栃木県の全域でアナグマの狩猟が禁止

※上記期間中、栃木県の全域でアナグマの狩猟が禁止

※環境省の鳥獣関係統計 (<https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/2021/h29/06h29tou.html>) より作成 (2021年7月21日確認)

令和 3 年度（2021 年度）
中大型哺乳類分布調査
調査報告書

タヌキ・キツネ・アナグマ

令和 4 年（2022 年）3 月

環境省自然環境局生物多様性センター
〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1
Tel. 0555-72-6031 E-mail: biodic_webmaster@env.go.jp

業務名：令和 3 年度中大型哺乳類分布調査業務

請負者 一般財団法人自然環境研究センター
〒130-8606 東京都墨田区江東橋 3-3-7 江東橋ビル
Tel. 03-6659-6310

リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔A ランク〕のみを用いて作製しています。